
小豆島町
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票
報告書

令和8年2月

目次

I	調査概要	1
II	総評	3
III	調査結果	4
	1. ご家族や生活状況について	4
	2. からだを動かすことについて	9
	3. 食べることについて	14
	4. 毎日の生活について	18
	5. 地域での活動について	22
	6. 就労について	31
	7. たすけあいについて	32
	8. 健康について	40
	9. 認知症にかかる相談窓口の把握について	45
	10. 耳の聞こえについて	47
	11. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について	55
	12. 移動支援について	57
IV	リスク判定	58
	1. 運動器の機能低下リスク	58
	2. 転倒リスク	60
	3. 閉じこもりのリスク	62
	4. 栄養改善のリスク	63
	5. 低栄養のリスク	64
	6. 口腔機能の低下リスク	65
	7. 認知機能の低下リスク	67
	8. 社会的自立度（IADL※）	69
	9. うつのリスク	71
V	参考資料 前期比較（抜粋）	73

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、令和9年度から令和11年度までの「第10期小豆島町介護保険事業計画・老人福祉計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を把握することを目的として実施した。

2. 調査の実施について

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
対象者	令和4年10月1日現在、小豆島町にお住まいの65歳以上の方 （要介護1～5の方を除く）	令和7年10月1日現在、小豆島町に在住の65歳以上の方 （要介護認定者を除く）
実施期間	令和4年10月3日（月）～ 令和4年12月20日（火）	令和7年10月22日（水）～ 令和7年12月22日（月）
実施方法	郵送配布、郵送回収	郵送配布、郵送回収

3. 有効回答件数及び回答率

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
配布数	1,000 件	1,000 件
回収数	633 件	692 件
有効回答数	633 件	692 件
有効回答率	63.3%	69.2%

4. 回答者の属性

●性別・年齢別

上段：件数 下段：％		全体	性別	
			男性	女性
全体		692 100.0	315 45.5	377 54.5
年齢 ①	65-69 歳	95 100.0	42 44.2	53 55.8
	70-74 歳	170 100.0	91 53.5	79 46.5
	75-79 歳	190 100.0	82 43.2	108 56.8
	80-84 歳	123 100.0	52 42.3	71 57.7
	85 歳以上	114 100.0	48 42.1	66 57.9
年齢 ②	前期高齢者	265 100.0	133 50.2	132 49.8
	後期高齢者	427 100.0	182 42.6	245 57.4

●地区別

上段：件数 下段：%		全体	性・年齢			
			男性		女性	
			前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
全体		692 100.0	133 19.2	182 26.3	132 19.1	245 35.4
地区	安田・東浦	117 100.0	18 15.4	34 29.1	17 14.5	48 41.0
	西村・草壁	174 100.0	37 21.3	45 25.9	28 16.1	64 36.8
	池田・蒲生	146 100.0	31 21.2	32 21.9	29 19.9	54 37.0
	二生・三都	76 100.0	16 21.1	17 22.4	19 25.0	24 31.6
	苗羽・坂手	135 100.0	24 17.8	42 31.1	30 22.2	39 28.9
	福田	44 100.0	7 15.9	12 27.3	9 20.5	16 36.4

5. 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。

Ⅱ 総評

1. リスクの発生状況について

運動器の機能低下リスク（令和4年度調査 21.6%→令和7年度調査 18.6%）や、転倒リスク（令和4年度調査 38.1%→令和7年度調査 34.8%）が減少しており、今後もフレイル予防を推進していくことが重要です。

一方で、栄養改善のリスク（令和4年度調査 7.9%→令和7年度調査 11.1%）や、低栄養リスク（令和4年度調査 1.7%→令和7年度調査 2.0%）はわずかながら増加しており、食生活の改善が求められます。

認知機能の低下リスク（令和4年度調査 51.2%→令和7年度調査 48.4%）は減少し、主観的健康感で、「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”と感じる方（令和4年度調査 65.4%→令和7年度調査 69.6%）が増加している点から、多くの高齢者が自身の健康を肯定的に捉えていることがうかがえます。

2. 「社会資源」等の把握について

社会活動や地域活動への参加については、趣味関係のグループや介護予防グループ活動への不参加者（「参加していない」という回答）の減少が見られ、地域の中で交流を深める輪が緩やかに広がっている様子うかがえます。

幸福感に関しても、「とても幸せ（10点）」と「幸せ（7～9点）」を合わせた“幸せ”と感じる層が（令和4年度調査 52.4%→令和7年度調査 58.4%）増加しており、日々の生活に充足感を抱いている方が増えている傾向がうかがえます。

一方で、うつリスクに該当する方（令和4年度調査 42.8%→令和7年度調査 44.4%）が増加している点には注意が必要です。

3. 認知症について

認知症に関しては、ご本人やご家族に症状があると感じている方（令和4年度調査 16.9%→令和7年度調査 12.4%）は減少しています。また、認知症に関する相談窓口の認知度については、令和4年度からほぼ横ばいの状況にあります（令和4年度調査 29.4%→令和7年度調査 29.2%）。

認知症について誰もが「自分事」として向き合い、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するために、認知症に関する正しい知識の普及・啓発、相談窓口の周知を継続することが重要です。

4. その他

耳の聞こえに関する知識として、難聴が認知症に繋がる可能性を知っている方（令和4年度調査 31.3%→令和7年度調査 39.9%）が増加しており、関心が一段と高まっている様子うかがえます。

人生会議（ACP）の認知度は6.9%と低く、今後の普及に向けた丁寧な取組が必要です。

移動支援に関しては、バス運賃とタクシー料金の助成が必要と思う方が、それぞれ約3割となっており、住み慣れた地域で自由に動き回れるための支援のあり方が、今後の生活の質を左右する大切な要素になっています。

Ⅲ 調査結果

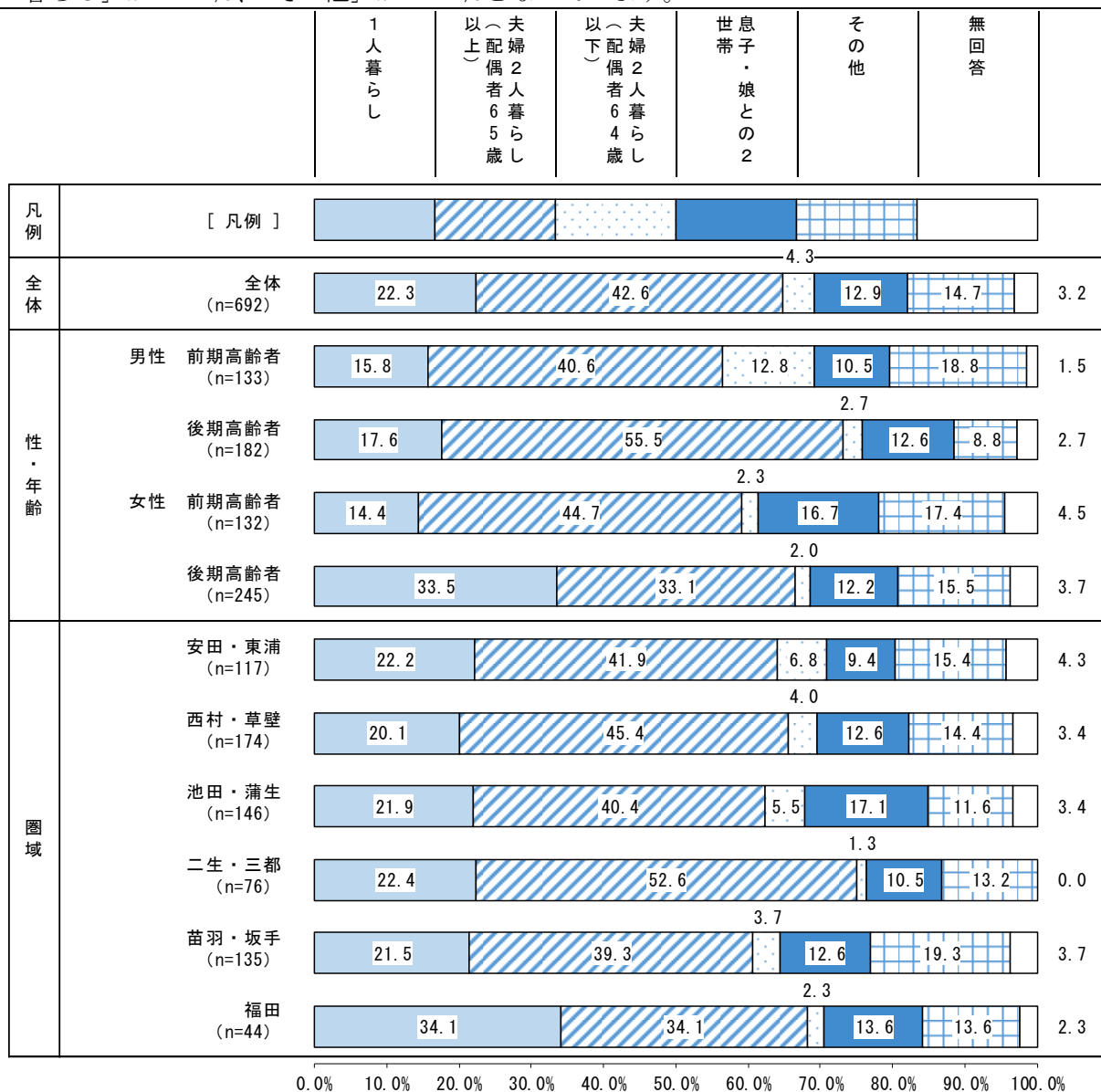
※リスク判定に関わる設問項目は、「Ⅳ リスク判定」に掲載しています。

1. ご家族や生活状況について

●問1.1 家族構成をお教えてください。(1つだけ○)

【全体】

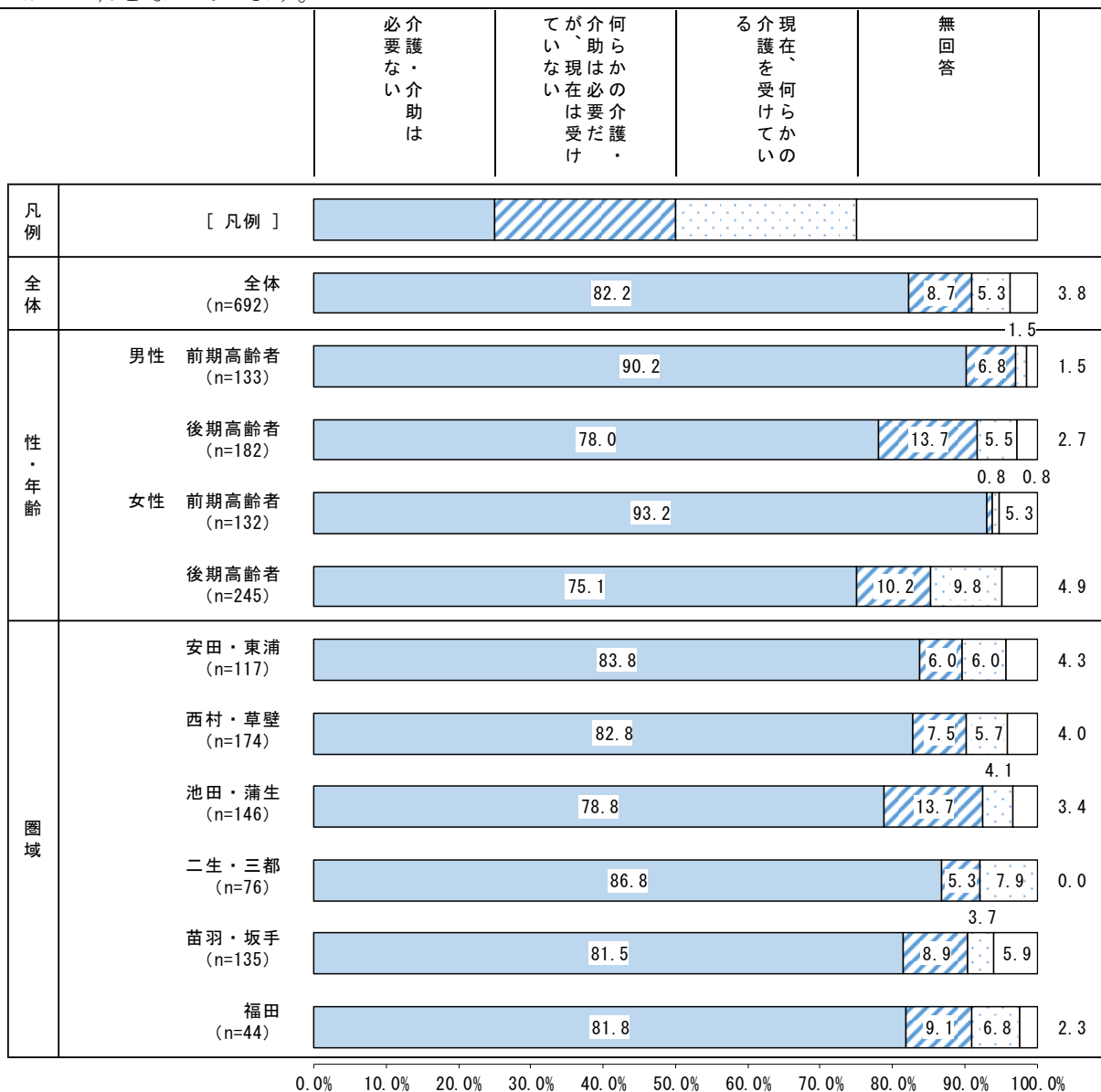
○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 42.6%で最も多く、次いで「1人暮らし」が 22.3%、「その他」が 14.7%となっています。



●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つだけ○）

【全体】

- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 82.2%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 8.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が 5.3%となっています。



●問1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも○）

【全体】

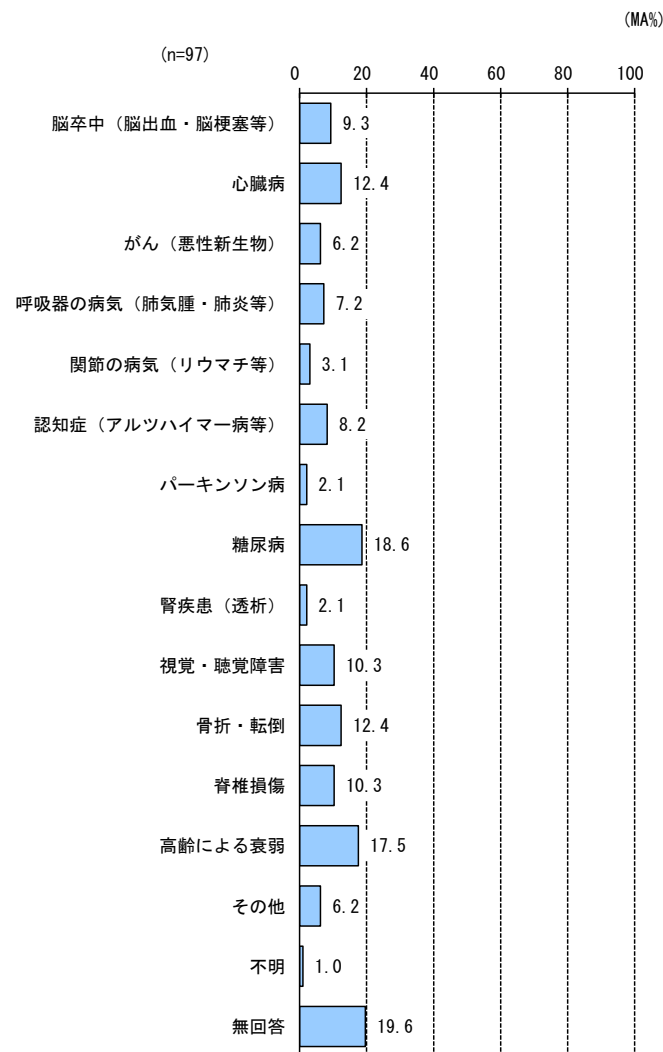
- 介護・介助が必要になった主な原因について、「糖尿病」が 18.6%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が 17.5%、「心臓病」「骨折・転倒」が 12.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が多くなっています。
- 「心臓病」は女性 前期高齢者が 50.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」は男性 前期高齢者が 27.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「糖尿病」は男性 前期高齢者が 27.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は要支援1・2が 17.9%と一般高齢者の 3.6%に比べて多くなっています。
- 「認知症（アルツハイマー病等）」は一般高齢者が 12.7%と要支援1・2の 2.6%に比べて多くなっています。



単位：％

			母数	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								単位：%
				脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病 気 (肺気腫・肺炎 等)	関節の病 気 (リウマチ等)	認知症(アルツハ イマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	
全体 (n=97)			97	9.3	12.4	6.2	7.2	3.1	8.2	2.1	18.6	
性・ 年 齢	男性	前期高齢者 (n=11)	11	18.2	-	-	△ 27.3	-	-	-	27.3	
		後期高齢者 (n=35)	35	11.4	17.1	11.4	5.7	2.9	14.3	-	20.0	
	女性	前期高齢者 (n=2)	2	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-	-	-	
		後期高齢者 (n=49)	49	4.1	10.2	4.1	4.1	4.1	6.1	4.1	16.3	
当該認 定状況	一般高齢者 (n=55)		55	3.6	10.9	9.1	7.3	5.5	12.7	-	20.0	
	要支援 1・2 (n=39)		39	17.9	15.4	2.6	7.7	-	2.6	5.1	17.9	

単位：％

			母数	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
				腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体 (n=97)			97	2.1	10.3	12.4	10.3	17.5	6.2	1.0	19.6
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=11)	11	-	9.1	-	9.1	18.2	-	-	18.2
		後期高齢者 (n=35)	35	5.7	11.4	5.7	11.4	17.1	5.7	-	11.4
	女性	前期高齢者 (n=2)	2	-	-	-	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-
		後期高齢者 (n=49)	49	-	10.2	20.4	8.2	16.3	8.2	2.0	26.5
当該認定状況	一般高齢者 (n=55)		55	-	12.7	16.4	12.7	18.2	9.1	1.8	12.7
	要支援 1・2 (n=39)		39	5.1	7.7	7.7	5.1	17.9	2.6	-	25.6

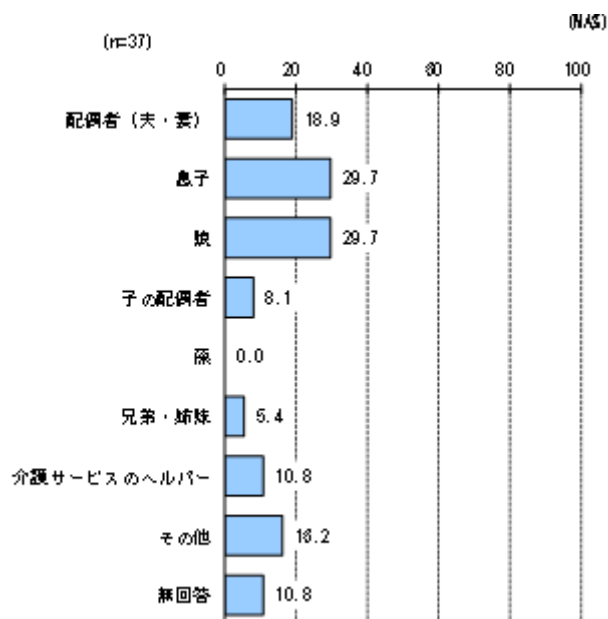
●問1.2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも○）

【全体】

- 主な介護者について、「息子」「娘」が 29.7%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 18.9%、「その他」が 16.2%となっています。

【家族構成】

- 「娘」は1人暮らしが 23.5%、夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）が 11.1%と他の区分に比べて少なくなっています。



単位：％

		母数	主な介護者(MA)				
			配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫
全体 (n=37)		37	18.9	29.7	29.7	8.1	-
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=2)	2	△ 50.0	-	-	-	-
	後期高齢者 (n=10)	10	20.0	30.0	30.0	10.0	-
	女性 前期高齢者 (n=1)	1	△100.0	-	-	-	-
	後期高齢者 (n=24)	24	12.5	33.3	33.3	8.3	-
家族構成	1人暮らし (n=17)	17	-	△ 41.2	23.5	5.9	-
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=9)	9	△ 66.7	-	▼ 11.1	-	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=1)	1	△100.0	△100.0	-	-	-
	息子・娘との2世帯 (n=5)	5	-	△ 60.0	△ 60.0	△ 40.0	-
	その他 (n=5)	5	-	-	△ 60.0	-	-

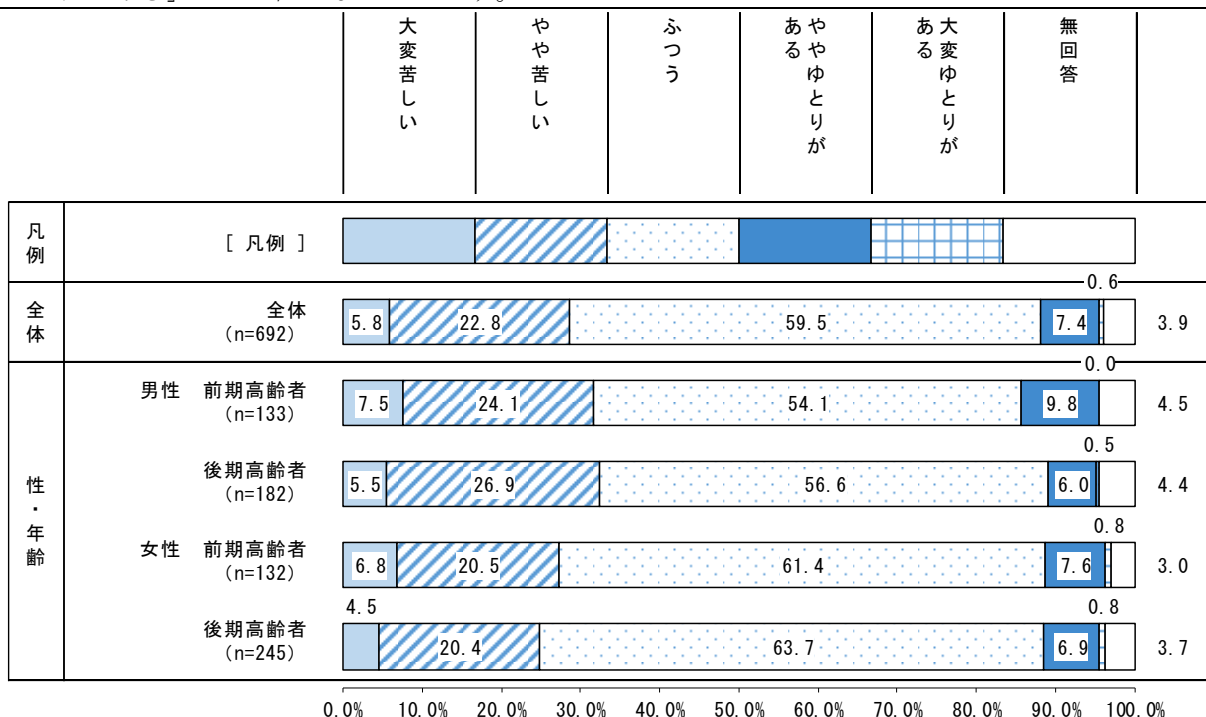
単位：％

		母数	主な介護者(MA)			
			兄弟・姉妹	ヘルパーサービスの	その他	無回答
全体 (n=37)		37	5.4	10.8	16.2	10.8
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=2)	2	-	-	△ 50.0	-
	後期高齢者 (n=10)	10	-	20.0	△ 30.0	10.0
	女性 前期高齢者 (n=1)	1	-	-	-	-
	後期高齢者 (n=24)	24	8.3	8.3	8.3	12.5
家族構成	1人暮らし (n=17)	17	11.8	11.8	23.5	17.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=9)	9	-	11.1	11.1	11.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=1)	1	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯 (n=5)	5	-	-	-	-
	その他 (n=5)	5	-	20.0	20.0	-

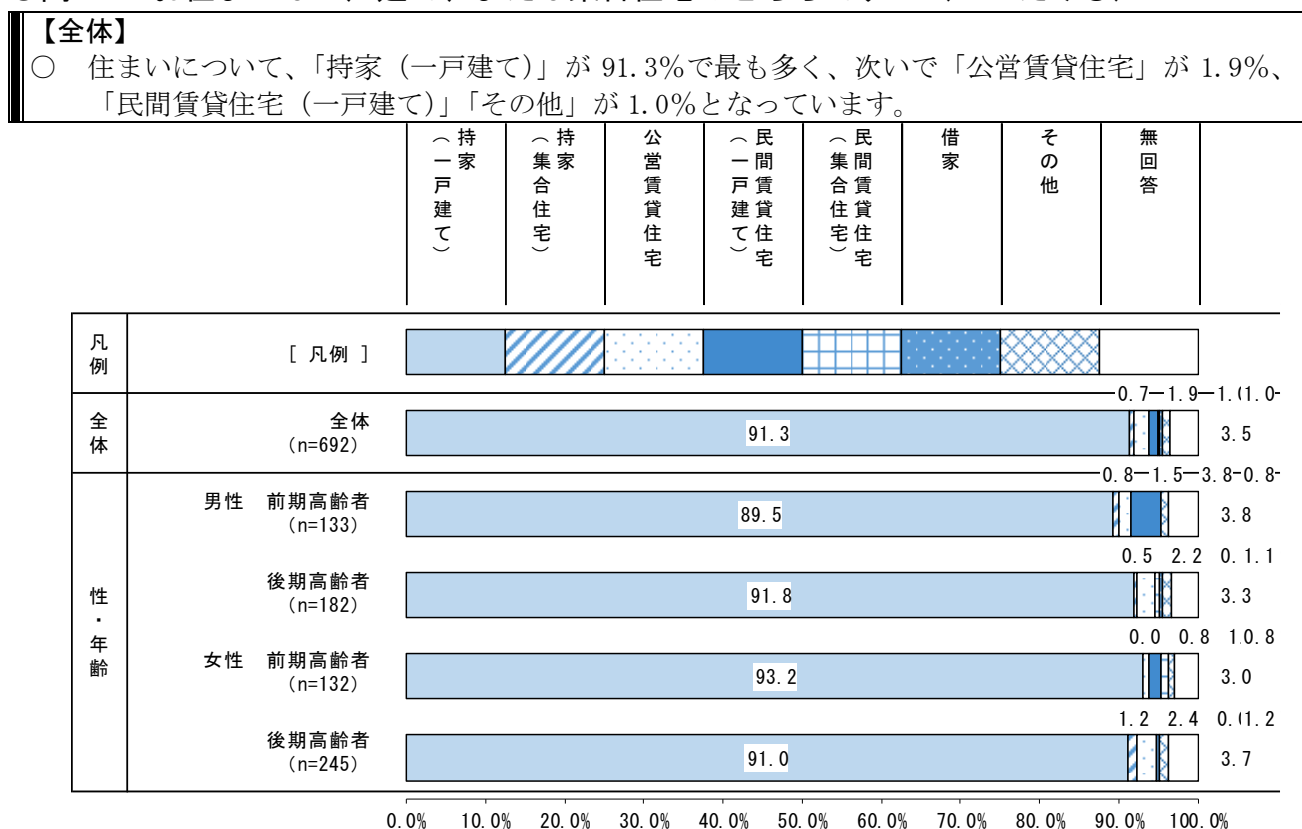
●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つだけ○）

【全体】

○ 経済状況について、「ふつう」が 59.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 22.8%、「ややゆとりがある」が7.4%となっています。

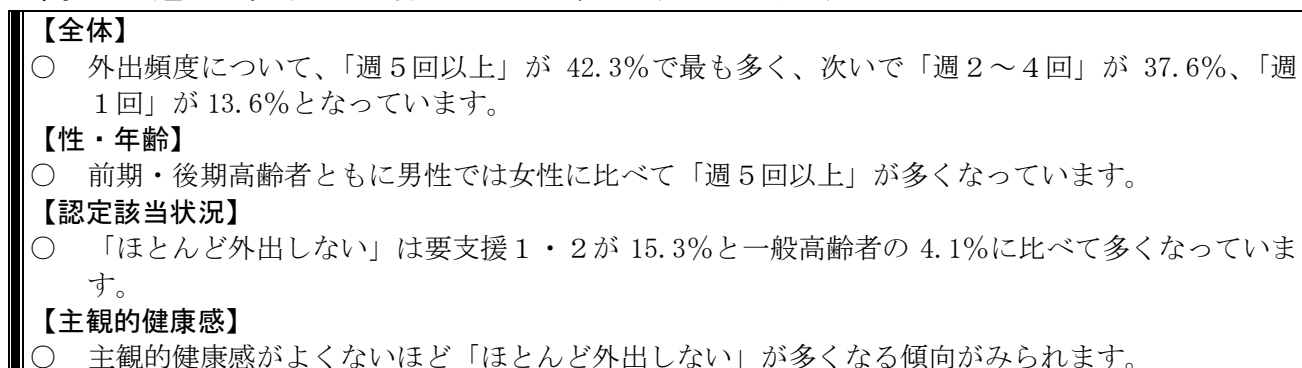


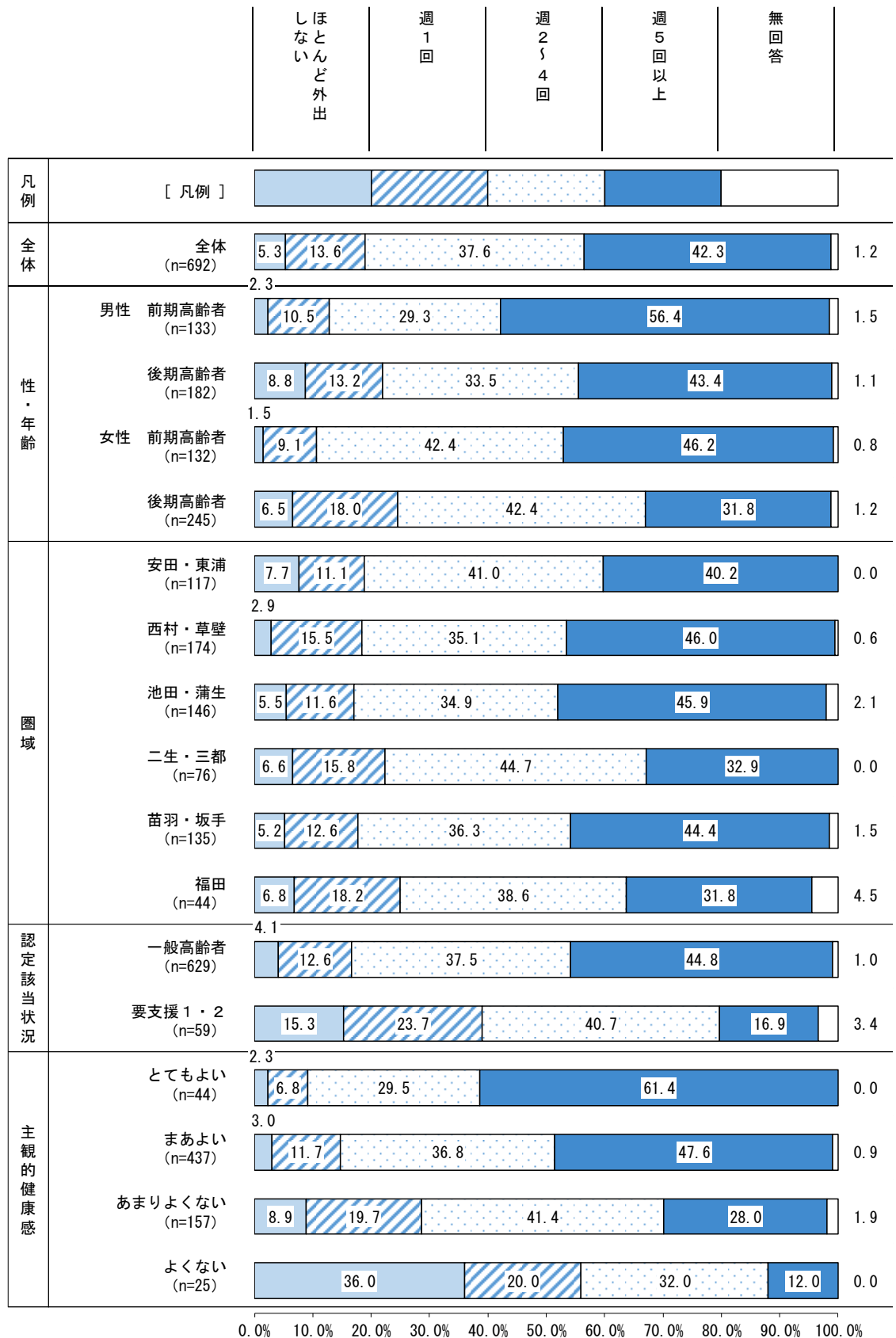
●問1.4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（１つだけ○）



2. からだを動かすことについて

●問2.6 週に1回以上は外出していますか（１つだけ○）

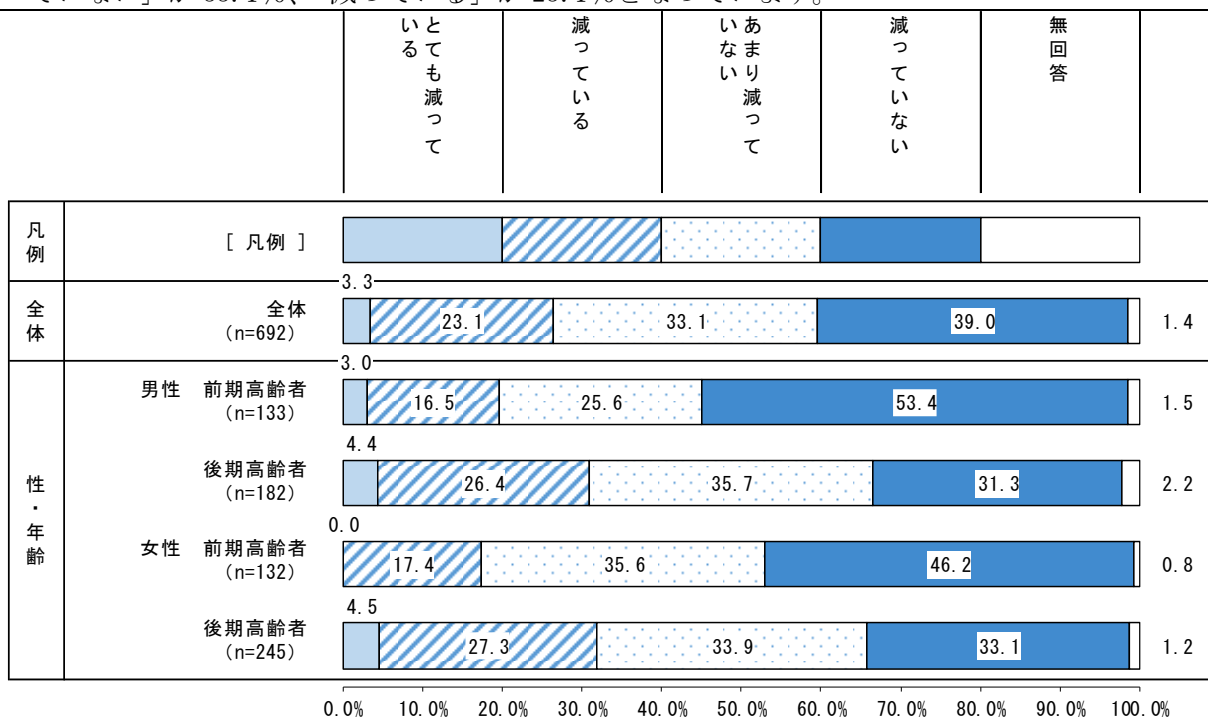




●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（１つだけ○）

【全体】

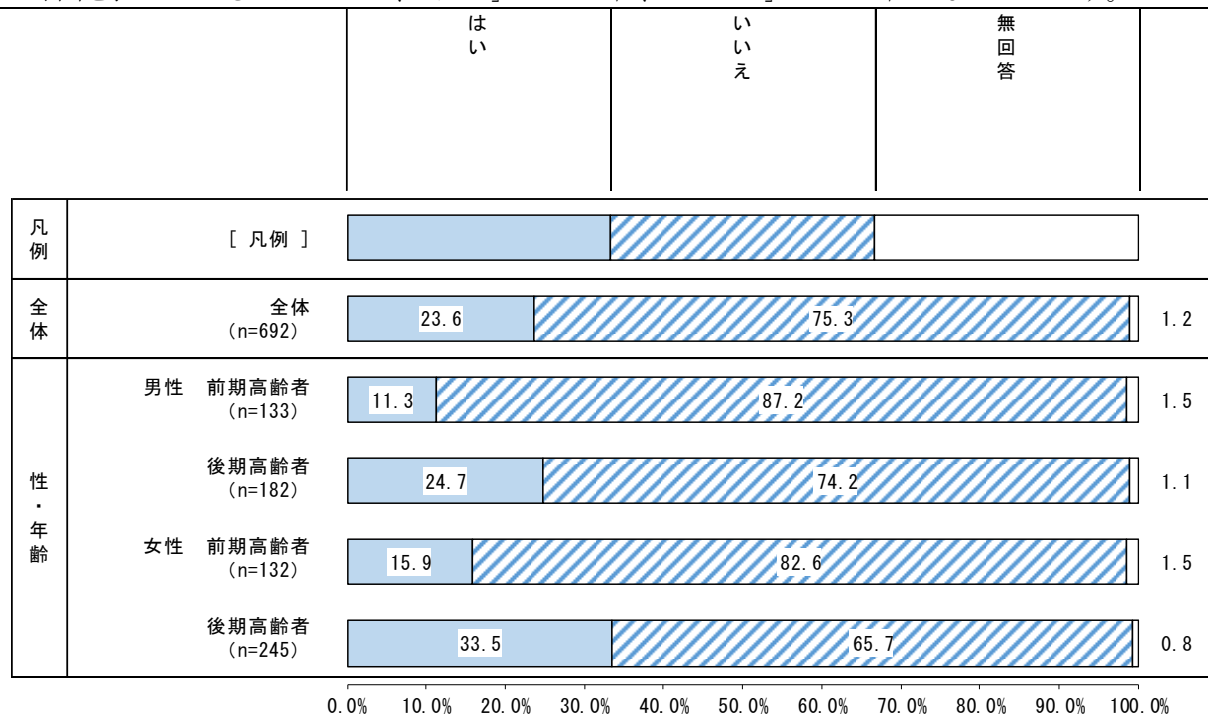
○ 昨年と比べた外出の回数について、「減っていない」が 39.0%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が 33.1%、「減っている」が 23.1%となっています。



●問2.8 外出を控えていますか（１つだけ○）

【全体】

○ 外出を控えているかについて、「はい」が 23.6%、「いいえ」が 75.3%となっています。



●問2.8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも○）

【全体】

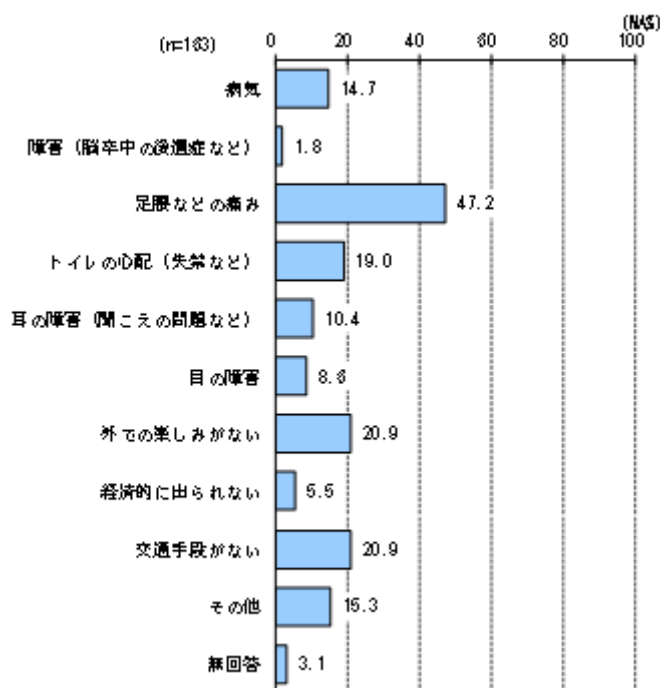
- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 47.2%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」「交通手段がない」が 20.9%、「トイレの心配（失禁など）」が 19.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「足腰などの痛み」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「トイレの心配（失禁など）」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「足腰などの痛み」は要支援1・2が 60.0%と一般高齢者の 43.5%に比べて多くなっています。
○ 「外での楽しみがない」は一般高齢者が 24.2%と要支援1・2の 11.4%に比べて多くなっています。



単位：%

		母数	外出を控えている理由 (MA)					
			病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害 (聞こえの問題など)	目の障害
全体 (n=163)		163	14.7	1.8	47.2	19.0	10.4	8.6
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=15)	15	13.3	-	▼ 26.7	20.0	-	-
	後期高齢者 (n=45)	45	22.2	2.2	46.7	24.4	8.9	13.3
	女性 前期高齢者 (n=21)	21	4.8	4.8	▼ 33.3	9.5	-	4.8
	後期高齢者 (n=82)	82	13.4	1.2	54.9	18.3	15.9	8.5
状況認定	一般高齢者 (n=124)	124	14.5	1.6	43.5	17.7	10.5	10.5
	要支援1・2 (n=35)	35	14.3	2.9	△ 60.0	25.7	11.4	2.9

		外出を抑えている理由(MA)					単位：%
		母数	な 外 いでの の楽し みが	な 経 い済 的に 出られ	交 通手 段が ない	そ の 他	無 回 答
全体 (n=163)		163	20.9	5.5	20.9	15.3	3.1
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=15)	15	△ 33.3	13.3	▼ 6.7	20.0	-
	後期高齢者 (n=45)	45	22.2	2.2	17.8	8.9	2.2
	女性 前期高齢者 (n=21)	21	△ 33.3	9.5	▼ 9.5	△ 42.9	-
	後期高齢者 (n=82)	82	14.6	4.9	28.0	11.0	4.9
状況認定	一般高齢者 (n=124)	124	24.2	7.3	12.9	17.7	3.2
	要支援1・2 (n=35)	35	11.4	-	△ 51.4	8.6	-

●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも○）

【全体】

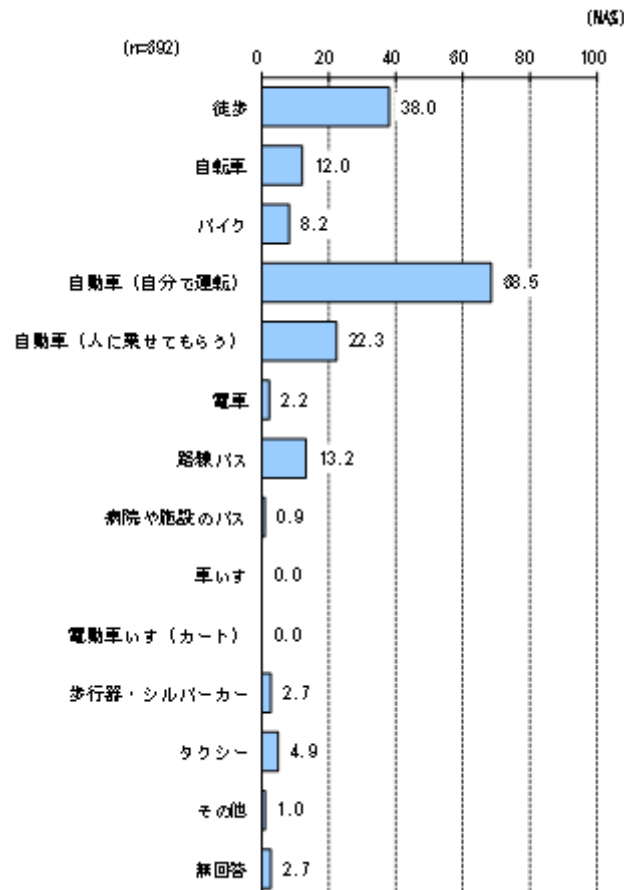
- 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が68.5%で最も多く、次いで「徒歩」が38.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が22.3%となっています。

【性・年齢】

- 「徒歩」は男性 後期高齢者が31.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自動車（自分で運転）」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「自動車（自分で運転）」は一般高齢者が73.4%と要支援1・2の20.3%に比べて多くなっています。
- 「自動車（人に乗せてもらう）」は要支援1・2が47.5%と一般高齢者の19.7%に比べて多くなっています。
- 「路線バス」は要支援1・2が25.4%と一般高齢者の11.9%に比べて多くなっています。



単位：％

		母数	外出する際の移動手段(MA)					
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せ てもらおう)	電車 路線バス
全体 (n=692)		692	38.0	12.0	8.2	68.5	22.3	2.2
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	42.1	13.5	18.0	△ 91.0	▼ 3.8	3.0
	後期高齢者 (n=182)	182	31.9	12.6	8.8	73.1	14.3	2.2
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	37.9	7.6	2.3	△ 84.1	21.2	3.8
	後期高齢者 (n=245)	245	40.4	13.1	5.7	▼ 44.5	△ 38.8	0.8
状況認定	一般高齢者 (n=629)	629	38.6	13.2	8.9	73.4	19.7	2.4
	要支援1・2 (n=59)	59	32.2	-	1.7	▼ 20.3	△ 47.5	-

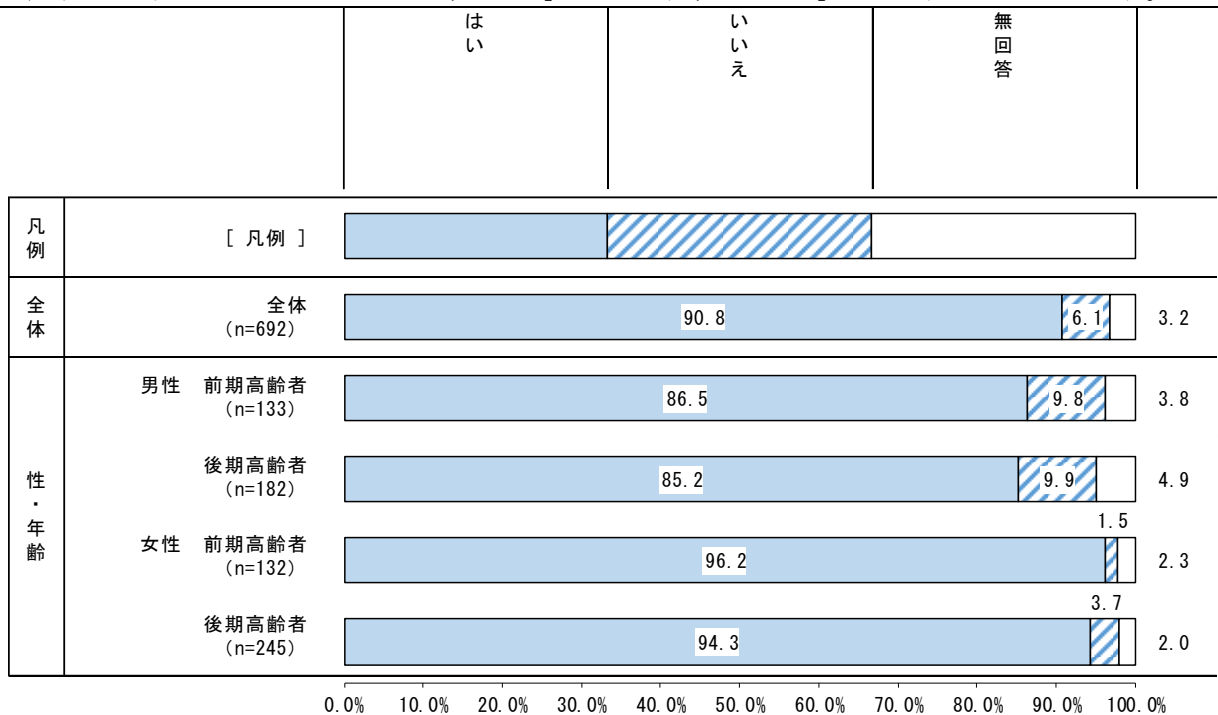
単位：％

		母数	外出する際の移動手段(MA)					
			病院や施設のバス	車いす	電動カート (電動車いす)	歩行器・シルバー	タクシー	その他 無回答
全体 (n=692)		692	0.9	-	-	2.7	4.9	1.0
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	1.5	-	-	-	0.8	-
	後期高齢者 (n=182)	182	1.1	-	-	2.2	6.0	1.1
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	-	-	-	0.8	1.5	0.8
	後期高齢者 (n=245)	245	0.8	-	-	5.7	8.2	1.6
状況認定	一般高齢者 (n=629)	629	0.8	-	-	0.8	3.8	1.0
	要支援1・2 (n=59)	59	1.7	-	-	△ 23.7	13.6	1.7

3. 食べることについて

●問3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つだけ○）

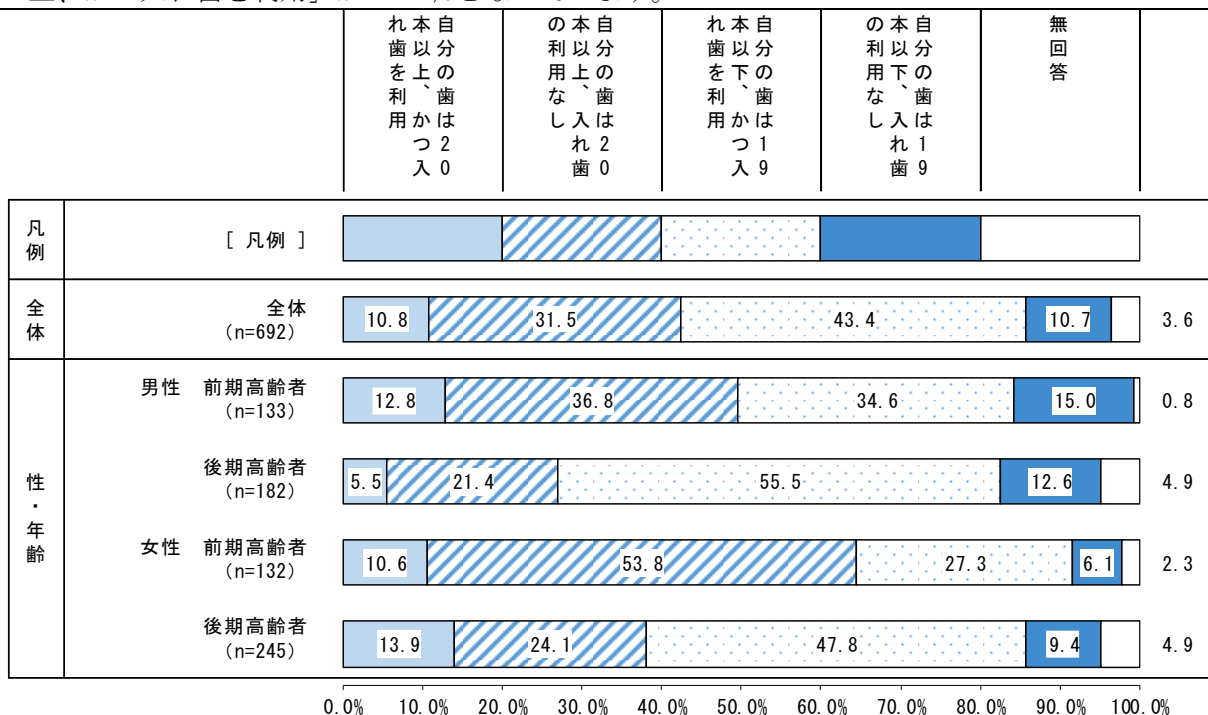
【全体】
○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が90.8%、「いいえ」が6.1%となっています。



●問3.6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（１つだけ○）

【全体】

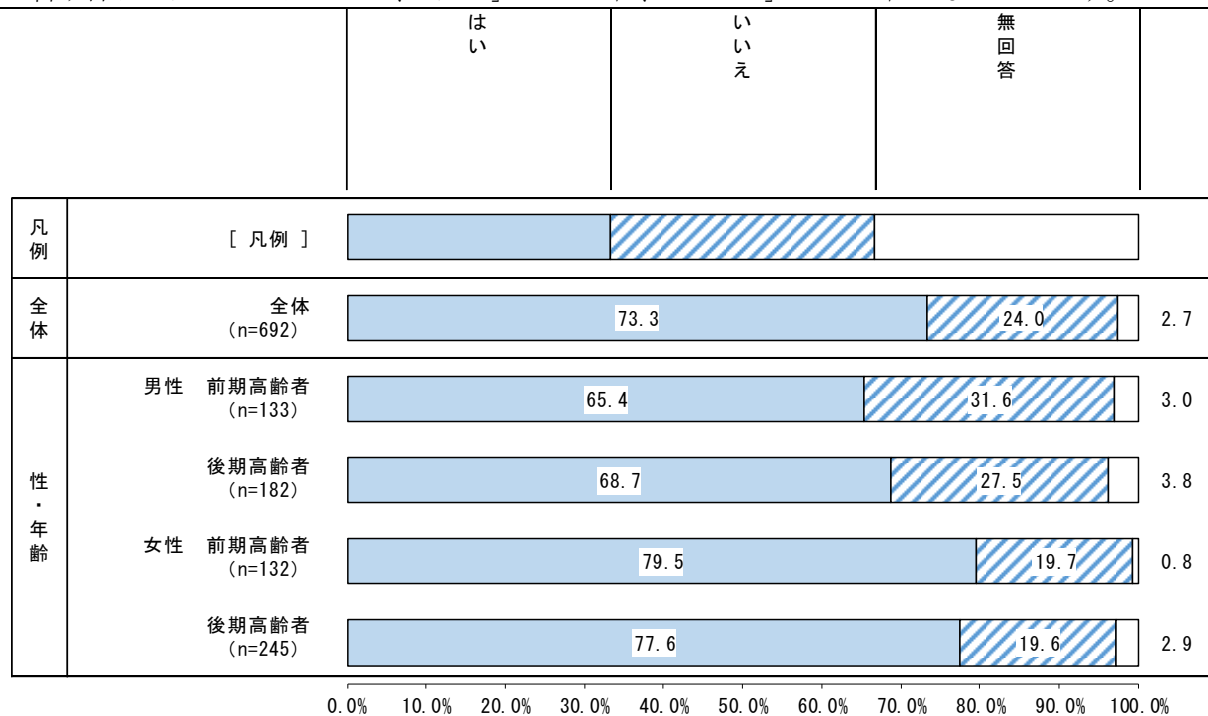
- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 43.4%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 31.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 10.8%となっています。



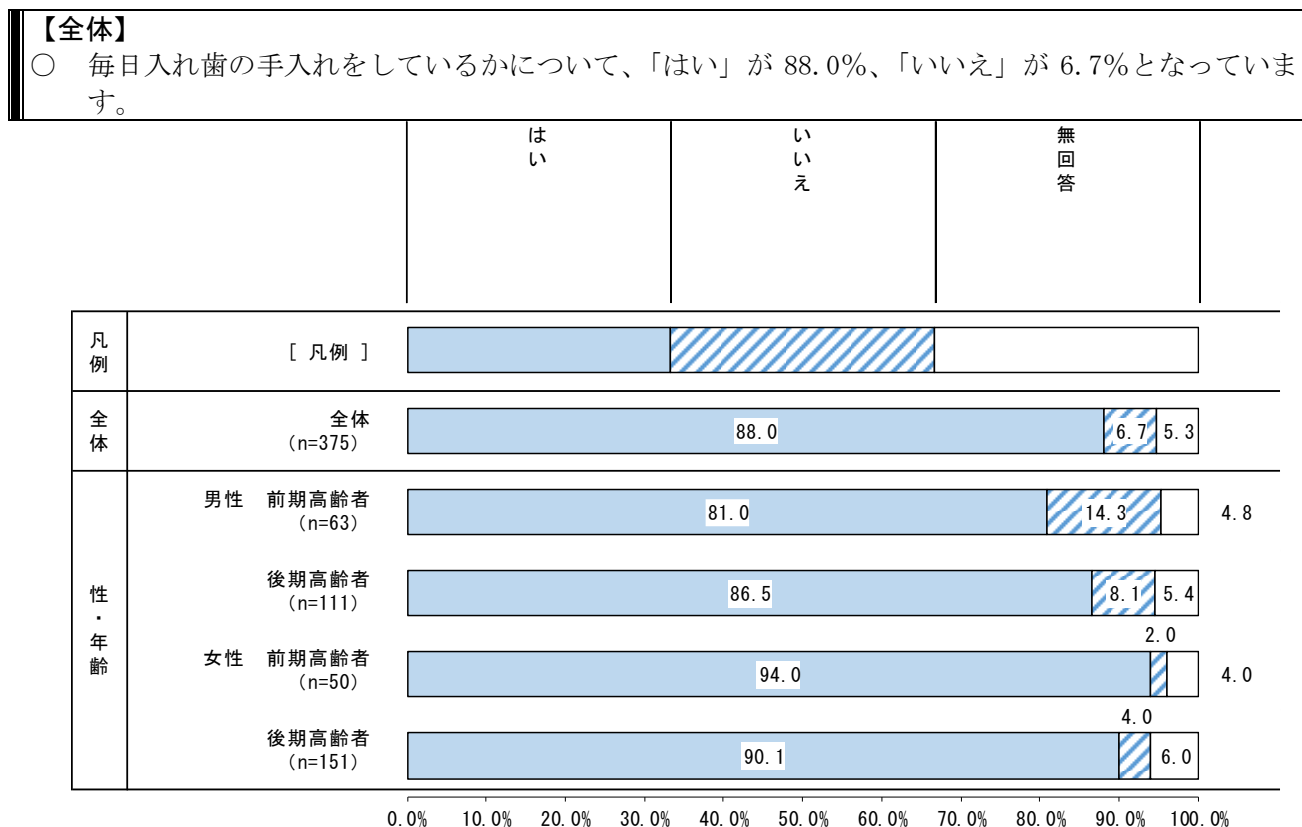
●問3.6-1 噛み合わせは良いですか（１つだけ○）

【全体】

- 噛み合わせはよいかについて、「はい」が 73.3%、「いいえ」が 24.0%となっています。

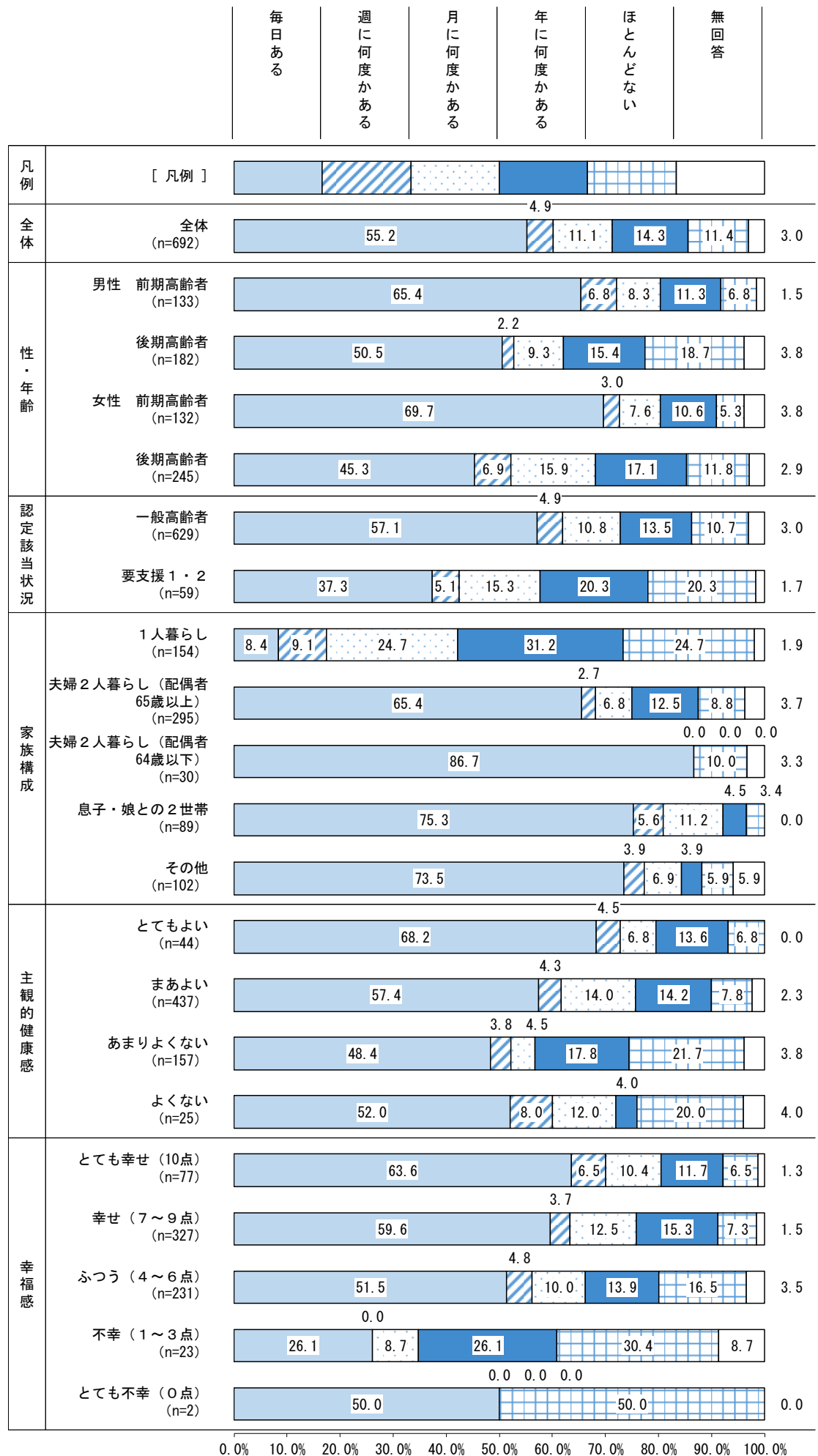


●問3.6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか（１つだけ○）



●問3.8 どなたかと食事をとる機会がありますか（１つだけ○）

- 【全体】
- 共食の有無について、「毎日ある」が55.2%で最も多く、次いで「年に何度かある」が14.3%、「ほとんどない」が11.4%となっています。
- 【認定該当状況】
- 「毎日ある」は一般高齢者が57.1%と要支援1・2の37.3%に比べて多くなっています。
- 「ほとんどない」は要支援1・2が20.3%と一般高齢者の10.7%に比べて多くなっています。
- 【家族構成】
- 「ほとんどない」は1人暮らしが24.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【主観的健康感】
- 「毎日ある」はとてもよいが68.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「ほとんどない」はとてもよいが6.8%、まあよいが7.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【幸福感】
- 「毎日ある」は不幸（1～3点）が26.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 幸福感が低いほど「ほとんどない」が多くなる傾向がみられます。



4. 毎日の生活について

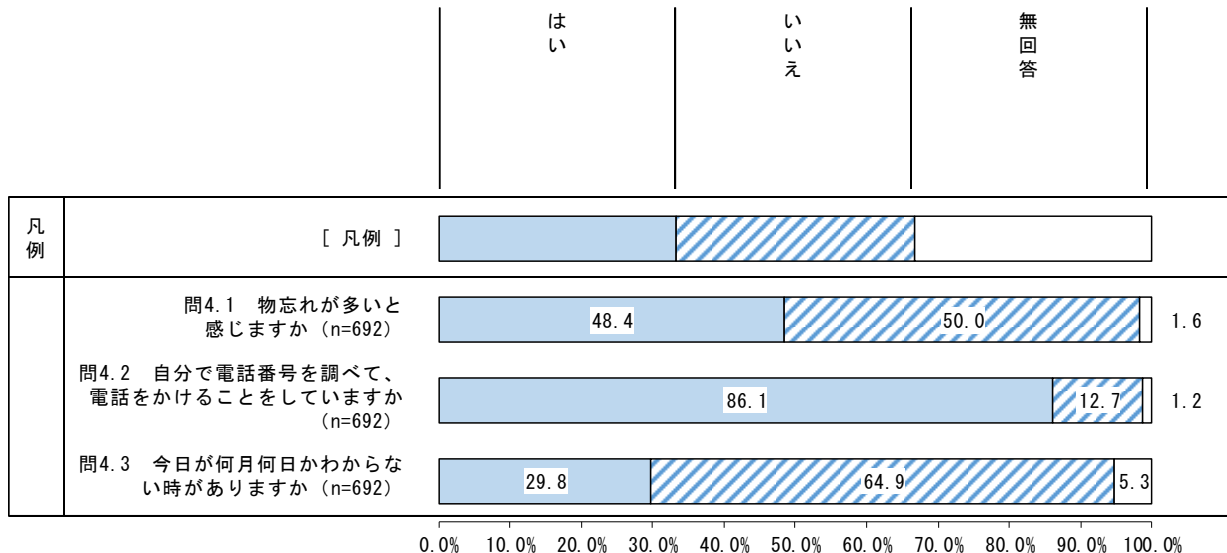
●問4.1 物忘れが多いと感じますか（1つだけ○）

●問4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つだけ○）

●問4.3 今日が何月何日かわからないときがありますか（1つだけ○）

【全体】

- 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が48.4%、「いいえ」が50.0%となっています。
- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が86.1%、「いいえ」が12.7%となっています。
- 今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が29.8%、「いいえ」が64.9%となっています。



●問4.9 年金などの書類（役場や病院などに出す書類）が書けますか（1つだけ○）

●問4.10 新聞を読んでいますか（1つだけ○）

●問4.11 本や雑誌を読んでいますか（1つだけ○）

●問4.12 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つだけ○）

●問4.13 友人の家を訪ねていますか（1つだけ○）

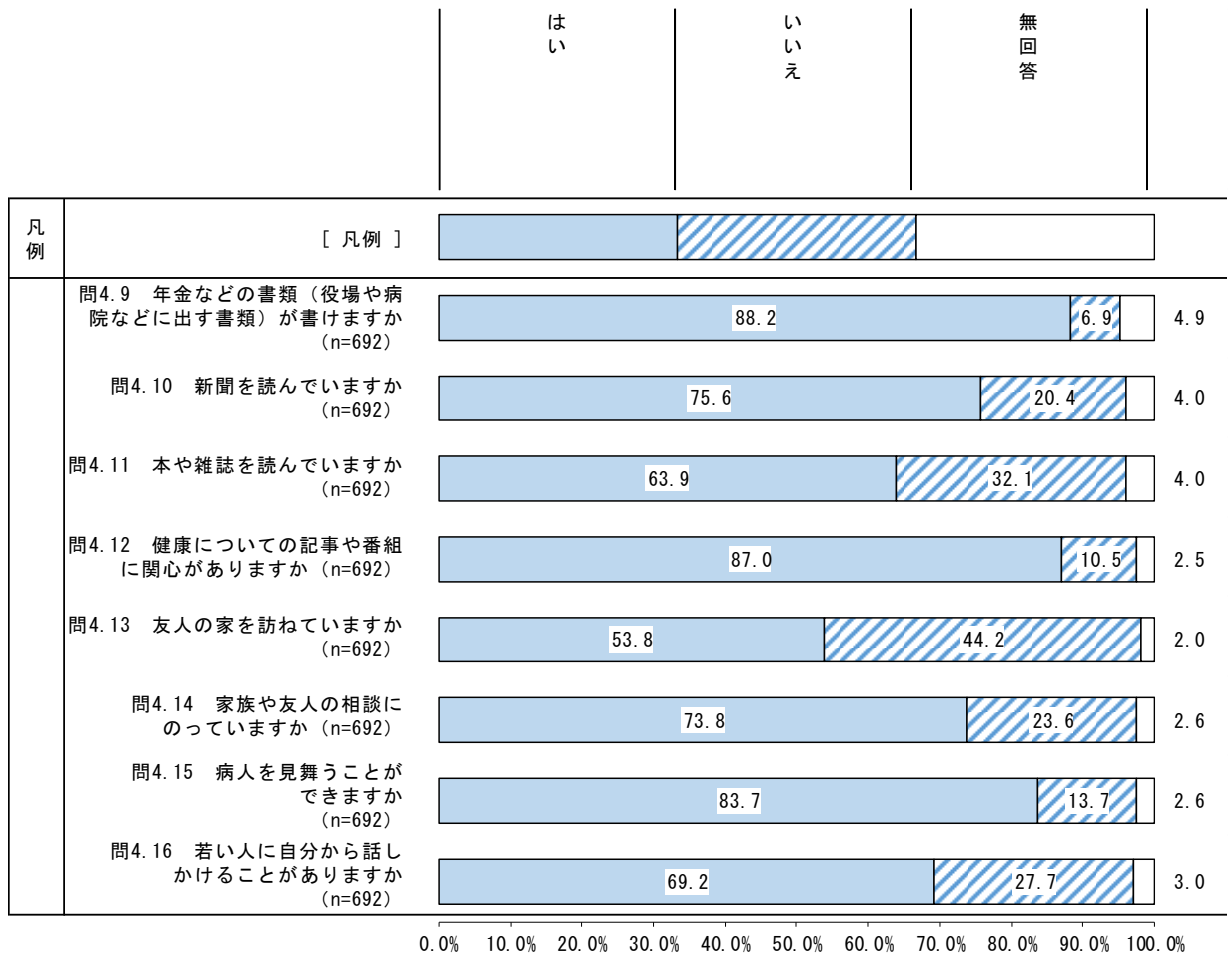
●問4.14 家族や友人の相談にのっていますか（1つだけ○）

●問4.15 病人を見舞うことができますか（1つだけ○）

●問4.16 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つだけ○）

【全体】

- 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が88.2%、「いいえ」が6.9%となっています。
- 新聞を読んでいるかについて、「はい」が75.6%、「いいえ」が20.4%となっています。
- 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が63.9%、「いいえ」が32.1%となっています。
- 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が87.0%、「いいえ」が10.5%となっています。
- 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が53.8%、「いいえ」が44.2%となっています。
- 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が73.8%、「いいえ」が23.6%となっています。
- 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が83.7%、「いいえ」が13.7%となっています。
- 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が69.2%、「いいえ」が27.7%となっています。



●問4.17 趣味はありますか（1つだけ○）

【全体】

○ 趣味の有無について、「趣味あり」が66.9%、「思いつかない」が28.2%となっています。

【性・年齢】

○ 「思いつかない」は男性 後期高齢者が32.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

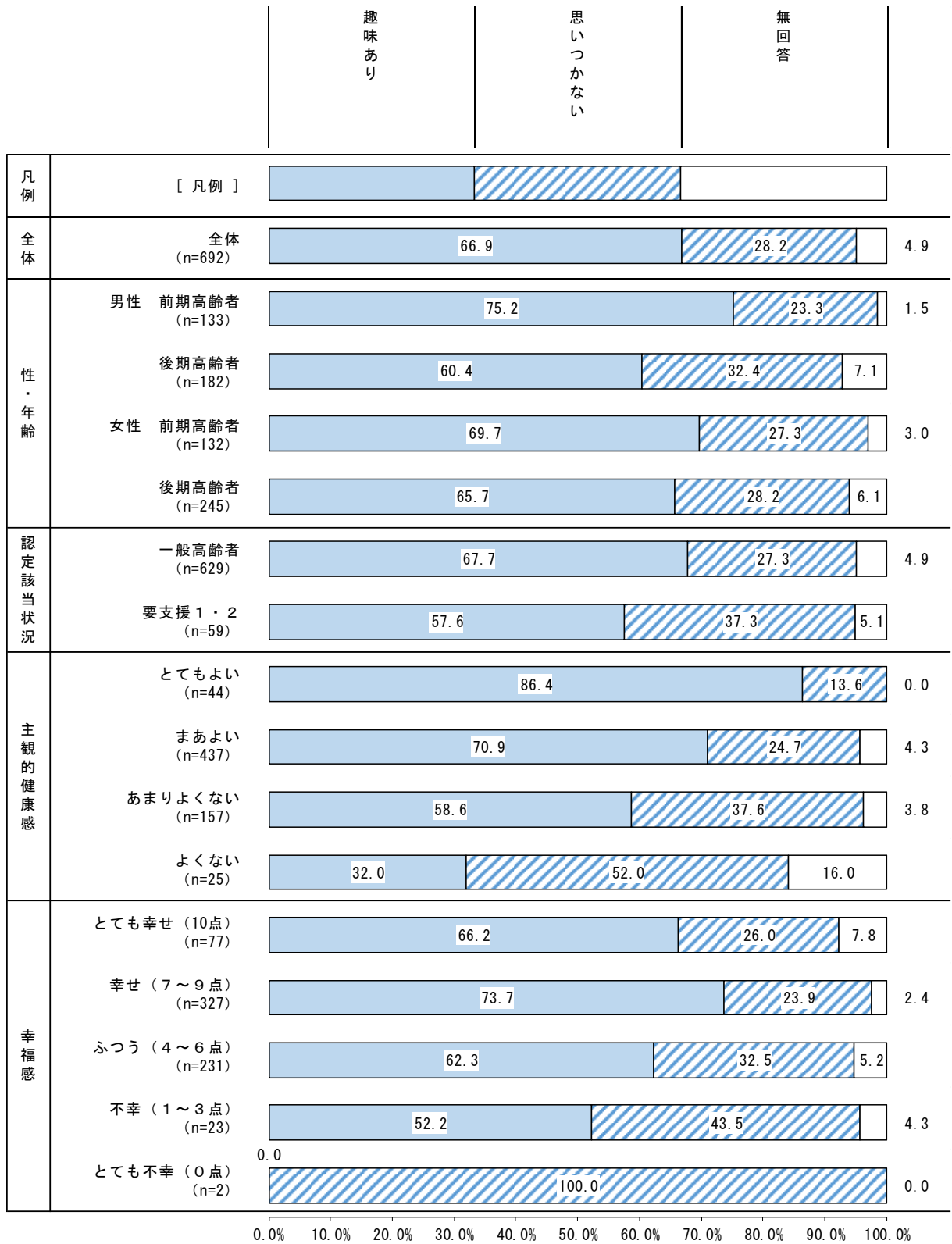
○ 「思いつかない」は要支援1・2が37.3%と一般高齢者の27.3%に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

○ 主観的健康感がよくないほど「思いつかない」が多くなる傾向がみられます。

【幸福感】

○ 「趣味あり」は不幸（1～3点）が52.2%と他の区分に比べて少なくなっています。



●問4.18 生きがいがありますか（１つだけ○）

【全体】

- 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 54.6%、「思いつかない」が 39.6%となっています。

【性・年齢】

- 「思いつかない」は男性 後期高齢者が 49.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

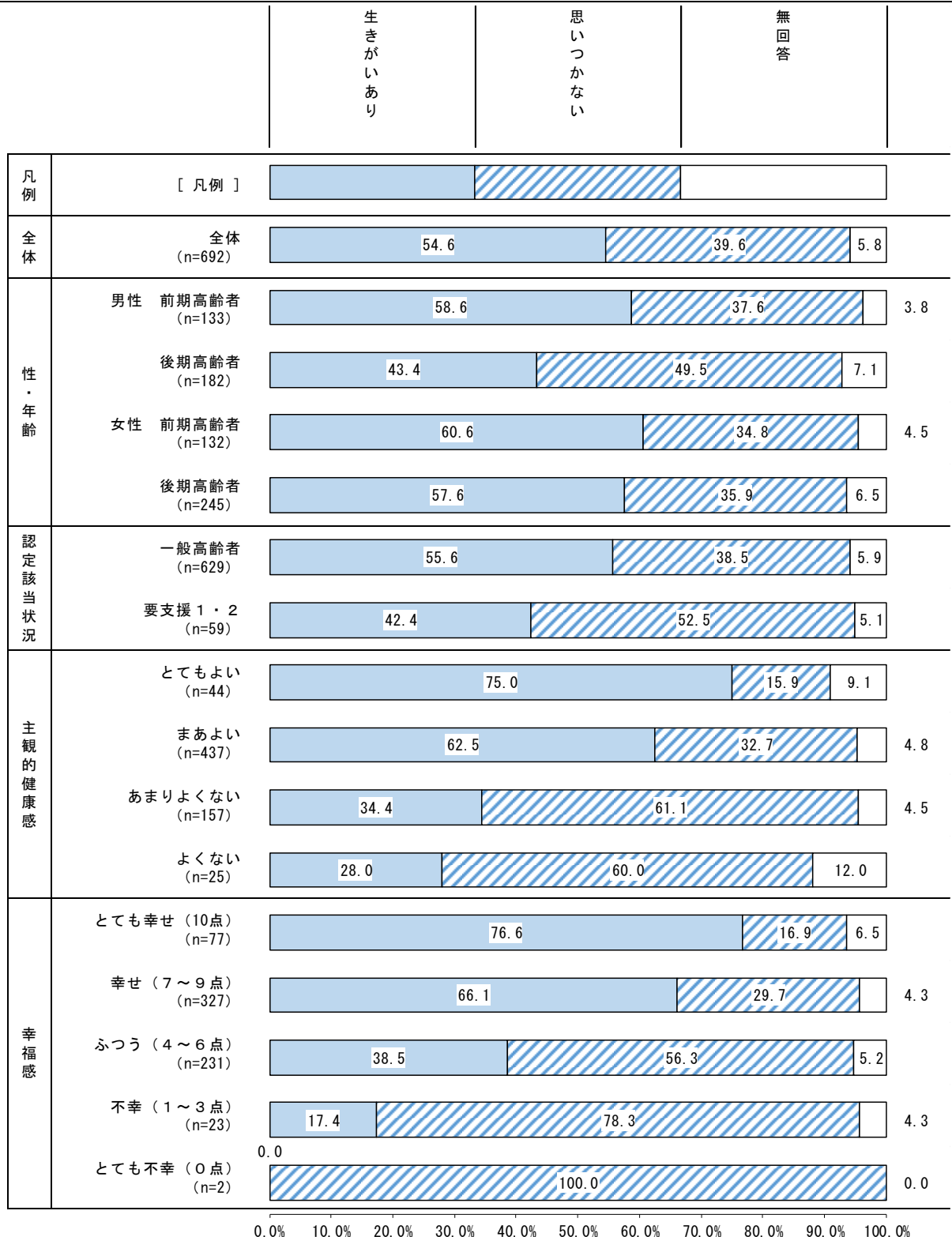
- 「思いつかない」は要支援１・２が 52.5%と一般高齢者の 38.5%に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 幸福感が低いほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。



5. 地域での活動について

●問 5.1 以下のような会・グループ等にどれぐらいの頻度で参加していますか。

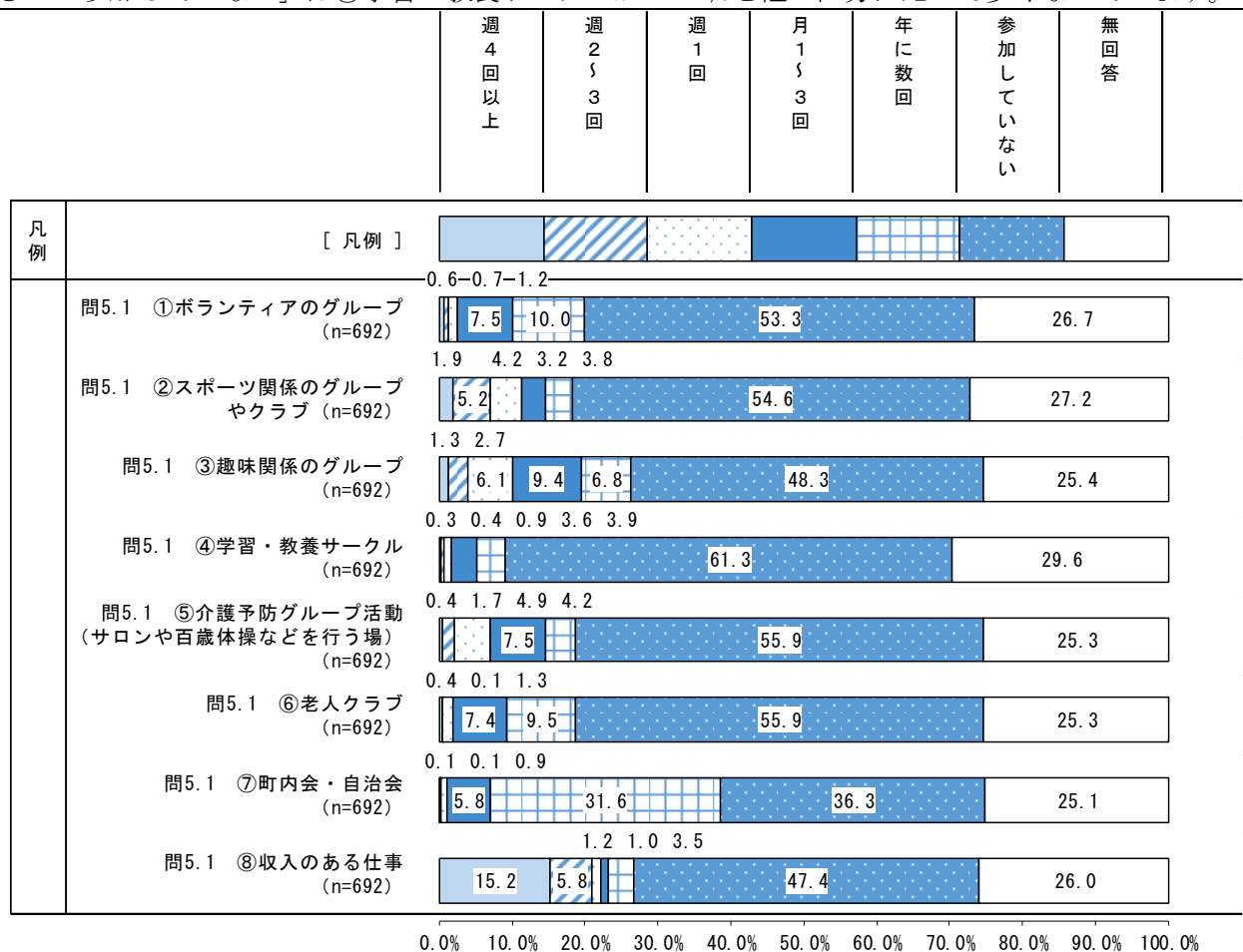
(①～⑧にそれぞれ1つだけ○)

【全体】

- ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が 53.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 10.0%、「月 1～3 回」が 7.5%となっています。
- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が 54.6%で最も多く、次いで「週 2～3 回」が 5.2%、「週 1 回」が 4.2%となっています。
- ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が 48.3%で最も多く、次いで「月 1～3 回」が 9.4%、「年に数回」が 6.8%となっています。
- ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が 61.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 3.9%、「月 1～3 回」が 3.6%となっています。
- ⑤介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が 55.9%で最も多く、次いで「月 1～3 回」が 7.5%、「週 1 回」が 4.9%となっています。
- ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が 55.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 9.5%、「月 1～3 回」が 7.4%となっています。
- ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が 36.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 31.6%、「月 1～3 回」が 5.8%となっています。
- ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が 47.4%で最も多く、次いで「週 4 回以上」が 15.2%、「週 2～3 回」が 5.8%となっています。

【設問間比較】

- 「週 4 回以上」は⑧収入のある仕事が 15.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「年に数回」は⑦町内会・自治会が 31.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「参加していない」は④学習・教養サークルが 61.3%と他の区分に比べて多くなっています。



●問5.1 ①ボランティアのグループ（１つだけ○）

【全体】

- ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が 53.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 10.0%、「月 1～3 回」が 7.5%となっています。

【性・年齢】

- “週 1 回以上参加している人”は男性 前期高齢者が 0.8%、女性 前期高齢者が 0.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【圏域】

- “週 1 回以上参加している人”は西村・草壁が 4.0%、池田・蒲生が 4.1%と他の区分に比べて多くなっています。

			母数	①ボランティアのグループへの参加頻度							“週1回以上参加している人”
				週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体 (n=692)			692	0.6	0.7	1.2	7.5	10.0	53.3	26.7	2.5
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=133)	133	0.8	—	—	6.8	15.0	59.4	18.0	0.8
		後期高齢者 (n=182)	182	1.6	—	1.1	6.6	9.3	56.0	25.3	2.7
	女性	前期高齢者 (n=132)	132	—	—	0.8	7.6	14.4	56.8	20.5	0.8
		後期高齢者 (n=245)	245	—	2.0	2.0	8.6	5.3	46.1	35.9	4.0
圏域		安田・東浦 (n=117)	117	—	—	1.7	10.3	6.8	55.6	25.6	1.7
		西村・草壁 (n=174)	174	1.1	0.6	2.3	8.6	9.8	52.9	24.7	4.0
		池田・蒲生 (n=146)	146	0.7	2.7	0.7	5.5	11.6	49.3	29.5	4.1
		二生・三都 (n=76)	76	—	—	1.3	6.6	13.2	53.9	25.0	1.3
		苗羽・坂手 (n=135)	135	0.7	—	—	8.1	9.6	57.0	24.4	0.7
		福田 (n=44)	44	—	—	—	2.3	9.1	50.0	38.6	—

●問5.1 ②スポーツ関係のグループやクラブ

【全体】

- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が 54.6%で最も多く、次いで「週 2～3 回」が 5.2%、「週 1 回」が 4.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加していない」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「週 1 回以上参加している人」が多くなっています。

【圏域】

- 「参加していない」は池田・蒲生が 51.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ “週 1 回以上参加している人”は安田・東浦が 8.5%、二生・三都が 6.5%、福田が 4.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

単位：％										“週1回以上参加している人”
		母数	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度							
				週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体 (n=692)		692	1.9	5.2	4.2	3.2	3.8	54.6	27.2	11.3
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	0.8	1.5	3.8	3.8	7.5	63.9	18.8	6.1
	後期高齢者 (n=182)	182	1.6	4.9	2.7	2.7	6.6	55.5	25.8	9.2
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	2.3	6.1	7.6	5.3	1.5	58.3	18.9	16.0
	後期高齢者 (n=245)	245	2.4	6.9	3.7	2.0	0.8	46.9	37.1	13.0
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	－	5.1	3.4	4.3	6.8	55.6	24.8	8.5
	西村・草壁 (n=174)	174	4.6	4.6	4.6	3.4	1.7	55.2	25.9	13.8
	池田・蒲生 (n=146)	146	2.1	6.8	4.1	3.4	4.1	51.4	28.1	13.0
	二生・三都 (n=76)	76	－	3.9	2.6	2.6	5.3	55.3	30.3	6.5
	苗羽・坂手 (n=135)	135	1.5	6.7	5.2	3.0	3.0	56.3	24.4	13.4
	福田 (n=44)	44	－	－	4.5	－	2.3	54.5	38.6	4.5

●問5.1 ③趣味関係のグループ（１つだけ○）

【全体】

- ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が 48.3%で最も多く、次いで「月１～３回」が9.4%、「年に数回」が6.8%となっています。

【性・年齢】

- “週１回以上参加している人”は女性 前期高齢者が 13.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「週２～３回」は安田・東浦が 4.3%、苗羽・坂手が 3.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- “週１回以上参加している人”は福田が 2.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

			母数	③趣味関係のグループへの参加頻度							“週1回以上参加している人”
				週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体 (n=692)			692	1.3	2.7	6.1	9.4	6.8	48.3	25.4	10.1
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=133)	133	2.3	2.3	2.3	5.3	12.8	△ 59.4	15.8	6.9
		後期高齢者 (n=182)	182	2.2	2.7	4.9	8.2	4.9	51.1	25.8	9.8
	女性	前期高齢者 (n=132)	132	—	0.8	12.9	8.3	6.8	53.8	17.4	13.7
		後期高齢者 (n=245)	245	0.8	4.1	5.3	13.1	4.9	▼ 37.1	34.7	10.2
圏域		安田・東浦 (n=117)	117	0.9	4.3	4.3	10.3	5.1	50.4	24.8	9.5
		西村・草壁 (n=174)	174	1.7	2.9	7.5	11.5	8.0	46.0	22.4	12.1
		池田・蒲生 (n=146)	146	2.1	2.7	3.4	10.3	4.1	51.4	26.0	8.2
		二生・三都 (n=76)	76	—	—	9.2	10.5	6.6	50.0	23.7	9.2
		苗羽・坂手 (n=135)	135	1.5	3.7	8.1	4.4	8.9	47.4	25.9	13.3
		福田 (n=44)	44	—	—	2.3	9.1	9.1	40.9	38.6	2.3

●問5.1 ④学習・教養サークル（１つだけ○）

【全体】

- ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が 61.3%で最も多く、次いで「年に数回」が3.9%、「月１～３回」が3.6%となっています。

【性・年齢】

- 「月１～３回」は女性 前期高齢者が 9.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加していない」が多くなっています

【圏域】

- 「週１回」は福田が 2.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「月１～３回」は安田・東浦が 6.0%、苗羽・坂手が 6.7%と他の区分に比べて多くなっています。

		母数	④学習・教養サークルへの参加頻度							“週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2 ～ 3回	週1回	月1 ～ 3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体 (n=692)		692	0.3	0.4	0.9	3.6	3.9	61.3	29.6	1.6
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	—	—	—	1.5	3.8	△ 76.7	18.0	—
	後期高齢者 (n=182)	182	—	0.5	0.5	2.7	2.7	63.2	30.2	1.0
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	—	0.8	1.5	9.1	4.5	64.4	19.7	2.3
	後期高齢者 (n=245)	245	0.8	0.4	1.2	2.4	4.5	▼ 49.8	40.8	2.4
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	—	0.9	0.9	6.0	2.6	63.2	26.5	1.8
	西村・草壁 (n=174)	174	—	—	1.1	1.7	7.5	59.8	29.9	1.1
	池田・蒲生 (n=146)	146	0.7	0.7	—	2.7	4.1	59.6	32.2	1.4
	二生・三都 (n=76)	76	—	—	1.3	2.6	1.3	64.5	30.3	1.3
	苗羽・坂手 (n=135)	135	0.7	0.7	0.7	6.7	3.0	62.2	25.9	2.1
	福田 (n=44)	44	—	—	2.3	—	—	59.1	38.6	2.3

●問5.1 ⑤介護予防グループ活動（サロンや百歳体操などを行う場）（１つだけ○）

【全体】

- ⑤介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が 55.9%で最も多く、次いで「月１～３回」が 7.5%、「週１回」が 4.9%となっています。

【性・年齢】

- “週１回以上参加している人”は女性 後期高齢者が 15.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- “週１回以上参加している人”は安田・東浦が 10.2%、池田・蒲生が 10.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「参加していない」は一般高齢者が 57.7%と要支援１・２の 40.7%に比べて多くなっています。

		母数	⑤介護予防のための通いの場への参加頻度							単位：％ “週１回以上参加している人”
			週 ４ 回 以上	週 ２ ～ ３ 回	週 １ 回	月 １ ～ ３ 回	年 に 数 回	参加 して いない	無 回 答	
全体 (n=692)		692	0.4	1.7	4.9	7.5	4.2	55.9	25.3	7.0
性・ 年 齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	－	－	1.5	5.3	2.3	△ 75.2	15.8	1.5
	後期高齢者 (n=182)	182	0.5	0.5	1.1	5.5	3.3	61.0	28.0	2.1
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	－	0.8	3.0	6.8	6.1	△ 65.9	17.4	3.8
	後期高齢者 (n=245)	245	0.8	4.1	10.6	10.6	4.9	▼ 36.3	32.7	15.5
圏 域	安田・東浦 (n=117)	117	－	1.7	8.5	5.1	2.6	59.0	23.1	10.2
	西村・草壁 (n=174)	174	－	2.3	3.4	12.1	2.3	55.2	24.7	5.7
	池田・蒲生 (n=146)	146	1.4	3.4	5.5	8.9	4.8	52.7	23.3	10.3
	二生・三都 (n=76)	76	－	1.3	3.9	2.6	7.9	55.3	28.9	5.2
	苗羽・坂手 (n=135)	135	－	－	3.7	7.4	5.9	60.0	23.0	3.7
	福田 (n=44)	44	2.3	－	4.5	－	2.3	50.0	40.9	6.8
	該認 況 定	一般高齢者 (n=629)	629	0.3	1.3	4.5	7.3	4.5	57.7	24.5
	要支援１・２ (n=59)	59	1.7	6.8	8.5	10.2	1.7	▼ 40.7	30.5	△ 17.0

●問5.1 ⑥老人クラブ（１つだけ○）

【全体】

- ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が 55.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 9.5%、「月１～３回」が 7.4%となっています。

【性・年齢】

- “週１回以上参加している人”は女性 後期高齢者が 3.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「月１～３回」は池田・蒲生が 13.0%、苗羽・坂手が 10.4%と他の区分に比べて多くなっています。

- “週１回以上参加している人”は池田・蒲生が 4.8%と他の区分に比べて多くなっています。

		母数	⑥老人クラブへの参加頻度							単位：％ “週１回以上参加している人”
			週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答	
全体（n=692）		692	0.4	0.1	1.3	7.4	9.5	55.9	25.3	1.8
性・年齢	男性 前期高齢者（n=133）	133	－	－	0.8	6.0	3.8	△ 72.2	17.3	0.8
	後期高齢者（n=182）	182	－	0.5	0.5	7.7	11.0	54.9	25.3	1.0
	女性 前期高齢者（n=132）	132	－	－	0.8	1.5	8.3	△ 68.2	21.2	0.8
	後期高齢者（n=245）	245	1.2	－	2.4	11.0	12.2	▼ 41.2	31.8	3.6
圏域	安田・東浦（n=117）	117	0.9	－	1.7	4.3	7.7	60.7	24.8	2.6
	西村・草壁（n=174）	174	0.6	－	0.6	4.6	4.0	62.1	28.2	1.2
	池田・蒲生（n=146）	146	0.7	0.7	3.4	13.0	16.4	▼ 42.5	23.3	4.8
	二生・三都（n=76）	76	－	－	1.3	6.6	17.1	50.0	25.0	1.3
	苗羽・坂手（n=135）	135	－	－	－	10.4	6.7	62.2	20.7	－
	福田（n=44）	44	－	－	－	－	9.1	54.5	36.4	－

●問5.1 ⑦町内会・自治会（１つだけ○）

【全体】

- ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が 36.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 31.6%、「月１～３回」が 5.8%となっています。

【性・年齢】

- 「月１～３回」は男性 前期高齢者が 11.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「月１～３回」は苗羽・坂手が 10.4%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「参加していない」は安田・東浦が 43.6%、西村・草壁が 42.0%と他の区分に比べて多くなっています。
○ “週１回以上参加している人”は池田・蒲生が 2.8%と他の区分に比べて多くなっています。

			母数	⑦町内会・自治会への参加頻度							単位：％ “週1回以上参加している人”
				週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体（n=692）			692	0.1	0.1	0.9	5.8	31.6	36.3	25.1	1.1
性・年齢	男性	前期高齢者（n=133）	133	0.8	—	1.5	11.3	△ 49.6	▼ 25.6	11.3	2.3
		後期高齢者（n=182）	182	—	0.5	—	4.9	29.1	41.8	23.6	0.5
	女性	前期高齢者（n=132）	132	—	—	0.8	4.5	31.8	44.7	18.2	0.8
		後期高齢者（n=245）	245	—	—	1.2	4.1	23.7	33.5	37.6	1.2
圏域	安田・東浦（n=117）	117	—	—	0.9	5.1	25.6	43.6	24.8	0.9	
	西村・草壁（n=174）	174	0.6	—	—	5.7	27.0	42.0	24.7	0.6	
	池田・蒲生（n=146）	146	—	0.7	2.1	4.1	38.4	27.4	27.4	2.8	
	二生・三都（n=76）	76	—	—	1.3	3.9	36.8	35.5	22.4	1.3	
	苗羽・坂手（n=135）	135	—	—	0.7	10.4	32.6	34.8	21.5	0.7	
	福田（n=44）	44	—	—	—	2.3	31.8	29.5	36.4	—	

●問5.1 ⑧収入のある仕事（１つだけ○）

【全体】

- ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が 47.4%で最も多く、次いで「週４回以上」が 15.2%、「週２～３回」が 5.8%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「週４回以上」が多くなっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「参加していない」が多くなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 「参加していない」は不幸（１～３点）が 65.2%と他の区分に比べて多くなっています。

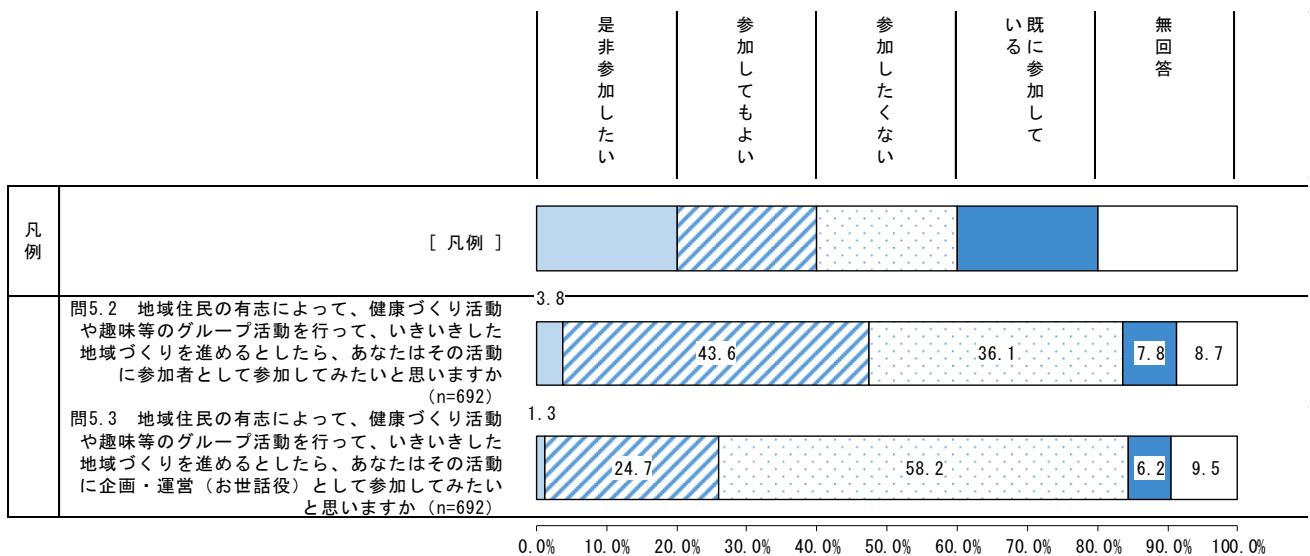
		母数	⑧収入のある仕事への参加頻度							“週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体 (n=692)		692	15.2	5.8	1.2	1.0	3.5	47.4	26.0	22.2
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	△ 29.3	7.5	1.5	1.5	6.0	38.3	15.8	△ 38.3
	後期高齢者 (n=182)	182	9.3	3.8	1.6	1.6	5.5	52.2	25.8	14.7
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	25.0	13.6	1.5	1.5	1.5	42.4	14.4	△ 40.1
	後期高齢者 (n=245)	245	6.5	2.0	0.4	-	1.6	51.4	38.0	▼ 8.9
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	14.5	3.4	1.7	2.6	2.6	50.4	24.8	19.6
	西村・草壁 (n=174)	174	17.8	8.0	1.7	1.1	3.4	43.1	24.7	27.5
	池田・蒲生 (n=146)	146	12.3	4.1	-	-	4.1	50.0	29.5	16.4
	二生・三都 (n=76)	76	18.4	5.3	-	1.3	2.6	44.7	27.6	23.7
	苗羽・坂手 (n=135)	135	13.3	3.0	2.2	0.7	5.2	54.1	21.5	18.5
	福田 (n=44)	44	15.9	△ 18.2	-	-	-	▼ 31.8	34.1	△ 34.1
主観的健康	とてもよい (n=44)	44	20.5	6.8	-	2.3	9.1	▼ 29.5	31.8	27.3
	まあよい (n=437)	437	17.6	8.5	1.4	0.9	3.2	45.3	23.1	27.5
	あまりよくない (n=157)	157	9.6	-	1.3	1.3	2.5	△ 58.6	26.8	▼ 10.9
	よくない (n=25)	25	▼ 4.0	-	-	-	8.0	△ 64.0	24.0	▼ 4.0
幸福感	とても幸せ (10点) (n=77)	77	15.6	3.9	1.3	1.3	2.6	44.2	31.2	20.8
	幸せ (7～9点) (n=327)	327	16.2	8.6	1.8	1.5	3.7	46.2	22.0	26.6
	ふつう (4～6点) (n=231)	231	14.7	3.5	-	0.4	3.9	50.2	27.3	18.2
	不幸 (1～3点) (n=23)	23	8.7	4.3	4.3	-	4.3	△ 65.2	13.0	17.3
	とても不幸 (0点) (n=2)	2	△ 50.0	-	-	-	-	50.0	-	△ 50.0

●問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つだけ○）

●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つだけ○）

【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が 43.6%で最も多く、次いで「参加したくない」が 36.1%、「既に参加している」が 7.8%となっています。
- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が 58.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 24.7%、「既に参加している」が 6.2%となっています。



●問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つだけ○）

【性・年齢】

- 「是非参加したい」は女性 後期高齢者が 5.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加したくない」が多くなっています。
- 「既に参加している」は女性 後期高齢者が 11.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

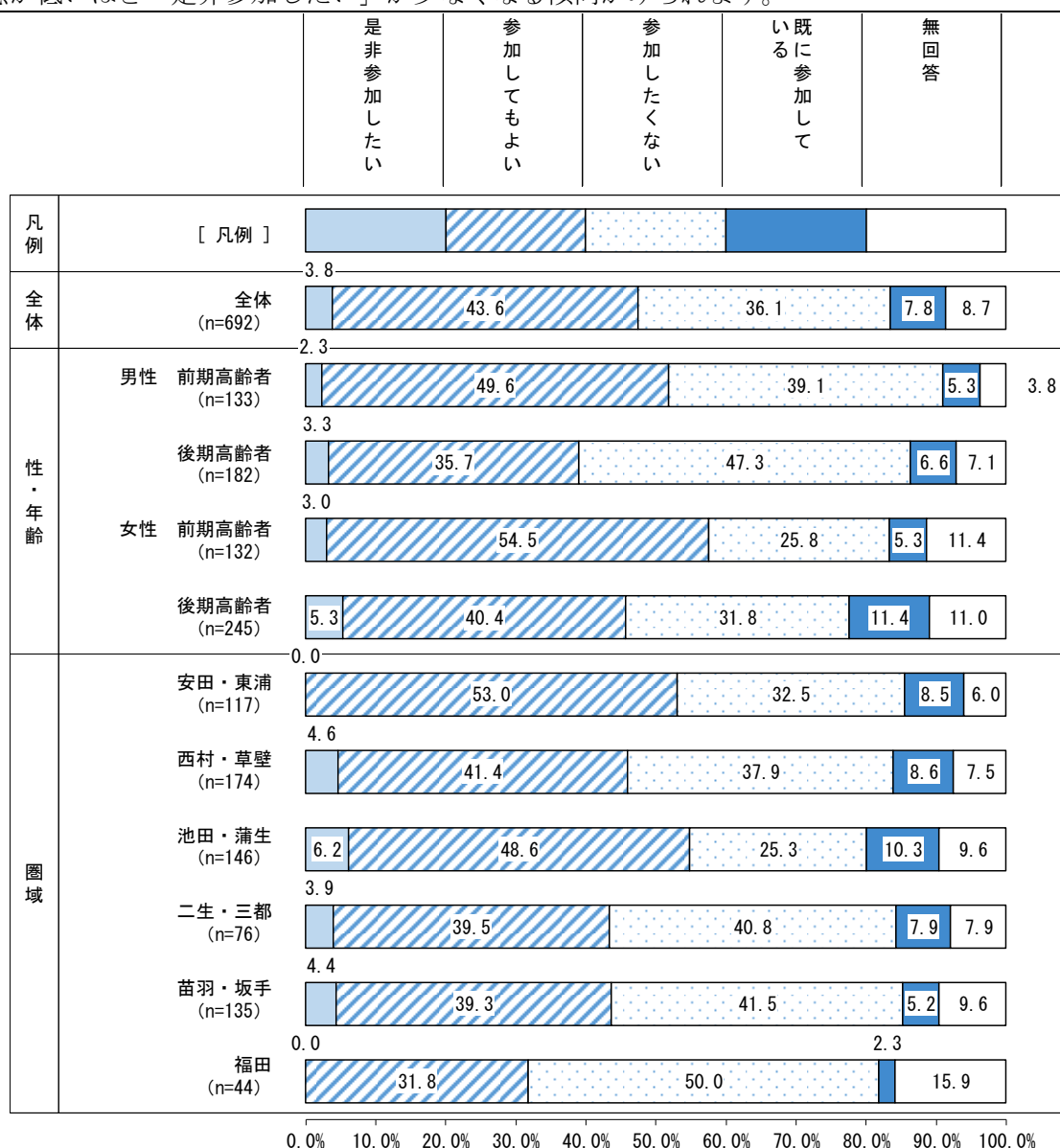
- 「是非参加したい」は池田・蒲生が 6.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「参加したくない」は福田が 50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

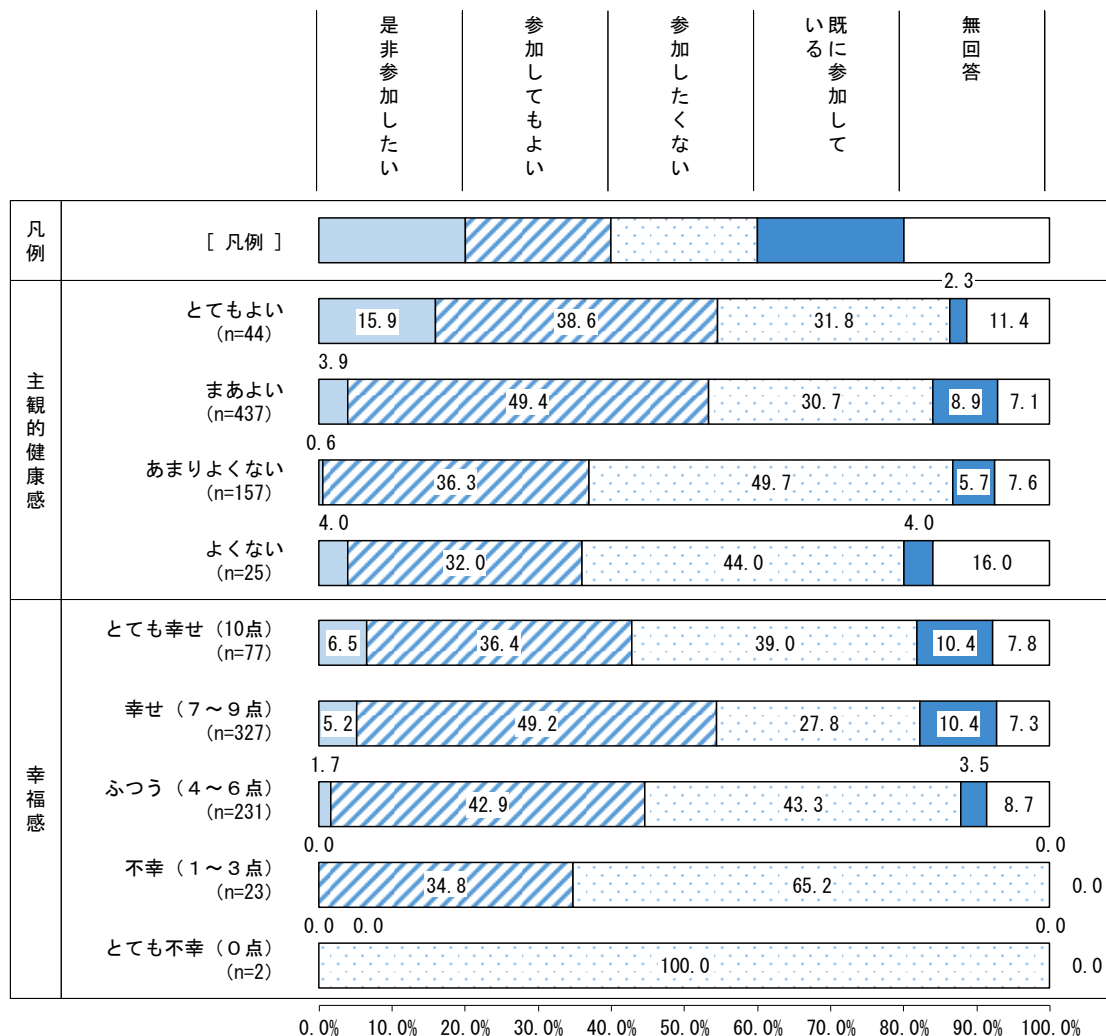
【主観的健康感】

- 「是非参加したい」はとてもよいが 15.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「参加したくない」はとてもよいが 31.8%、まあよいが 30.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【幸福感】

- 幸福感が低いほど「是非参加したい」が少なくなる傾向がみられます。





●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つだけ○）

【性・年齢】

- 「是非参加したい」は男性 前期高齢者が 1.5%、女性 後期高齢者が 2.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「既に参加している」は女性 後期高齢者が 7.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

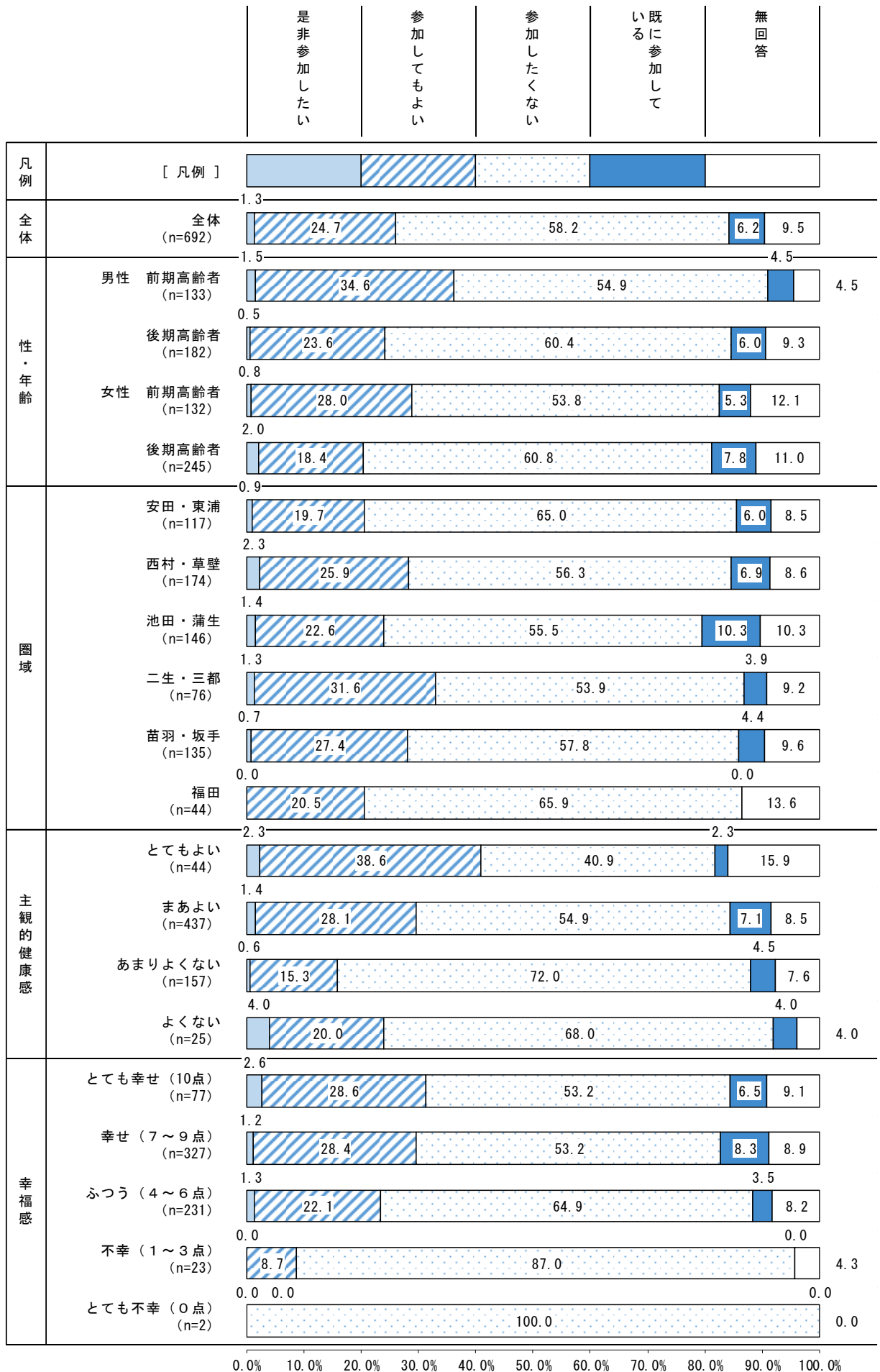
- 「是非参加したい」は西村・草壁が 2.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「既に参加している」は池田・蒲生が 10.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- 「参加してもよい」はとてもよいが 38.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【幸福感】

- 「是非参加したい」はとても幸せ（10点）が 2.6%と他の区分に比べて多くなっています。

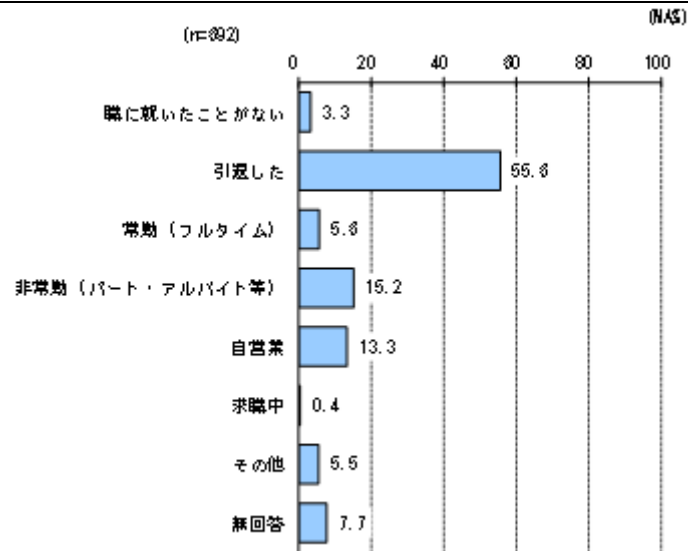


6. 就労について

●問6.1 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも○）

【全体】

- 就労状態について、「引退した」が 55.6%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 15.2%、「自営業」が 13.3%となっています。



単位：％

		母数	就労状態 (MA)			
			な職に就いたことが	引退した	（非常勤フルタイム）	ア非常勤（パート・アルバイト等）
全体 (n=692)		692	3.3	55.6	5.6	15.2
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	—	▼ 42.9	12.8	24.1
	後期高齢者 (n=182)	182	2.7	△ 68.1	3.3	9.9
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	2.3	▼ 40.9	9.8	△ 28.0
	後期高齢者 (n=245)	245	6.1	61.2	1.2	7.3
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	5.1	59.0	7.7	10.3
	西村・草壁 (n=174)	174	2.9	52.9	6.3	18.4
	池田・蒲生 (n=146)	146	2.7	55.5	4.8	13.0
	二生・三都 (n=76)	76	5.3	52.6	6.6	14.5
	苗羽・坂手 (n=135)	135	2.2	63.7	4.4	14.8
	福田 (n=44)	44	2.3	▼ 38.6	2.3	25.0

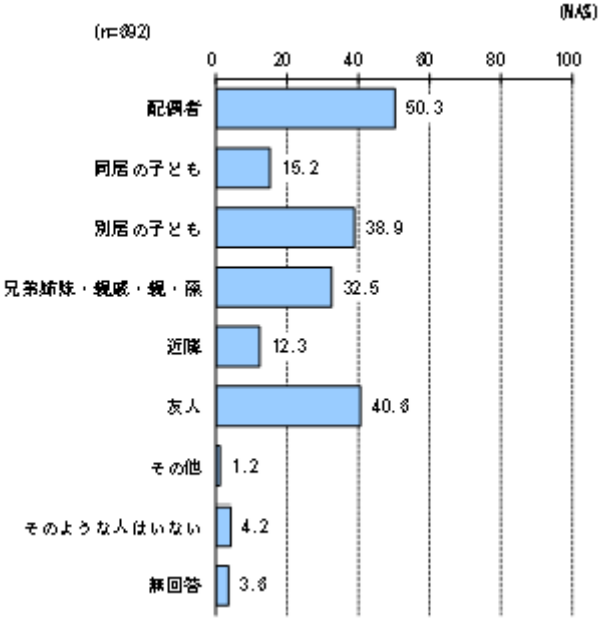
単位：％

		母数	就労状態 (MA)			
			自営業	求職中	その他	無回答
全体 (n=692)		692	13.3	0.4	5.5	7.7
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	18.0	0.8	5.3	0.8
	後期高齢者 (n=182)	182	15.4	1.1	3.3	5.5
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	11.4	—	5.3	7.6
	後期高齢者 (n=245)	245	10.2	—	7.3	13.1
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	12.8	—	5.1	6.8
	西村・草壁 (n=174)	174	11.5	—	8.0	6.3
	池田・蒲生 (n=146)	146	16.4	—	4.1	10.3
	二生・三都 (n=76)	76	14.5	—	5.3	6.6
	苗羽・坂手 (n=135)	135	11.1	2.2	2.2	8.1
	福田 (n=44)	44	15.9	—	11.4	6.8

7. たすけあいについて

●問7.1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも○）

- 【全体】
- あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 50.3%で最も多く、次いで「友人」が 40.6%、「別居の子ども」が 38.9%となっています。
- 【性・年齢】
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
 - 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」が多くなっています。
- 【家族構成】
- 「同居の子ども」は息子・娘との2世帯が 57.3%、その他が 38.2%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「別居の子ども」は1人暮らしが 40.3%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が 47.8%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：％

		母数	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (MA)				
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・孫・親戚・	近隣
全体 (n=692)		692	50.3	15.2	38.9	32.5	12.3
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	△ 70.7	10.5	▼ 22.6	24.8	4.5
	後期高齢者 (n=182)	182	59.3	11.0	29.7	▼ 21.4	8.8
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	52.3	18.9	47.0	41.7	13.6
	後期高齢者 (n=245)	245	▼ 31.4	18.8	△ 50.2	40.0	18.4
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	▼ 3.9	▼ 0.6	40.3	39.0	20.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	△ 76.9	▼ 2.0	47.8	31.9	10.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	△ 86.7	▼ 3.3	▼ 23.3	▼ 16.7	6.7
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	47.2	△ 57.3	30.3	25.8	6.7
	その他 (n=102)	102	42.2	△ 38.2	▼ 27.5	37.3	12.7

単位：％

		母数	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (MA)			
			友人	その他	い な い よ う な 人 は	無 回 答
全体 (n=692)		692	40.6	1.2	4.2	3.6
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	38.3	2.3	3.0	-
	後期高齢者 (n=182)	182	▼ 20.3	0.5	7.7	5.5
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	△ 53.8	1.5	0.8	4.5
	後期高齢者 (n=245)	245	49.8	0.8	4.1	3.7
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	48.1	1.9	9.7	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	38.0	0.7	1.4	3.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	36.7	-	3.3	-
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	▼ 28.1	1.1	3.4	4.5
	その他 (n=102)	102	50.0	1.0	5.9	2.0

●問7.2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも○）

【全体】

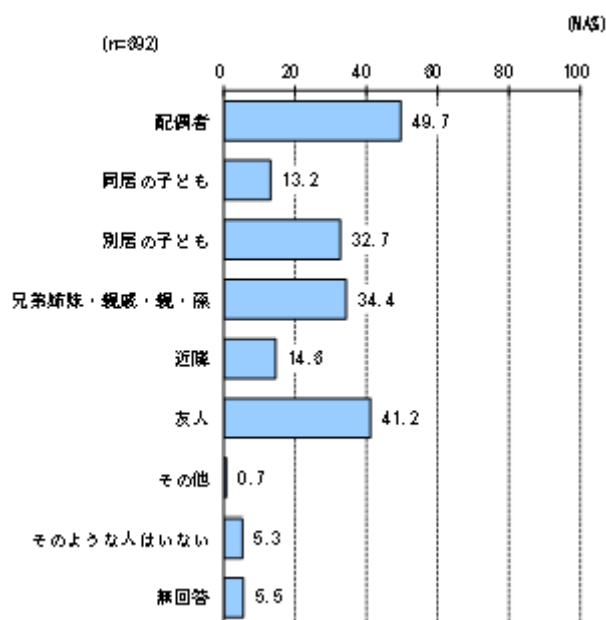
- あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 49.7%で最も多く、次いで「友人」が 41.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 34.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」が多くなっています。

【家族構成】

- 「同居の子ども」は息子・娘との2世帯が 44.9%、その他が 36.3%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「別居の子ども」は夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）が 41.0%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：％

		母数	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)				
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・親戚・	近隣
全体 (n=692)		692	49.7	13.2	32.7	34.4	14.6
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	△ 69.9	10.5	25.6	28.6	9.8
	後期高齢者 (n=182)	182	58.8	9.9	26.4	25.3	11.0
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	50.0	18.2	△ 43.9	41.7	18.9
	後期高齢者 (n=245)	245	▼ 31.8	14.3	35.1	40.4	17.6
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	▼ 4.5	▼ 0.6	29.9	39.6	22.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	△ 74.9	▼ 1.7	41.0	32.5	13.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	△ 80.0	6.7	33.3	30.0	6.7
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	47.2	△ 44.9	23.6	29.2	12.4
	その他 (n=102)	102	44.1	△ 36.3	24.5	41.2	11.8

単位：％

		母数	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)			
			友人	その他	いそような人は	無回答
全体 (n=692)		692	41.2	0.7	5.3	5.5
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	36.8	1.5	3.0	0.8
	後期高齢者 (n=182)	182	▼ 20.9	—	8.8	4.9
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	△ 56.1	0.8	0.8	5.3
	後期高齢者 (n=245)	245	50.6	0.8	6.5	8.6
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	49.4	1.9	12.3	6.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	40.0	0.3	2.4	3.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	43.3	3.3	3.3	—
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	▼ 28.1	—	4.5	6.7
	その他 (n=102)	102	44.1	—	5.9	3.9

●問7.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつかでも○)

【全体】

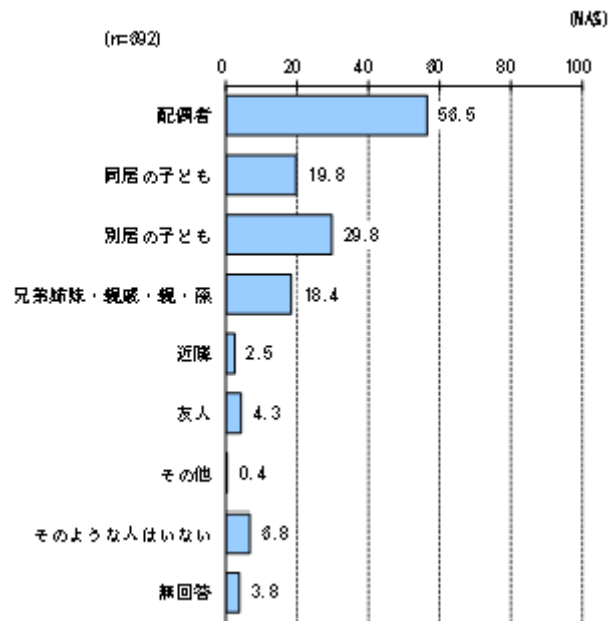
- あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 56.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 29.8%、「同居の子ども」が 19.8%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」が多くなっています。

【家族構成】

- 「同居の子ども」は息子・娘との2世帯が 71.9%、その他が 48.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「別居の子ども」は1人暮らしが 42.9%、夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上) が 32.2%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：％

		母数	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (MA)				
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・近隣	
全体 (n=692)		692	56.5	19.8	29.8	18.4	2.5
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	△ 74.4	▼ 8.3	▼ 9.0	16.5	1.5
	後期高齢者 (n=182)	182	△ 67.0	15.9	26.4	12.6	1.6
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	64.4	23.5	32.6	22.0	0.8
	後期高齢者 (n=245)	245	▼ 34.7	26.9	△ 42.0	21.6	4.5
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	▼ 3.9	▼ 1.9	△ 42.9	△ 31.8	5.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	△ 85.1	▼ 2.7	32.2	13.9	2.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	△ 93.3	16.7	▼ 10.0	▼ 6.7	-
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	57.3	△ 71.9	▼ 18.0	12.4	1.1
	その他 (n=102)	102	▼ 46.1	△ 48.0	▼ 17.6	21.6	-

単位：％

		母数	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (MA)			
			友人	その他	いそいそなような人は	無回答
全体 (n=692)		692	4.3	0.4	6.8	3.8
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	3.0	0.8	8.3	0.8
	後期高齢者 (n=182)	182	1.6	—	5.5	4.4
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	3.8	—	6.1	5.3
	後期高齢者 (n=245)	245	7.3	0.8	7.3	4.1
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	9.7	1.3	△ 22.1	5.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	3.1	—	2.4	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	3.3	—	—	3.3
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	2.2	—	1.1	2.2
	その他 (n=102)	102	2.0	1.0	4.9	3.9

●問7.4 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも○）

【全体】

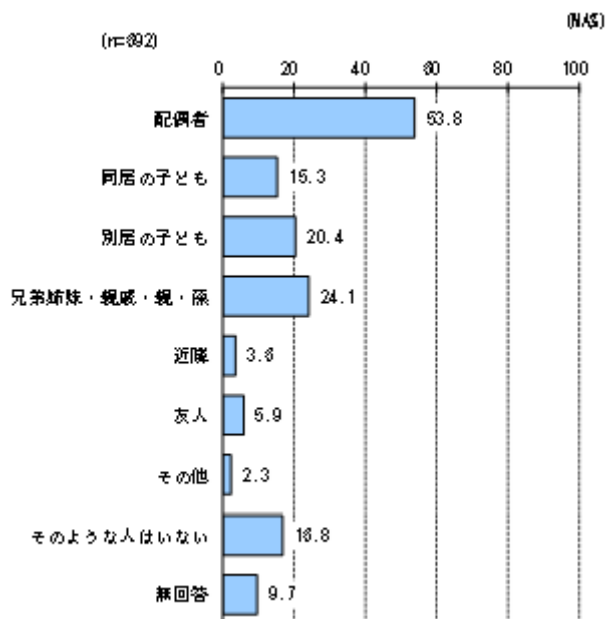
- 看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 53.8%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 24.1%、「別居の子ども」が 20.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多くなっています。

【家族構成】

- 「同居の子ども」は息子・娘との2世帯が 55.1%、その他が 40.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「兄弟姉妹・親戚・親・孫」はその他が 36.3%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

		母数	看病や世話をしている人(MA)					単位: %
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	
全体 (n=692)		692	53.8	15.3	20.4	24.1	3.6	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	60.9	9.8	13.5	21.8	3.8	
	後期高齢者 (n=182)	182	59.9	10.4	13.7	14.8	2.2	
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	△ 68.9	22.0	△ 34.1	△ 43.2	3.0	
	後期高齢者 (n=245)	245	▼ 37.1	18.4	21.6	22.0	4.9	
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	▼ 5.2	▼ 0.6	18.2	26.6	4.5	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	△ 79.7	▼ 2.7	23.7	22.4	4.4	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	△ 80.0	6.7	20.0	▼ 13.3	-	
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	56.2	△ 55.1	21.3	20.2	2.2	
	その他 (n=102)	102	48.0	△ 40.2	14.7	△ 36.3	2.9	

単位：％

		母数	看病や世話をしあける人(MA)			
			友人	その他	いそ な い よ う な 人 は	無 回 答
全体 (n=692)		692	5.9	2.3	16.8	9.7
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	4.5	1.5	16.5	6.0
	後期高齢者 (n=182)	182	2.7	2.7	20.3	8.2
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	7.6	-	▼ 5.3	4.5
	後期高齢者 (n=245)	245	8.2	3.7	20.4	15.5
家族構成	1人暮らし (n=154)	154	11.0	5.8	△ 37.0	13.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=295)	295	6.1	1.7	8.8	7.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=30)	30	-	-	▼ 6.7	10.0
	息子・娘との2世帯 (n=89)	89	2.2	-	13.5	9.0
	その他 (n=102)	102	3.9	1.0	12.7	9.8

●問7.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも○)

【全体】

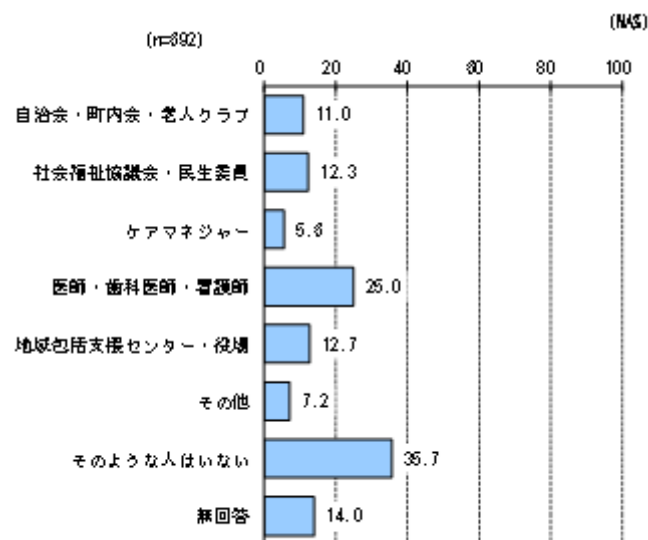
- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 35.7%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 25.0%、「地域包括支援センター・役場」が 12.7%となっています。

【性・年齢】

- 「医師・歯科医師・看護師」は男性 後期高齢者が 30.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「地域包括支援センター・役場」が多くなっています。

【圏域】

- 「自治会・町内会・老人クラブ」は苗羽・坂手が 17.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「ケアマネジャー」は二生・三都が 10.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「医師・歯科医師・看護師」は苗羽・坂手が 32.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「地域包括支援センター・役場」は二生・三都が 18.4%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：％

		母数	何かあったときの相談相手 (MA)			
			老人自治会・クラブ・町内会・	民生社会福祉協議会・	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師
全体 (n=692)		692	11.0	12.3	5.6	25.0
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	15.8	9.0	6.0	23.3
	後期高齢者 (n=182)	182	11.5	14.8	2.2	30.2
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	6.1	12.9	7.6	25.8
	後期高齢者 (n=245)	245	10.6	11.8	6.9	21.6
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	6.8	8.5	7.7	25.6
	西村・草壁 (n=174)	174	10.3	16.7	6.3	23.0
	池田・蒲生 (n=146)	146	11.0	10.3	2.7	21.9
	二生・三都 (n=76)	76	11.8	14.5	10.5	19.7
	苗羽・坂手 (n=135)	135	17.0	12.6	4.4	32.6
	福田 (n=44)	44	4.5	6.8	2.3	27.3

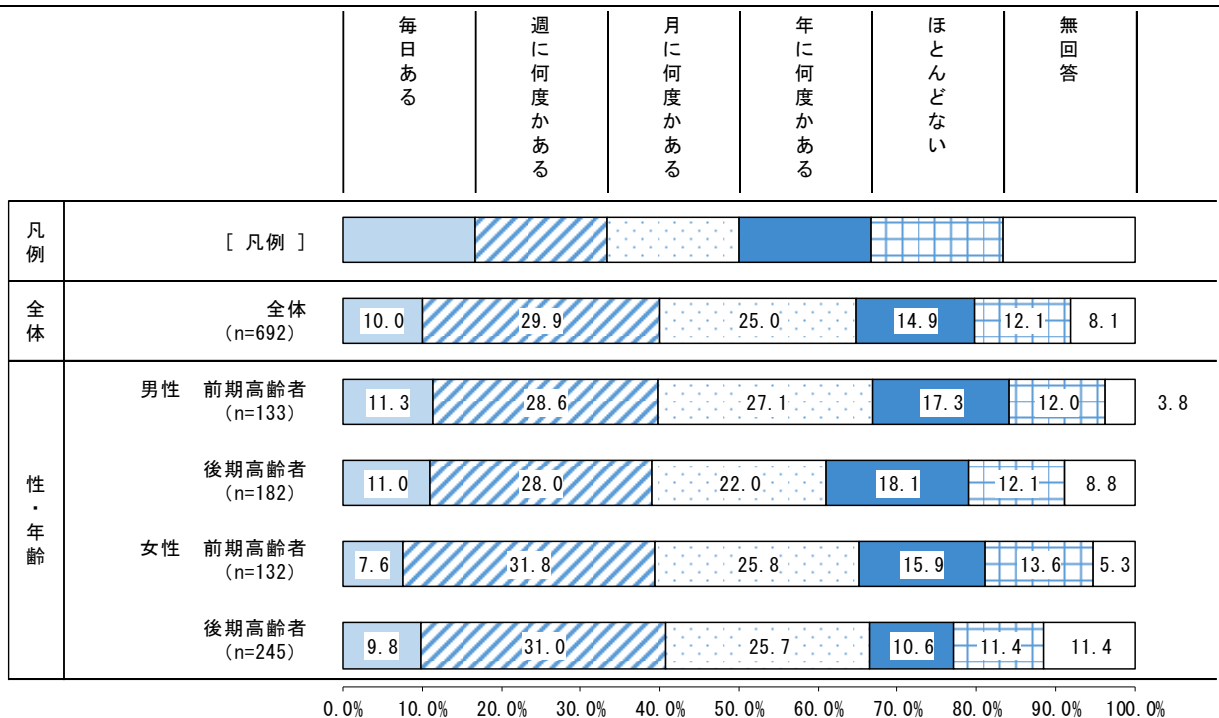
単位：％

		母数	何かあったときの相談相手 (MA)			
			セ ン 域 ター 包 括 ・ 支 役 援 場	そ の 他	い そ の な い よ う な 人 は	無 回 答
全体 (n=692)		692	12.7	7.2	35.7	14.0
性・ 年 齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	10.5	9.8	38.3	8.3
	後期高齢者 (n=182)	182	8.8	8.2	33.0	14.3
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	15.9	6.8	△ 46.2	7.6
	後期高齢者 (n=245)	245	15.1	5.3	30.6	20.4
圏 域	安田・東浦 (n=117)	117	7.7	12.0	36.8	13.7
	西村・草壁 (n=174)	174	14.4	7.5	39.7	9.8
	池田・蒲生 (n=146)	146	14.4	6.2	37.7	15.8
	二生・三都 (n=76)	76	18.4	2.6	36.8	14.5
	苗羽・坂手 (n=135)	135	10.4	5.9	31.1	13.3
	福田 (n=44)	44	11.4	9.1	▼ 22.7	27.3

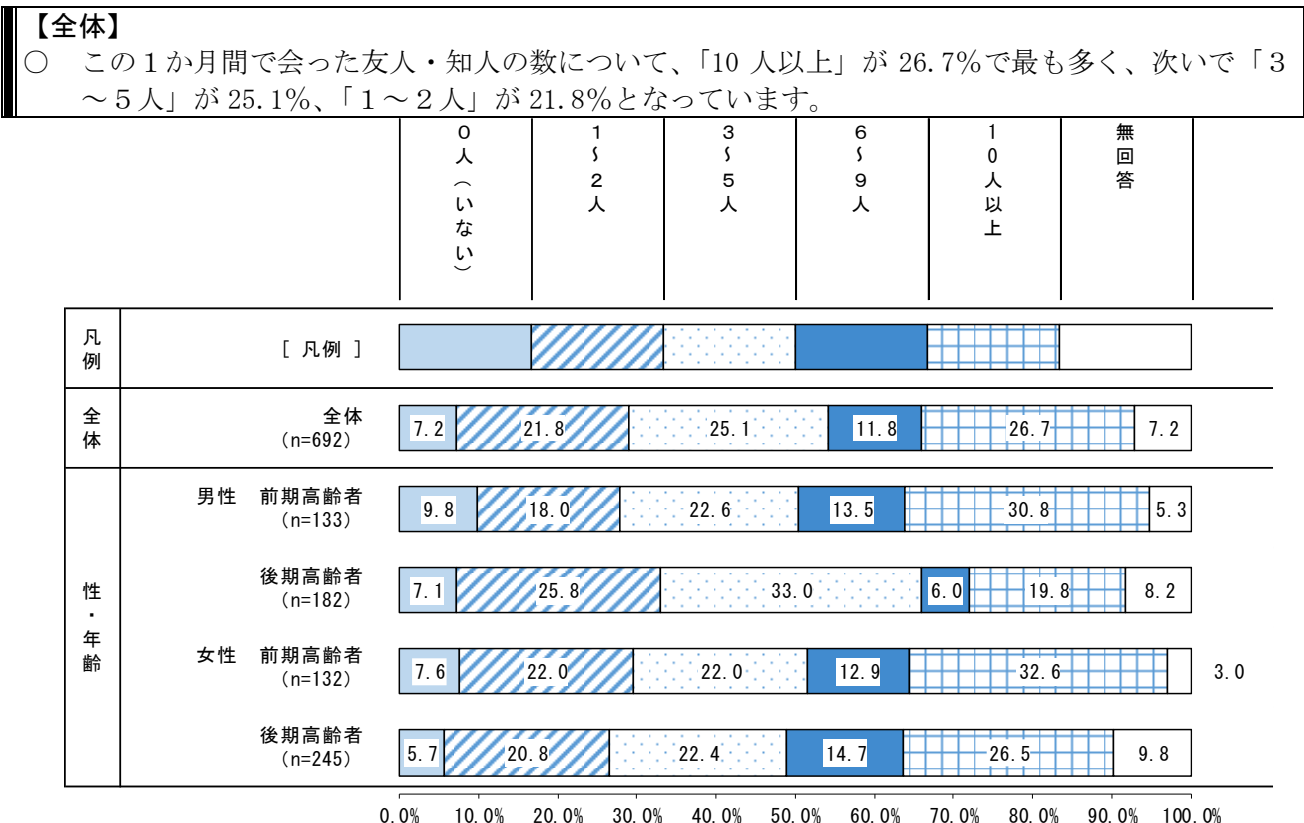
●問7.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（１つだけ○）

【全体】

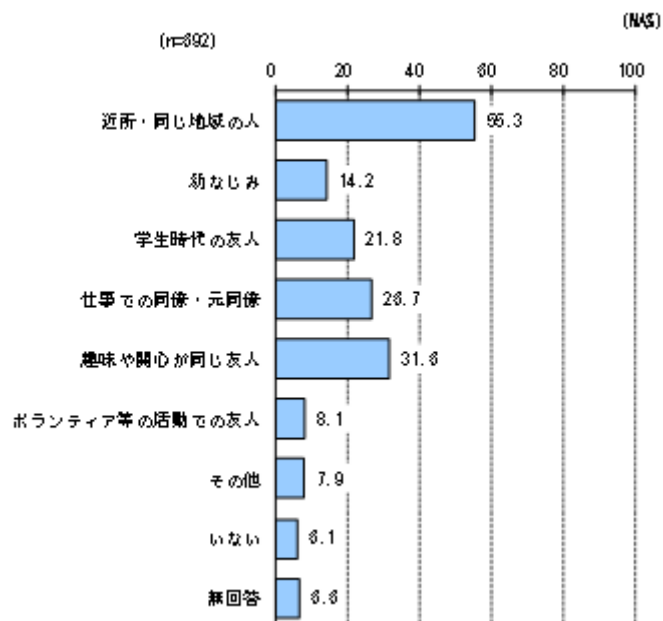
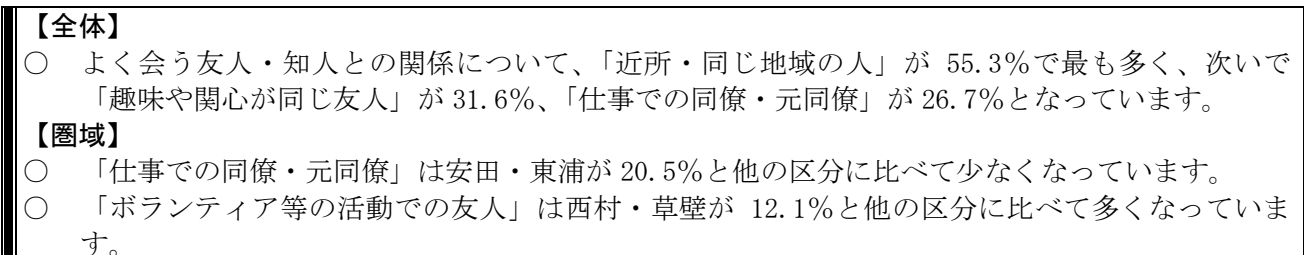
○ 友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が 29.9%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 25.0%、「年に何度かある」が 14.9%となっています。



●問7.7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つだけ○）



●問7.8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも○）



単位：％

		母数	よく会う友人・知人との関係(MA)				
			人近所・同じ地域の	幼なじみ	学生時代の友人	元仕事での同僚・	友人趣味や関心が同じ
全体 (n=692)		692	55.3	14.2	21.8	26.7	31.6
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	52.6	21.8	22.6	△ 36.8	28.6
	後期高齢者 (n=182)	182	51.1	11.5	20.9	20.3	32.4
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	50.0	12.9	24.2	△ 40.2	34.8
	後期高齢者 (n=245)	245	62.9	12.7	20.8	18.8	31.0
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	53.0	14.5	21.4	20.5	33.3
	西村・草壁 (n=174)	174	54.0	13.8	23.0	27.0	32.2
	池田・蒲生 (n=146)	146	51.4	12.3	26.0	26.7	29.5
	二生・三都 (n=76)	76	60.5	14.5	21.1	34.2	28.9
	苗羽・坂手 (n=135)	135	58.5	17.8	20.0	26.7	35.6
	福田 (n=44)	44	61.4	9.1	▼ 11.4	29.5	25.0

単位：％

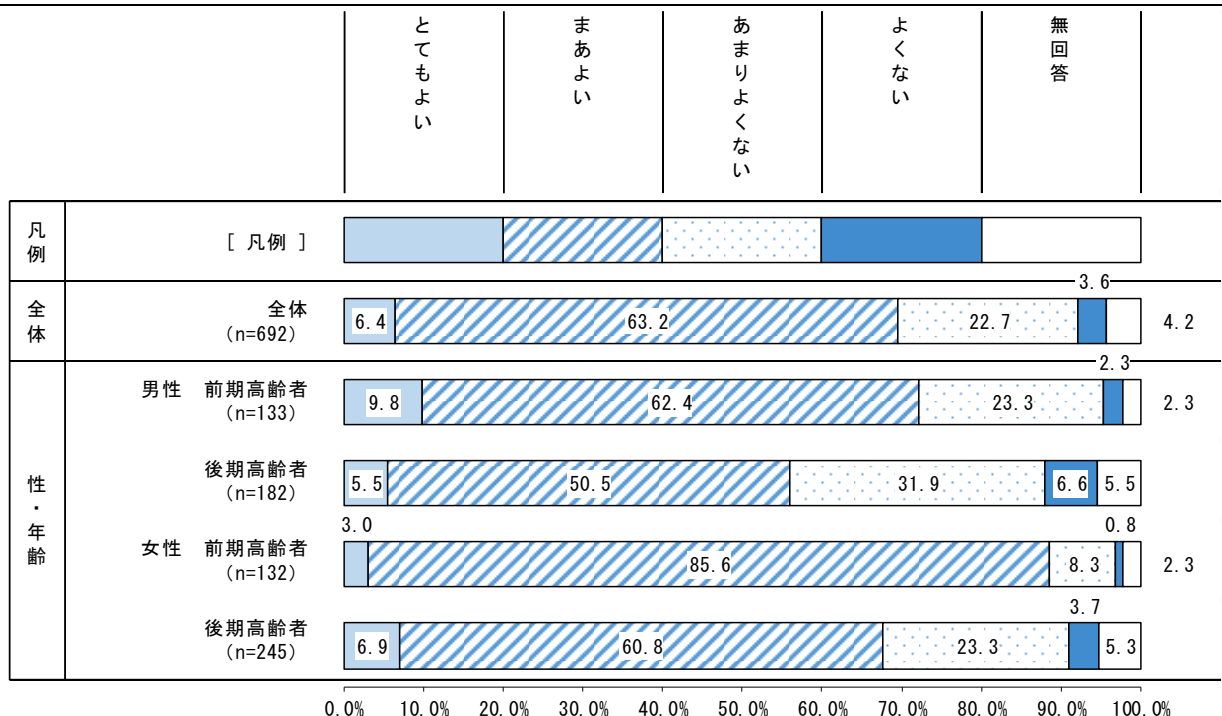
		母数	よく会う友人・知人との関係(MA)			
			活動での友人等	その他	いない	無回答
全体 (n=692)		692	8.1	7.9	6.1	6.6
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	6.0	5.3	7.5	3.8
	後期高齢者 (n=182)	182	4.9	10.4	6.0	8.8
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	9.1	6.8	6.8	3.0
	後期高齢者 (n=245)	245	11.0	8.2	4.9	8.6
圏域	安田・東浦 (n=117)	117	6.0	7.7	6.0	7.7
	西村・草壁 (n=174)	174	12.1	7.5	8.6	3.4
	池田・蒲生 (n=146)	146	6.8	11.6	6.2	7.5
	二生・三都 (n=76)	76	7.9	5.3	2.6	6.6
	苗羽・坂手 (n=135)	135	6.7	5.9	4.4	6.7
	福田 (n=44)	44	6.8	9.1	6.8	13.6

8. 健康について

●問8.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（１つだけ○）

【全体】

○ 主観的健康感について、「まあよい」が 63.2%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 22.7%、「とてもよい」が 6.4%となっています。



●問8.2 あなたは、現在どの程度幸せですか（１つだけ○）

【全体】

- 幸福感について、「幸せ（７～９点）」が 47.3%で最も多く、次いで「ふつう（４～６点）」が 33.4%、「とても幸せ（10点）」が 11.1%となっています。

【性・年齢】

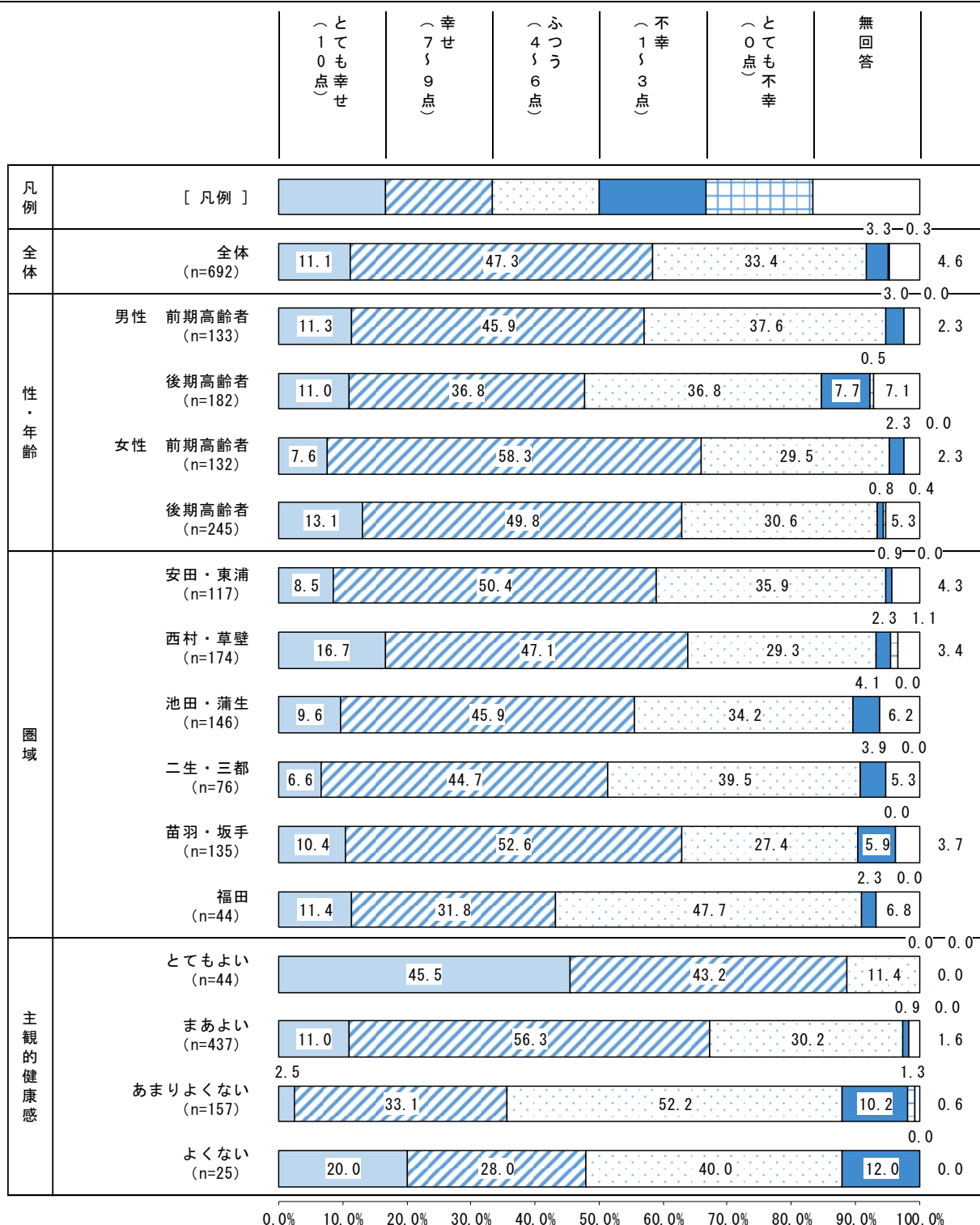
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「幸せ（７～９点）」が多くなっています。
○ 「不幸（１～３点）」は男性 後期高齢者が 7.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「とても幸せ（10点）」は西村・草壁が 16.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「不幸（１～３点）」が多くなる傾向がみられます。



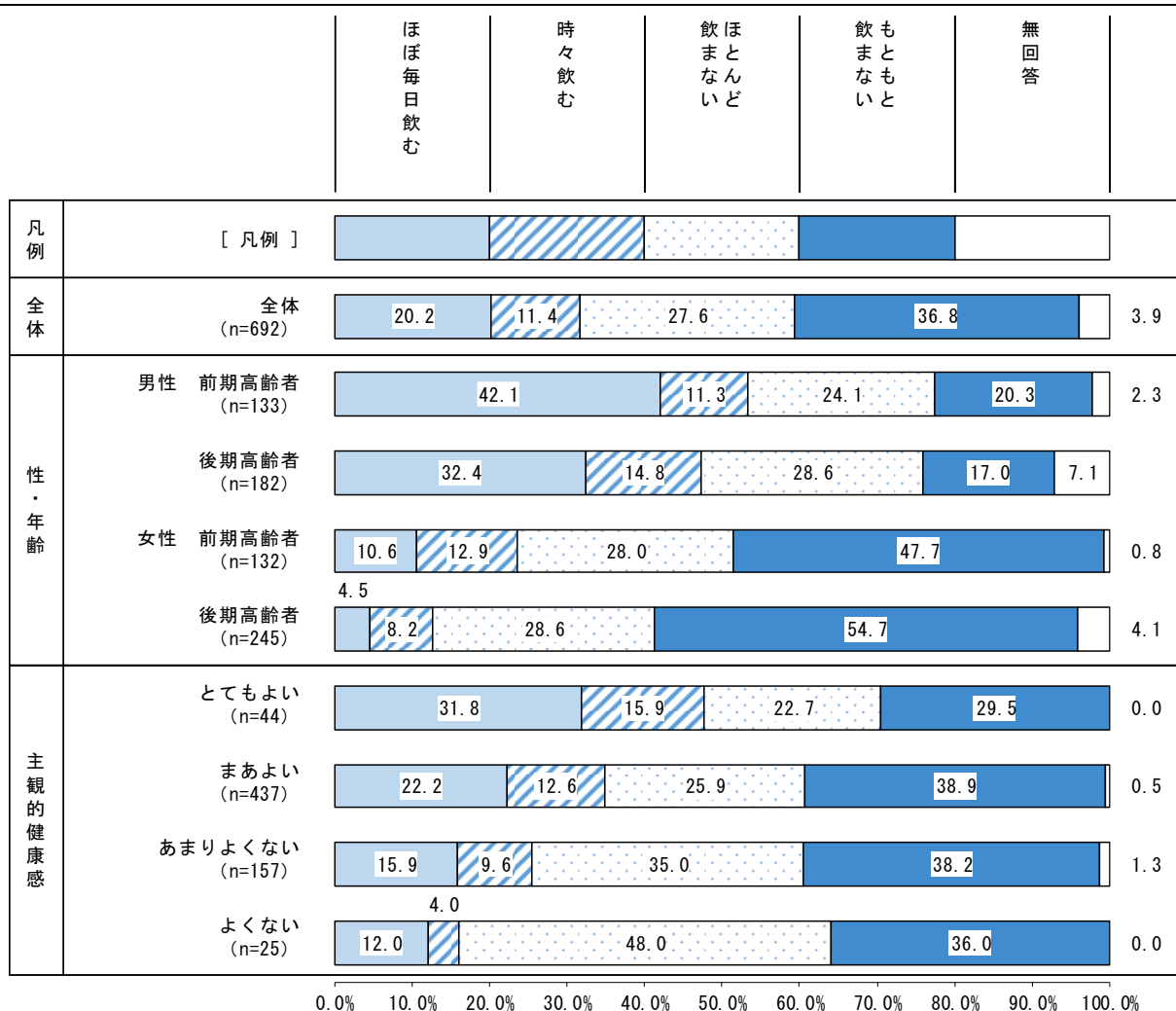
●問8.5 お酒は飲みますか（１つだけ○）

【全体】

- 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が 36.8%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 27.6%、「ほぼ毎日飲む」が 20.2%となっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「ほとんど飲まない」が多くなる傾向がみられます。



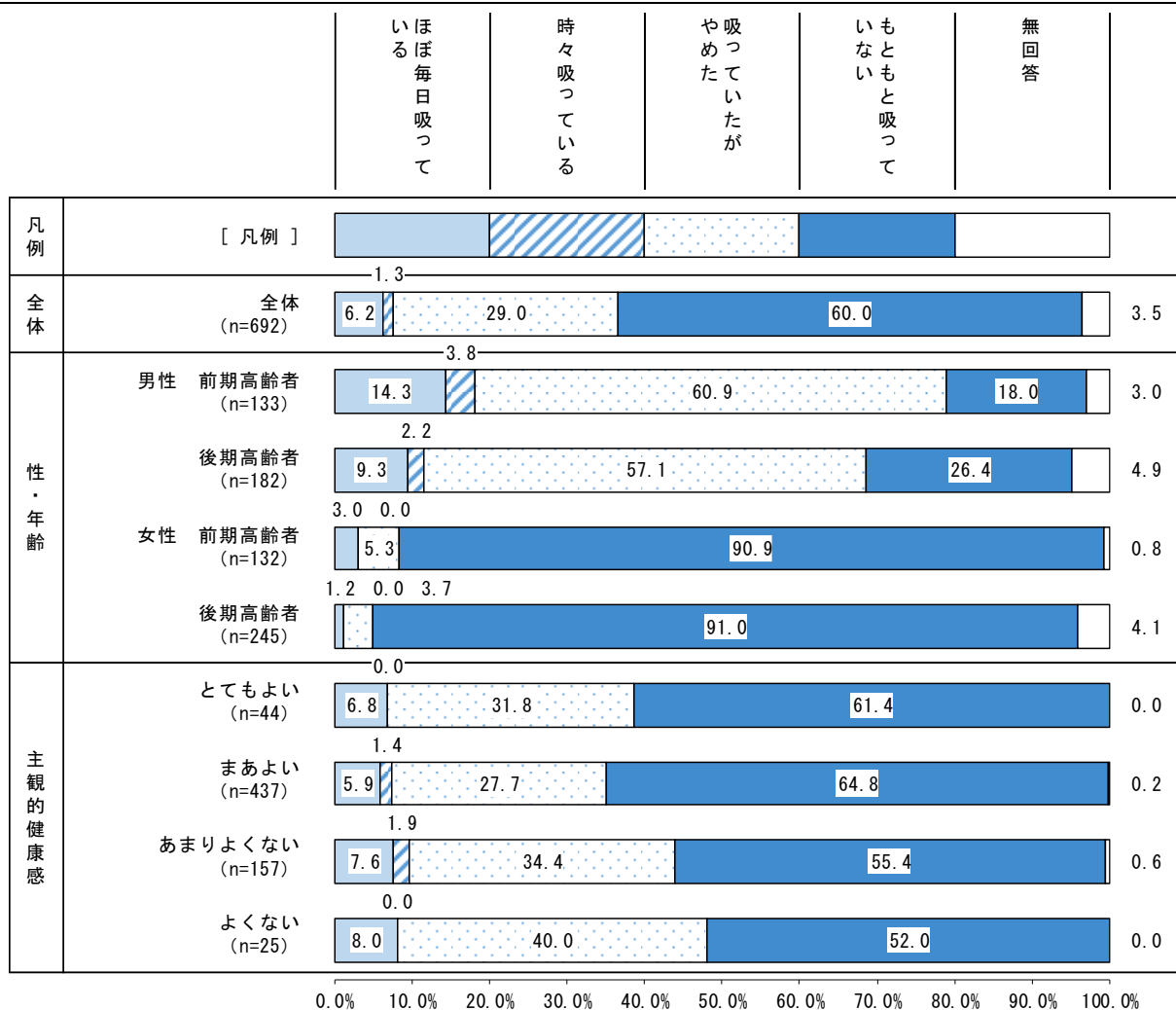
●問8.6 タバコは吸っていますか（1つだけ○）

【全体】

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が 60.0%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 29.0%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.2%となっています。

【主観的健康感】

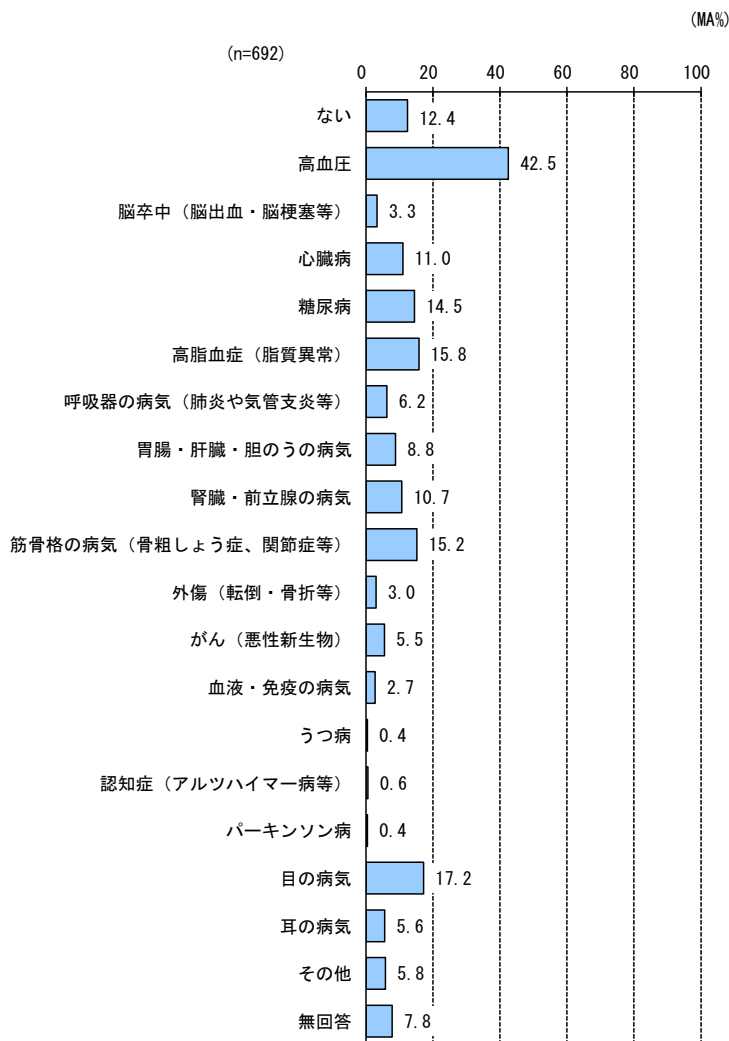
- 「もともと吸っていない」はとてもよいが 61.4%、まあよいが 64.8%と他の区分に比べて多くなっています。



●問8.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）

【全体】

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 42.5%で最も多く、次いで「目の病気」が 17.2%、「高脂血症（脂質異常）」が 15.8%となっています。



単位：％

			現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
			母数	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全体 (n=692)			692	12.4	42.5	3.3	11.0	14.5	15.8	6.2	8.8	10.7	15.2
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=133)	133	18.0	39.1	4.5	14.3	12.8	12.8	12.0	11.3	15.8	8.3
		後期高齢者 (n=182)	182	4.4	49.5	4.4	15.4	22.0	9.9	7.1	9.3	△ 21.4	6.6
	女性	前期高齢者 (n=132)	132	△ 24.2	▼ 28.8	0.8	4.5	5.3	△ 26.5	0.8	5.3	3.0	13.6
		後期高齢者 (n=245)	245	9.0	46.5	3.3	9.4	14.7	15.9	5.3	9.0	4.1	△ 26.1

単位：％

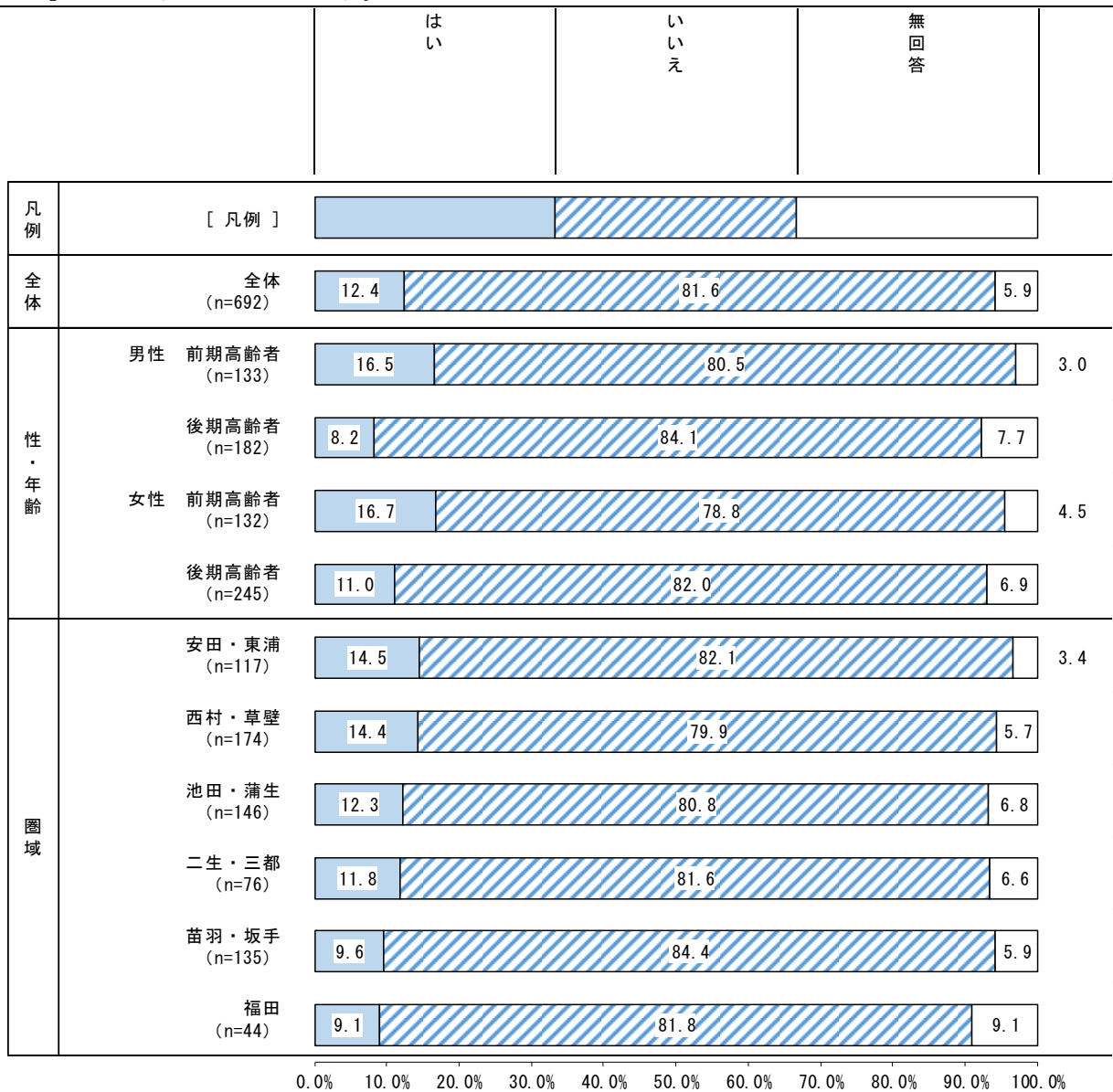
			母数	（外傷（転倒・骨折等）	（がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体 (n=692)			692	3.0	5.5	2.7	0.4	0.6	0.4	17.2	5.6	5.8	7.8
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=133)	133	0.8	6.8	0.8	0.8	-	-	12.8	2.3	3.0	4.5
		後期高齢者 (n=182)	182	3.3	7.7	1.6	0.5	1.6	0.5	20.9	6.0	6.0	7.7
	女性	前期高齢者 (n=132)	132	1.5	6.1	5.3	-	-	-	12.1	2.3	4.5	8.3
		後期高齢者 (n=245)	245	4.9	2.9	3.3	0.4	0.4	0.8	19.6	9.0	7.8	9.4

9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

●問9.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つだけ○)

【全体】

○ 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があるかについて、「はい」が 12.4%、「いいえ」が 81.6%となっています。



●問9.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか（１つだけ○）

【全体】

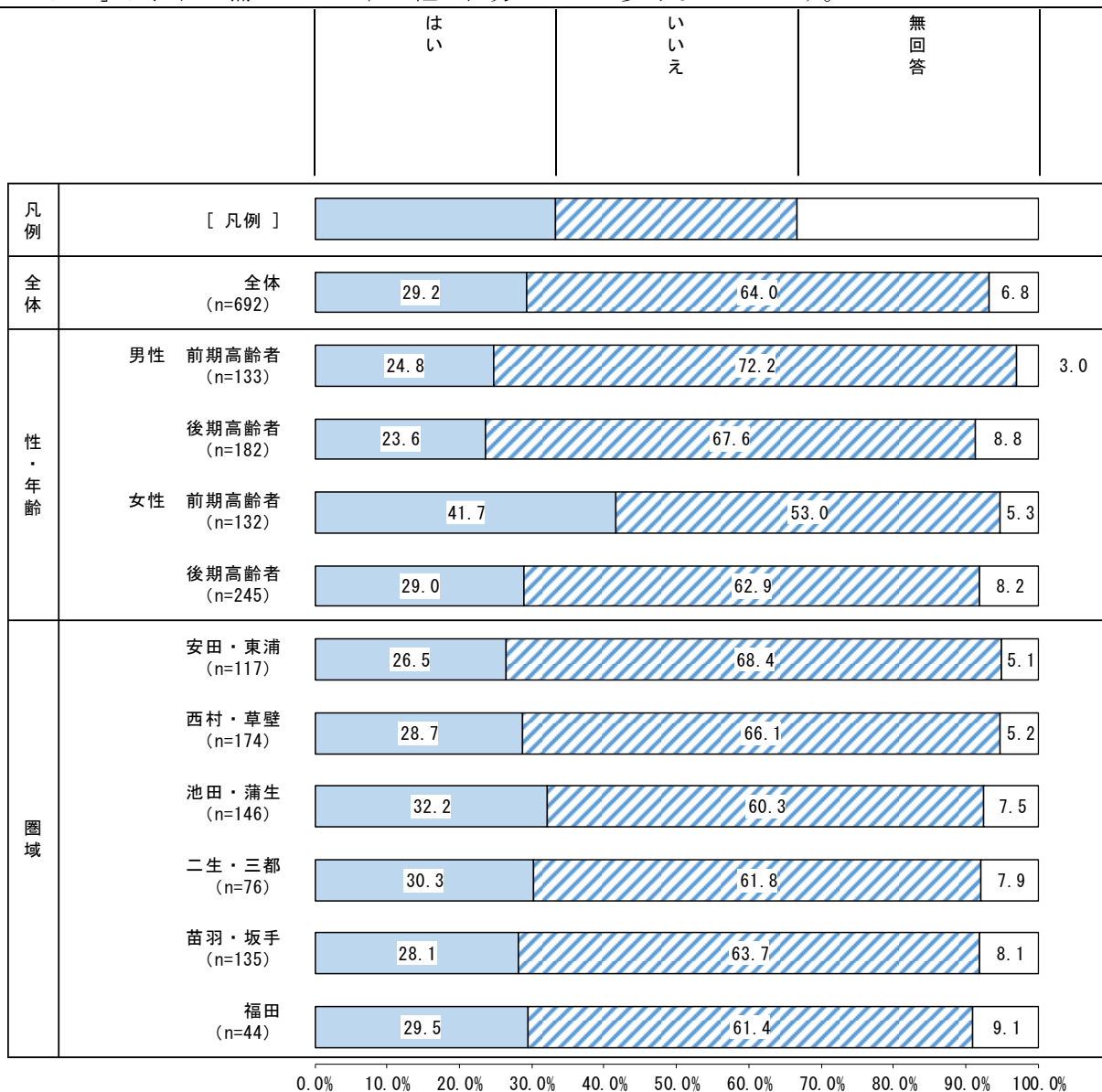
- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 29.2%、「いいえ」が 64.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

【圏域】

- 「はい」は池田・蒲生が 32.2%と他の区分に比べて多くなっています。



10. 耳の聞こえについて

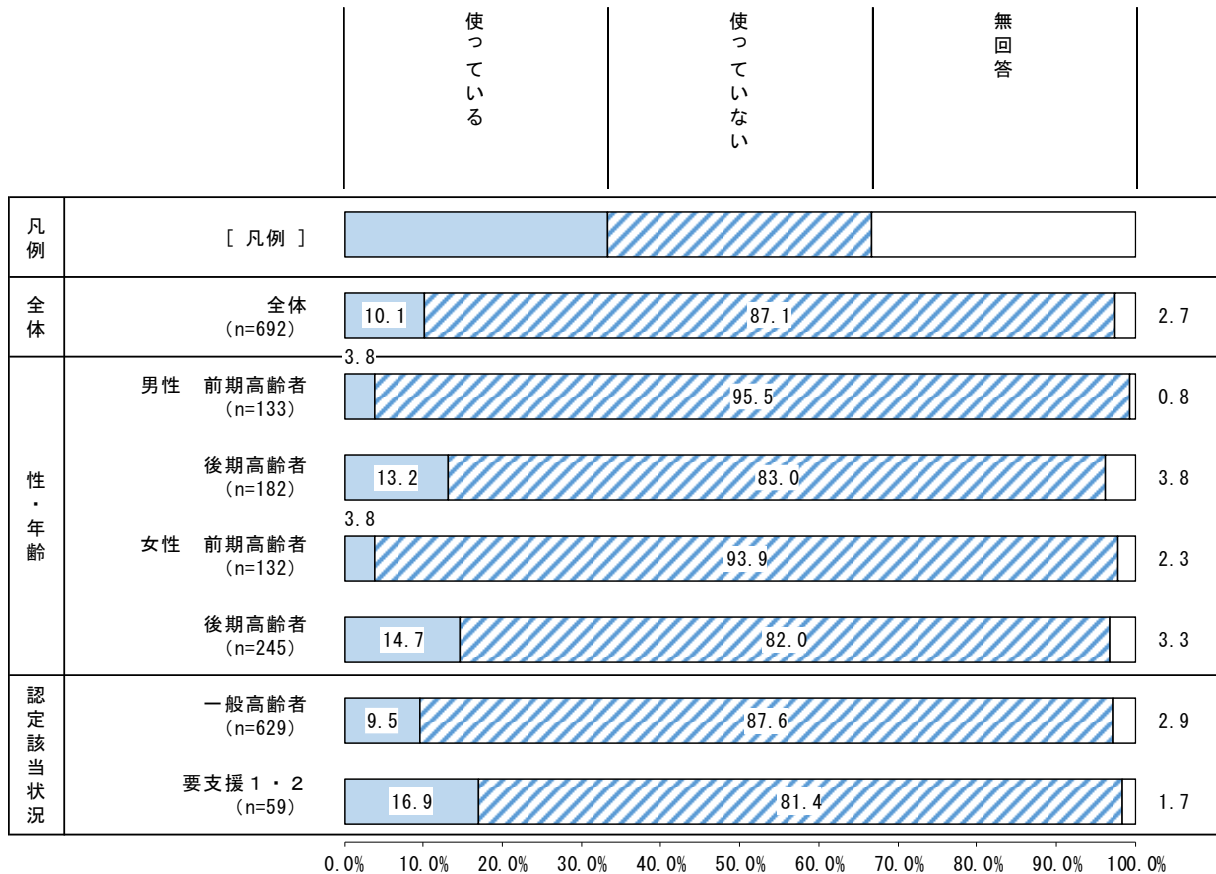
●問10.2 現在、補聴器を使っていますか（1つだけ○）

【全体】

- 補聴器を使用しているかについて、「使っている」が 10.1%、「使っていない」が 87.1%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「使っている」が多くなっています。



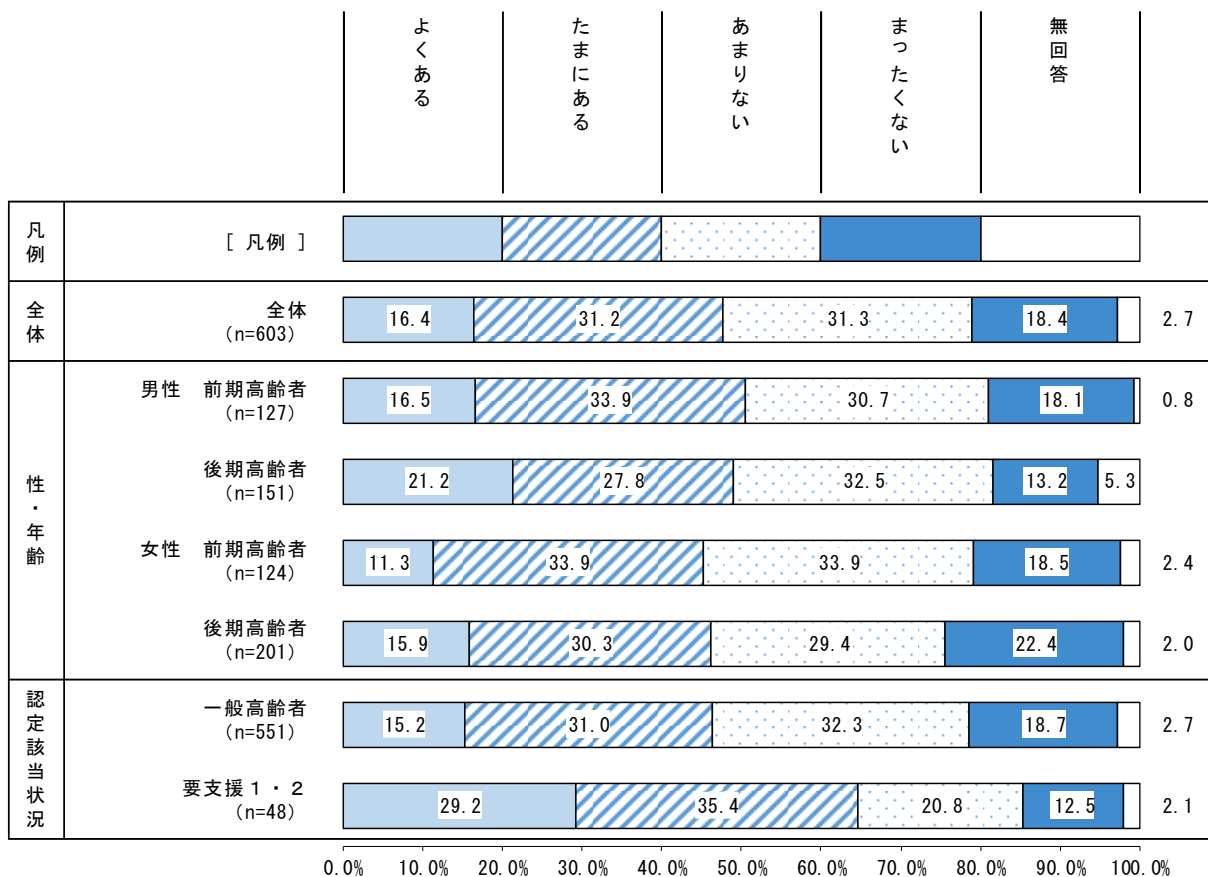
●問10.3-1 最近、耳が聞こえにくくなったと感じることがありますか（1つだけ○）

【全体】

- 最近、耳が聞こえにくくなったと感じることがあるかについて、「あまりない」が 31.3%で最も多く、次いで「たまにある」が 31.2%、「まったくない」が 18.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「よくある」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「よくある」が多くなっています。



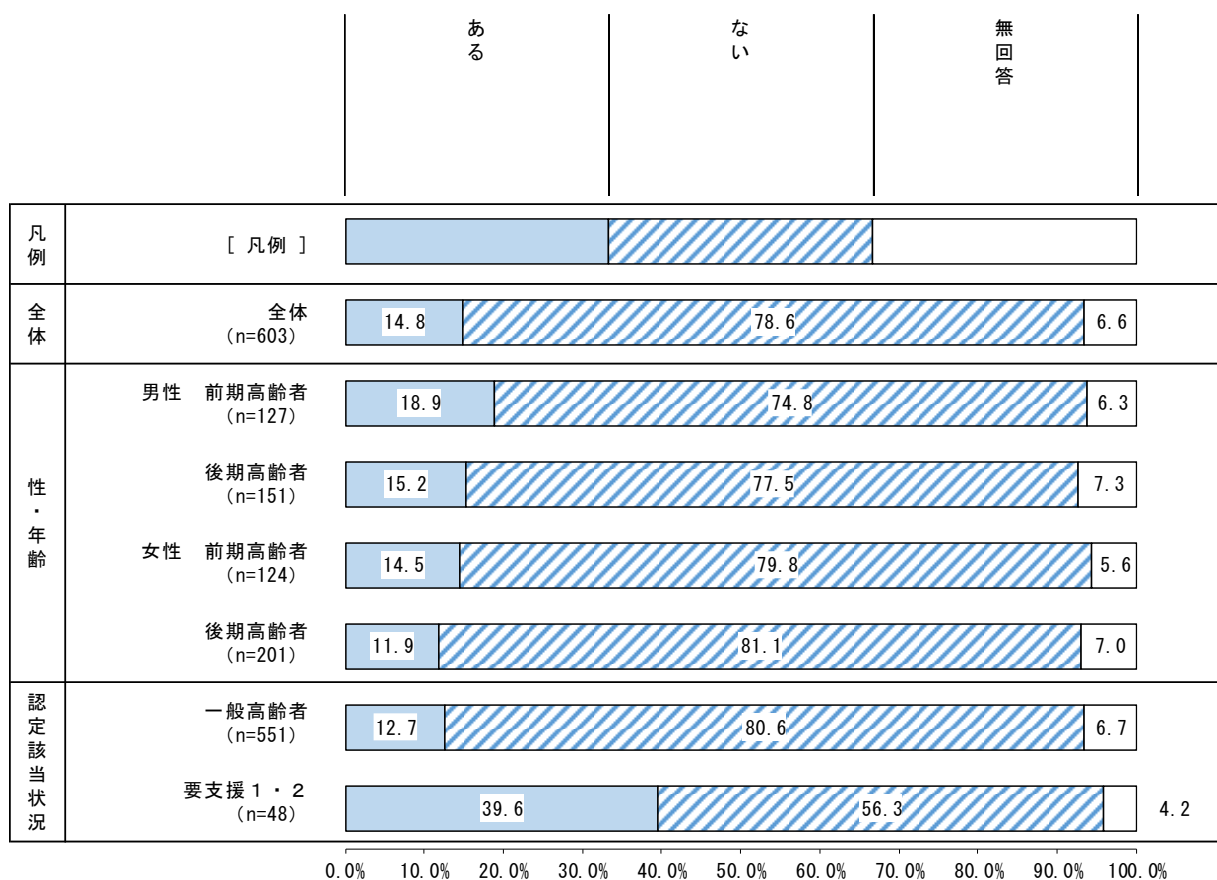
●問10.4-2 耳の聞こえに関し、専門医を受診したことがありますか（1つだけ○）

【全体】

- 耳の聞こえに関し、専門医を受診したことがあるかについて、「ある」が 14.8%、「ない」が 78.6%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ある」が多くなっています。



●問10.5-3 補聴器の使用を検討したことがありますか（1つだけ○）

【全体】

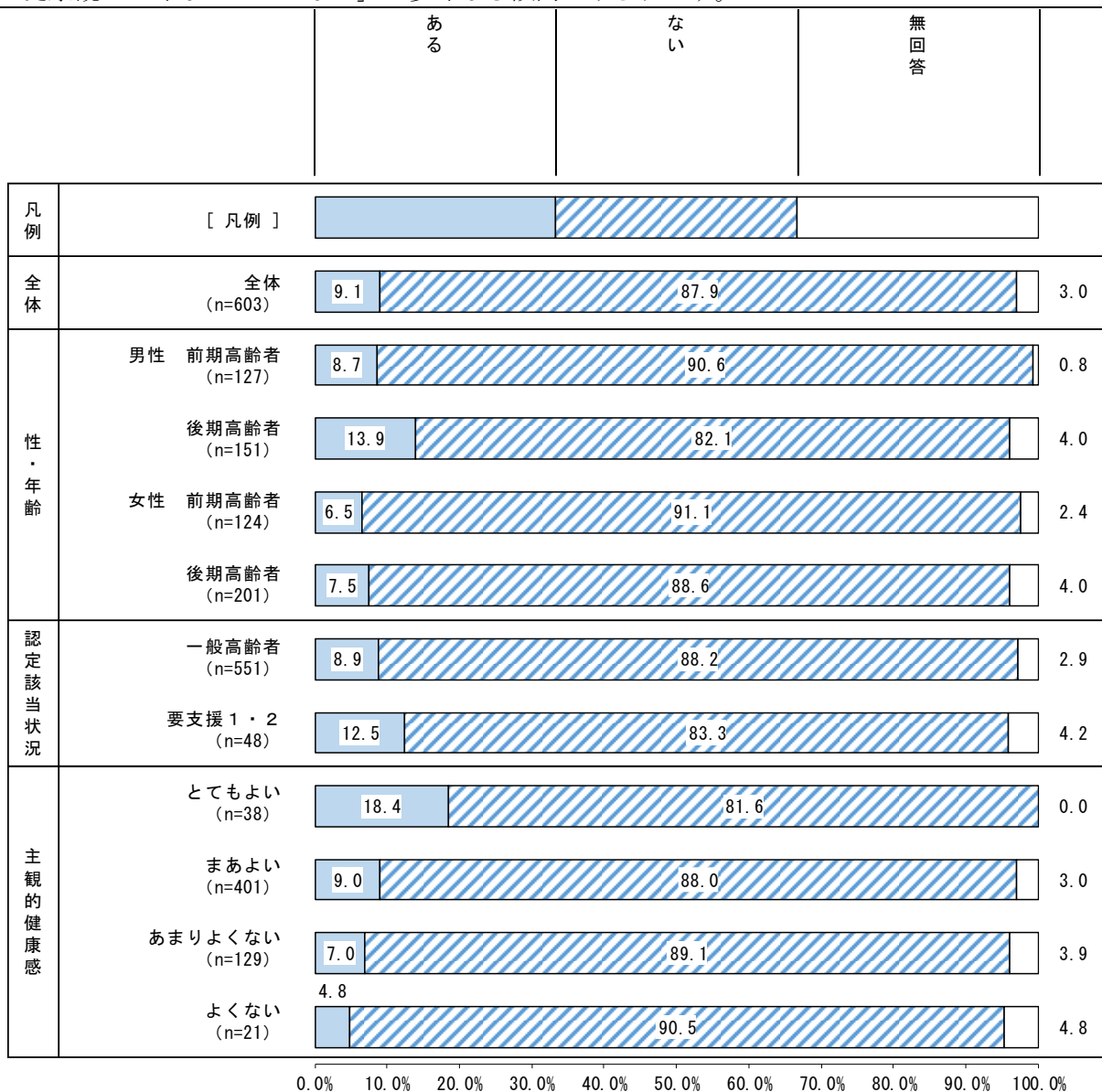
- 補聴器の使用を検討したことがあるかについて、「ある」が 9.1%、「ない」が 87.9%となっています。

【性・年齢】

- 「ある」は男性 後期高齢者が 13.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- 健康観がよくないほど「ない」が多くなる傾向がみられます。



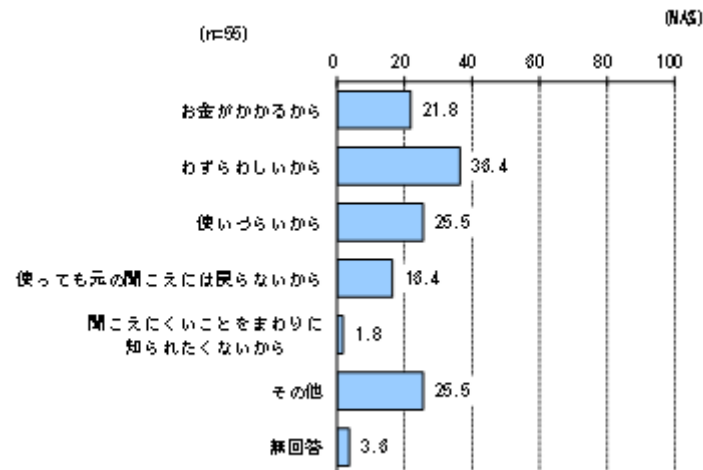
●問10.6-4 検討したが補聴器を使用していない理由は何ですか（いくつでも○）

【全体】

- 補聴器を使用していない理由について、「わずらわしいから」が 36.4%で最も多く、次いで「使いづらいから」「その他」が 25.5%、「お金がかかるから」が 21.8%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「お金がかかるから」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「使っても元の聞こえには戻らないから」が多くなっています。



単位：%

		母数	補聴器を使用していない理由(MA)							単位：%
			お金がかかるから	わずらわしいから	使いづらいから	使つても元の聞こえには戻らないから	聞こえにくいくらいのこと	その他	無回答	
全体 (n=55)		55	21.8	36.4	25.5	16.4	1.8	25.5	3.6	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=11)	11	27.3	45.5	—	18.2	—	27.3	—	
	後期高齢者 (n=21)	21	23.8	42.9	33.3	19.0	4.8	▼ 14.3	4.8	
	女性 前期高齢者 (n=8)	8	25.0	—	25.0	12.5	—	△ 62.5	—	
	後期高齢者 (n=15)	15	13.3	40.0	33.3	13.3	—	20.0	6.7	

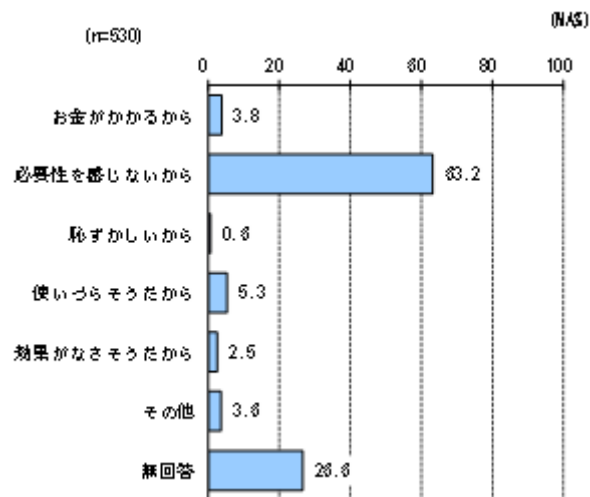
●問10.7-5 補聴器の使用を検討しない理由は何ですか（いくつでも○）

【全体】

- 補聴器の使用を検討しない理由について、「必要性を感じないから」が 63.2%で最も多く、次いで「使いづらそうだから」が 5.3%、「お金がかかるから」が 3.8%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「必要性を感じないから」が多くなっています。
○ 「効果がなさそうだから」は女性 後期高齢者が 4.5%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

			母数	補聴器の使用を検討しない理由(MA)							単位: %
				お金がかかるから	から 必要性を感じない	恥ずかしいから	だ 使いづらそう	だ 効果がなさそう	その他	無回答	
全体 (n=530)			530	3.8	63.2	0.6	5.3	2.5	3.6	26.6	
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=115)	115	2.6	68.7	0.9	0.9	2.6	3.5	23.5	
		後期高齢者 (n=124)	124	4.8	62.9	0.8	9.7	0.8	5.6	23.4	
	女性	前期高齢者 (n=113)	113	2.7	66.4	0.9	4.4	0.9	1.8	27.4	
		後期高齢者 (n=178)	178	4.5	57.9	-	5.6	4.5	3.4	30.3	

●問10.8-6 公的助成があれば補聴器を使いたいですか（１つだけ○）

【全体】

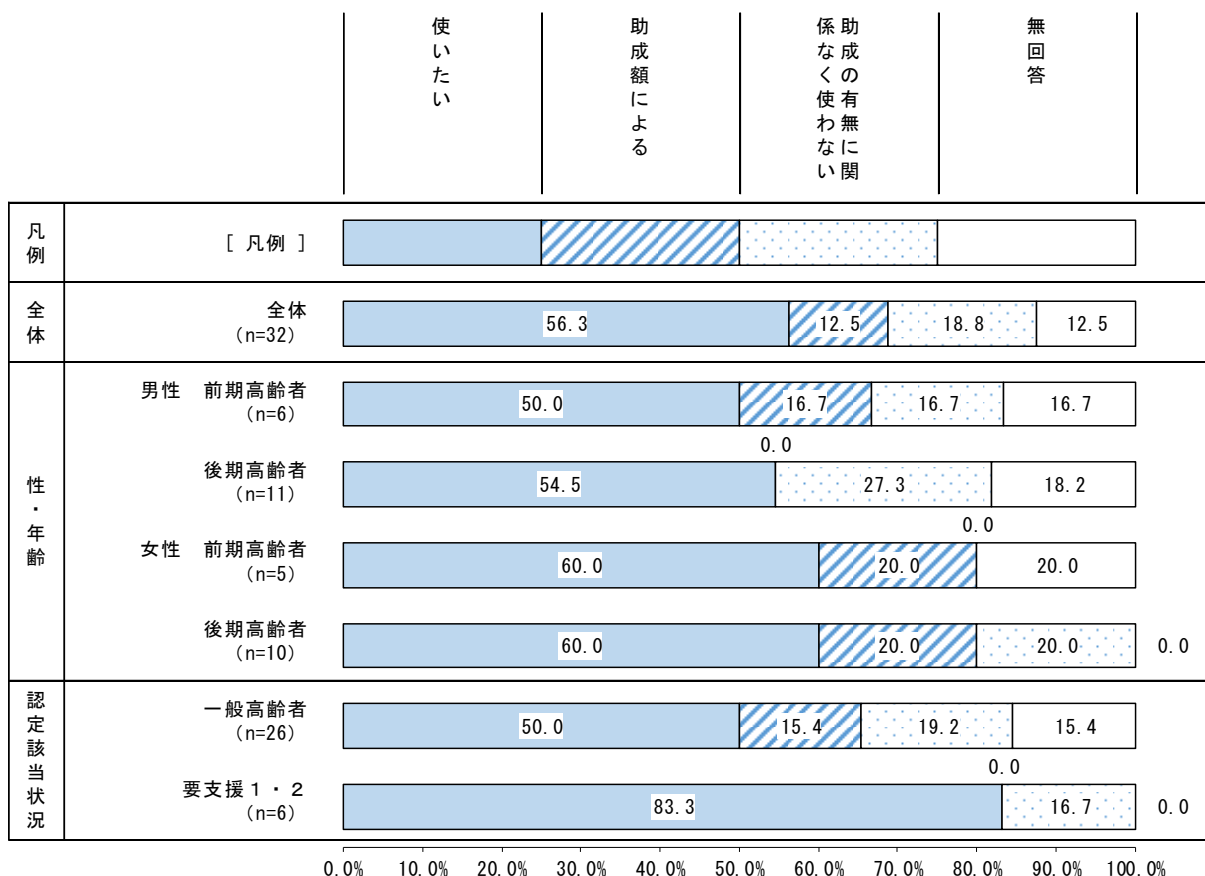
- 公的助成があれば補聴器を使いたいかについて、「使いたい」が 56.3%で最も多く、次いで「助成の有無に関係なく使わない」が 18.8%、「助成額による」が 12.5%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「使いたい」が多くなっています。
○ 「助成の有無に関係なく使わない」は男性 後期高齢者が 27.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「使いたい」は要支援１・２が 83.3%と一般高齢者の 50.0%に比べて多くなっています。



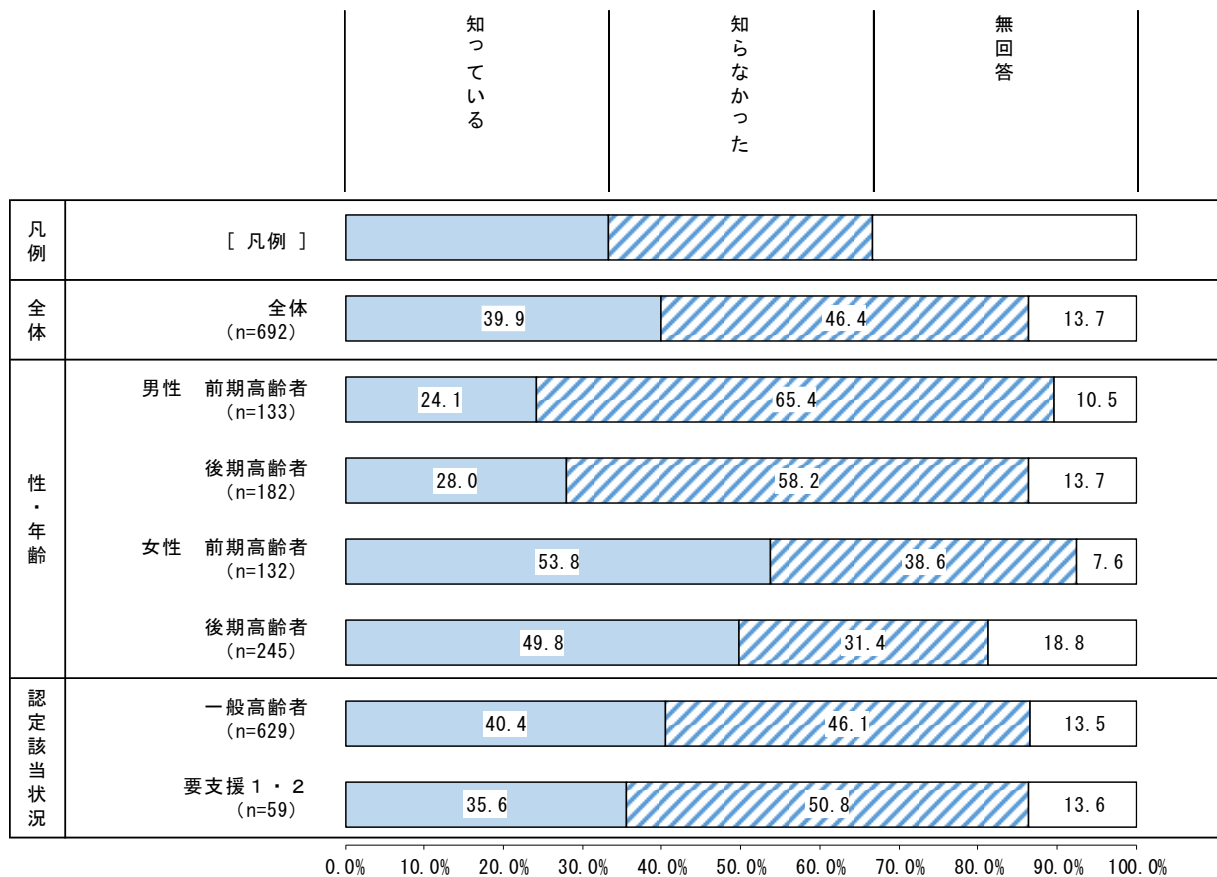
●問10.9 難聴が原因で、認知症を発症する可能性があることを知っていますか
(1つだけ○)

【全体】

- 難聴が原因で、認知症を発症する可能性があることを知っているかについて、「知っている」が39.9%、「知らなかった」が46.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。



11. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について

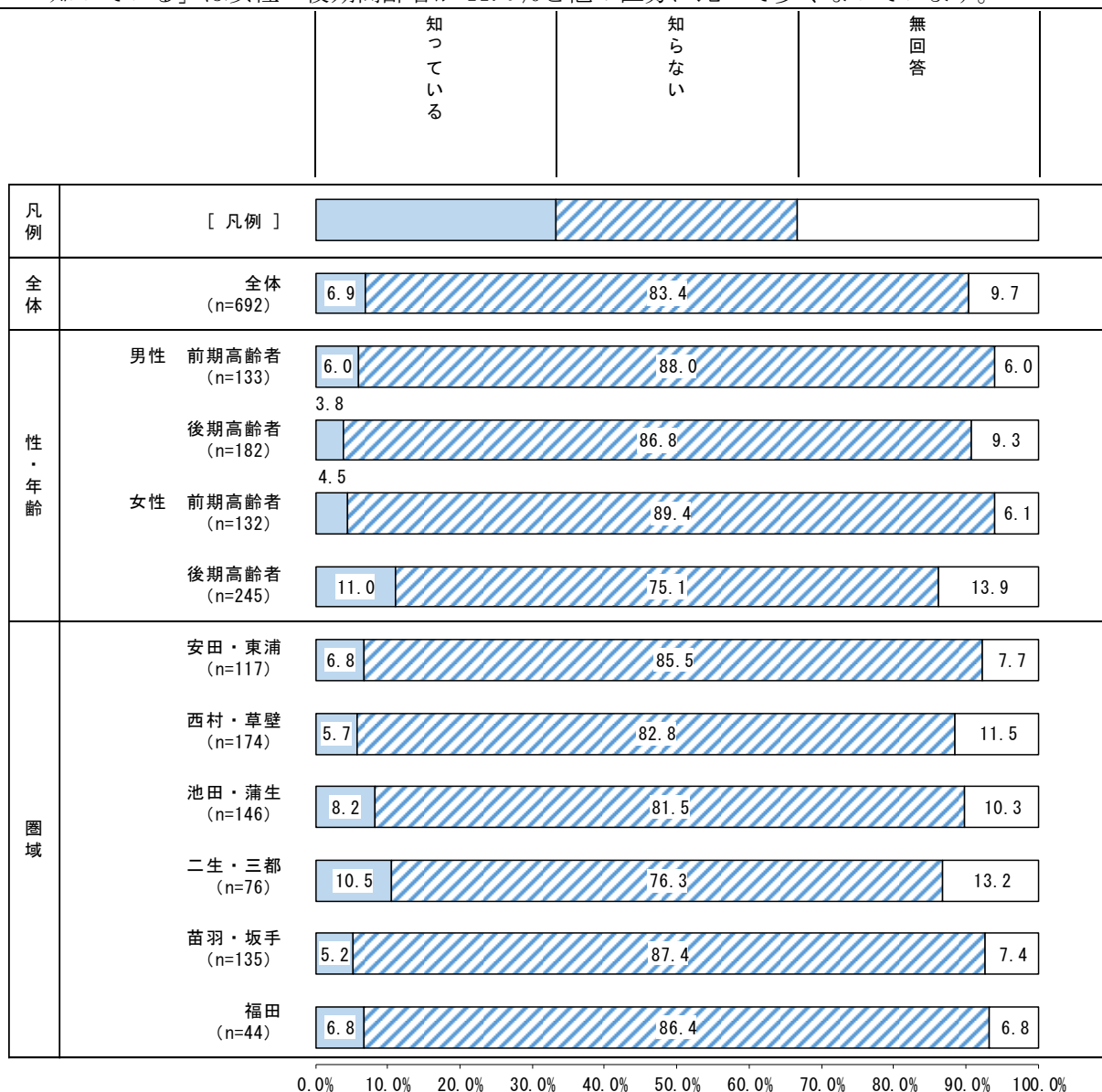
●問11.1 人生会議（ACP）は知っていますか（1つだけ○）

【全体】

○ 人生会議（ACP）は知っているかについて、「知っている」が 6.9%、「知らない」が 83.4%となっています。

【性・年齢】

○ 「知っている」は女性 後期高齢者が 11.0%と他の区分に比べて多くなっています。



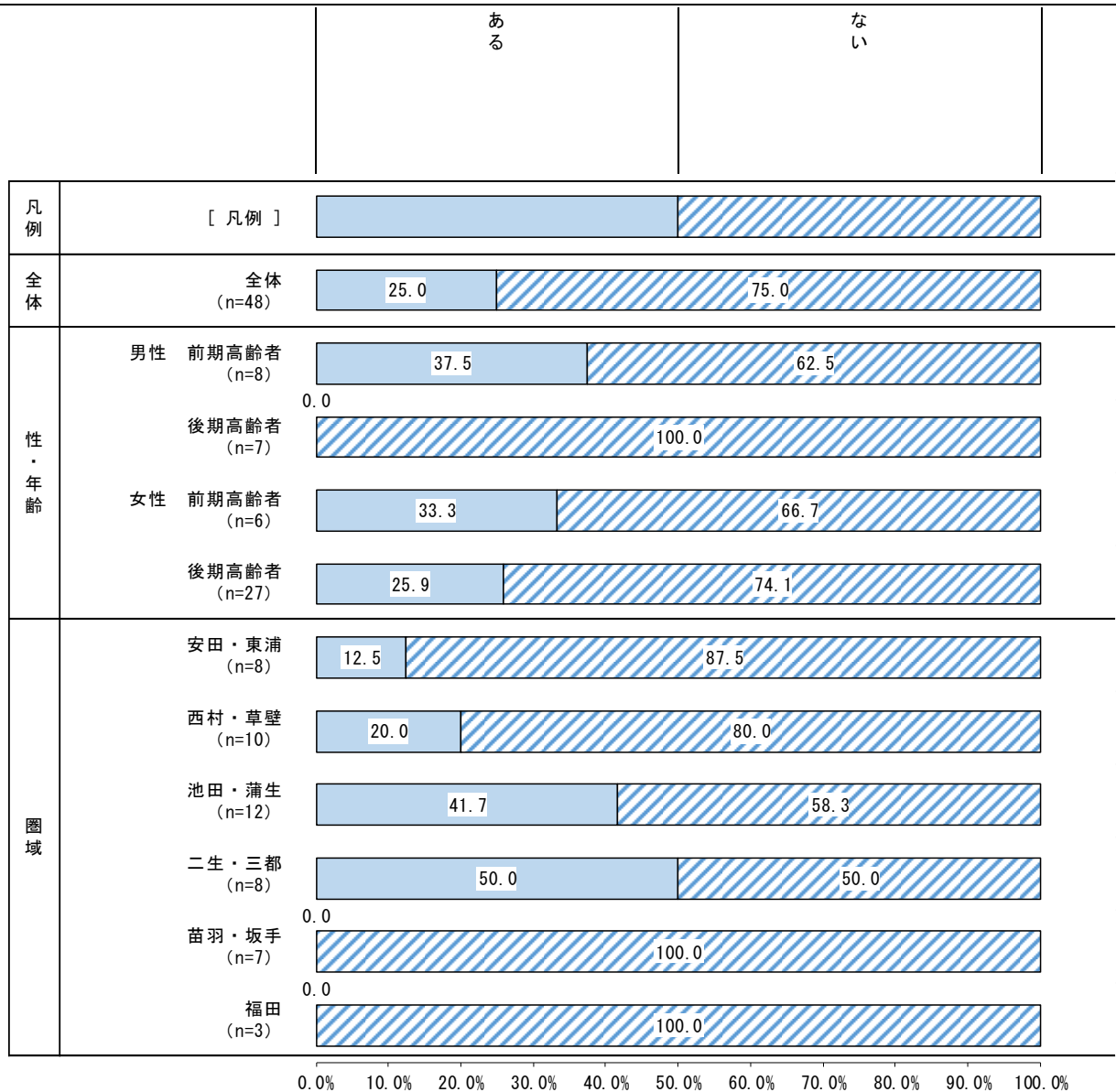
●問11.2 実際に人生会議（ACP）をやってみたこと、やろうとしたことはありますか（１つだけ○）

【全体】

○ 実際に人生会議（ACP）をやってみたこと、やろうとしたことはあるかについて、「ある」が25.0%、「ない」が75.0%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「ない」が多くなっています。



12. 移動支援について

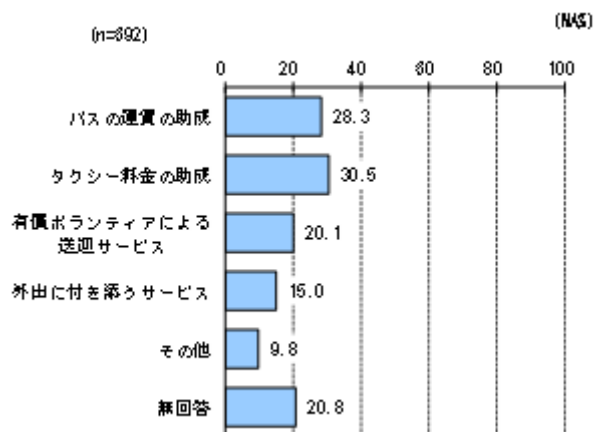
●問12.1 外出の機会を増やすためには、どんなサービスが必要だと思いますか (いくつでも○)

【全体】

- 外出の機会を増やすためには、どんなサービスが必要だと思うかについて、「タクシー料金の助成」が 30.5%で最も多く、次いで「バスの運賃の助成」が 28.3%、「有償ボランティアによる送迎サービス」が 20.1%となっています。

【性・年齢】

- 「バスの運賃の助成」は男性 前期高齢者が 32.3%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「タクシー料金の助成」が多くなっています。



単位：%

単位：%

		母数	外出の機会を増やすためには、どんなサービスが必要だと思うか (MA)					
			バスの 運賃の 助成	タクシ- 料金の 助成	送迎サ- ビス による	有償ボラ ンティア	サ- ビス 外出に 付き添 う	その他
全体 (n=692)		692	28.3	30.5	20.1	15.0	9.8	20.8
性・ 年 齢	男性 前期高齢者 (n=133)	133	32.3	27.1	22.6	19.5	7.5	15.8
	後期高齢者 (n=182)	182	28.0	26.4	14.3	11.0	12.6	24.7
	女性 前期高齢者 (n=132)	132	28.8	△ 40.9	22.7	22.7	6.1	12.1
	後期高齢者 (n=245)	245	26.1	29.8	21.6	11.4	11.0	25.3

IV リスク判定

1. 運動器の機能低下リスク

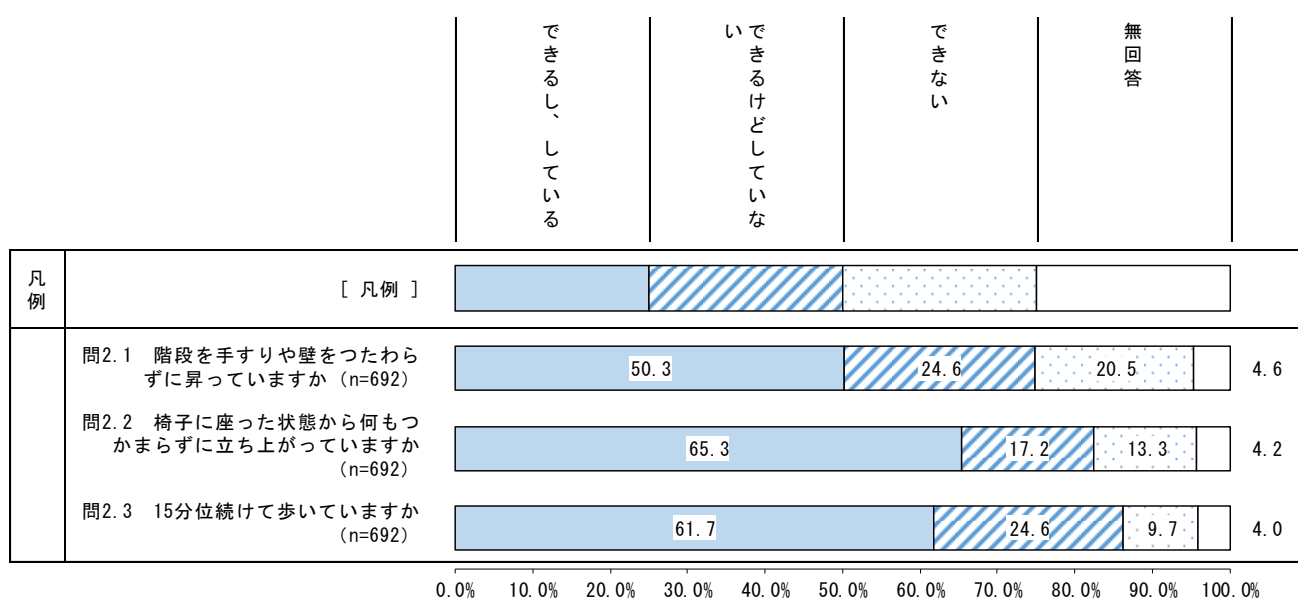
(1) 判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下がみられる高齢者となります。

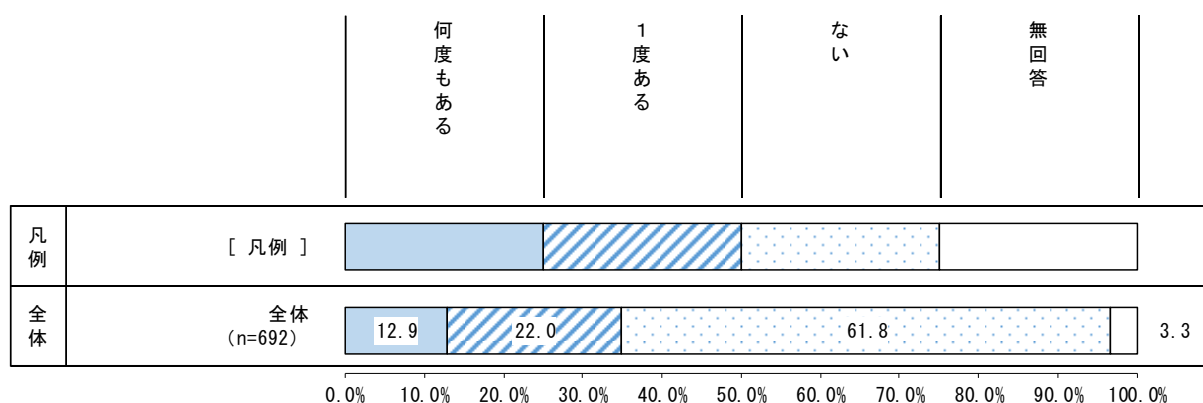
設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
15分位続けて歩いていますか。	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である／やや不安である

(2) 調査結果

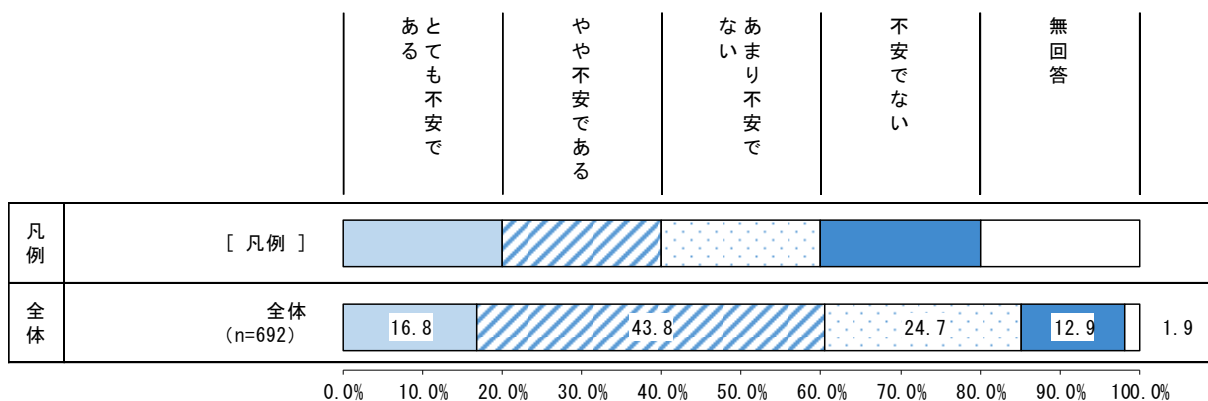
- 問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つだけ○）
- 問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つだけ○）
- 問2.3 15分位続けて歩いていますか（1つだけ○）



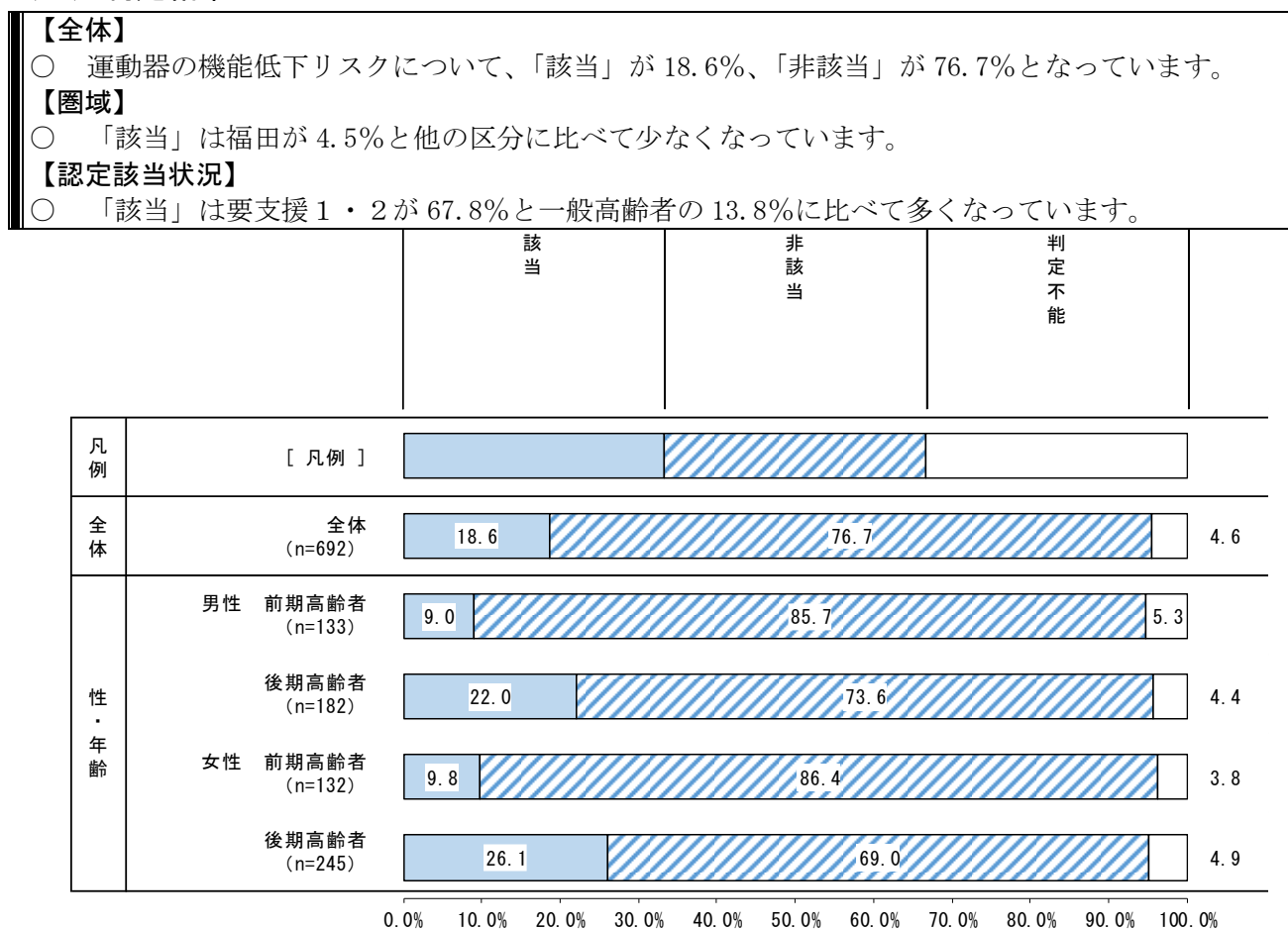
- 問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つだけ○）

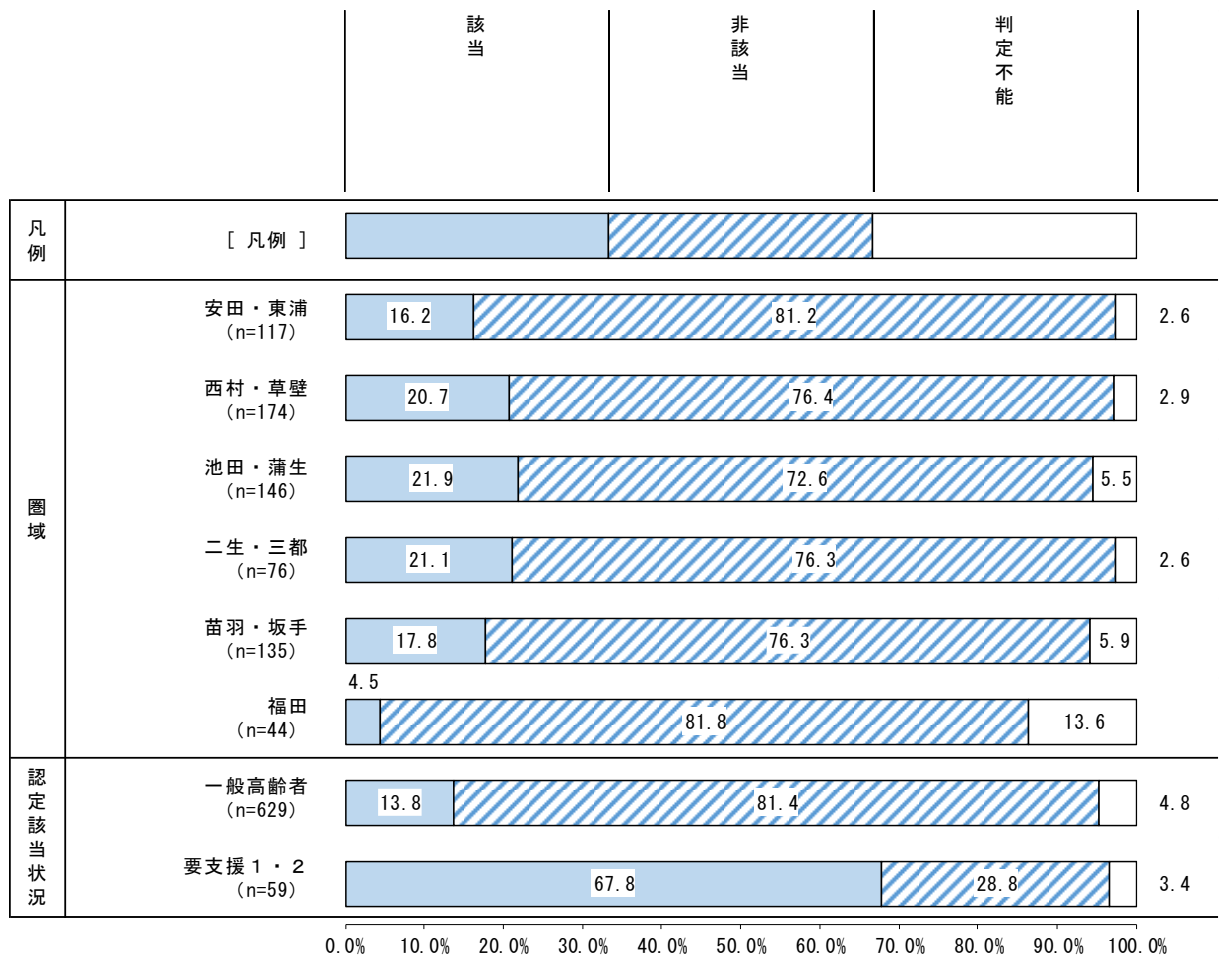


●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか（1つだけ○）



(3) 判定結果





2. 転倒リスク

(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクがある高齢者となります。

設問	選択肢
過去１年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／１度ある

(2) 調査結果 ※「Ⅳ リスク判定」「１. 運動器の機能低下リスク」に掲載

(3) 判定結果

【全体】

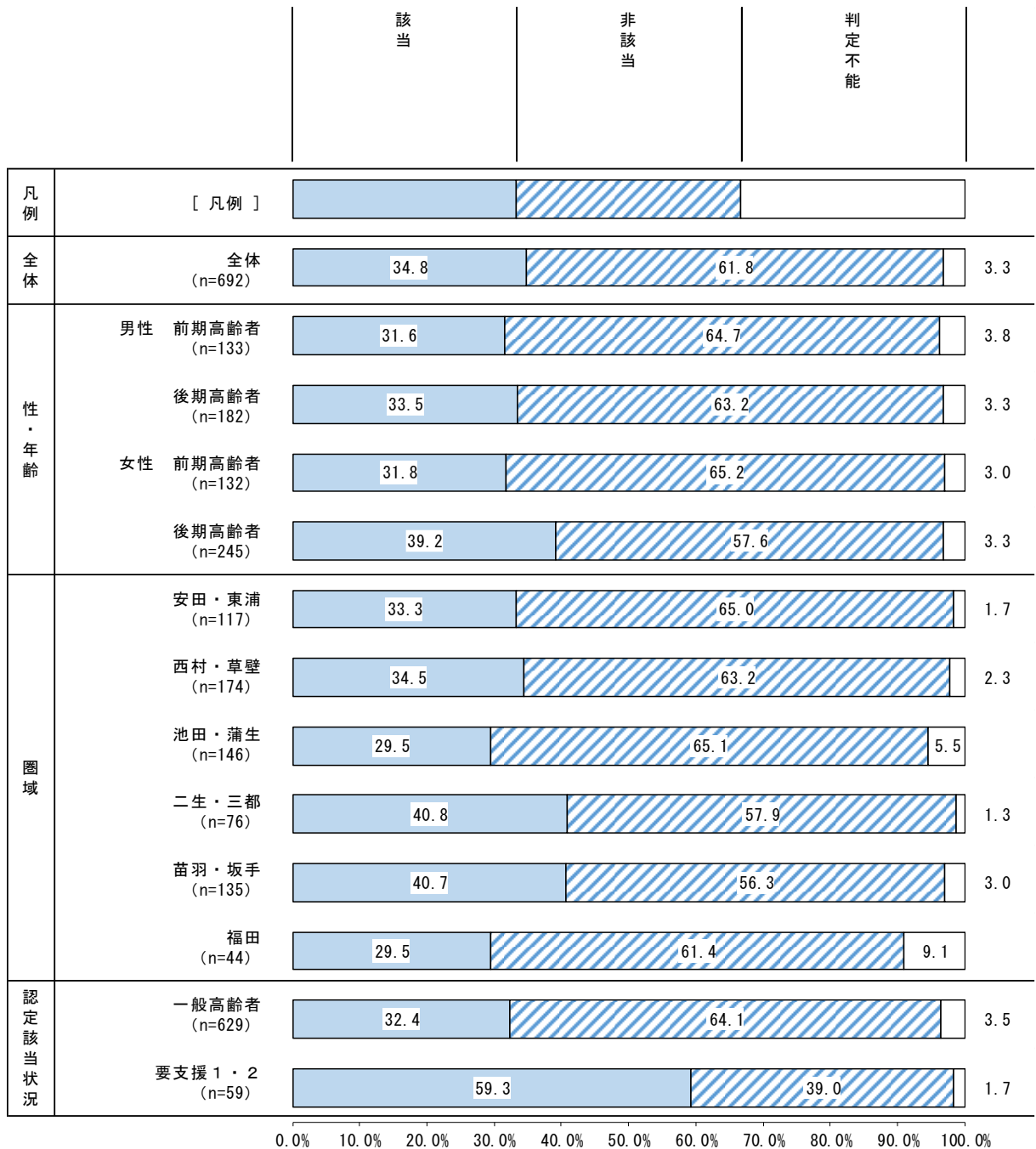
- 転倒リスクについて、「該当」が 34.8%、「非該当」が 61.8%となっています。

【圏域】

- 「該当」は二生・三都が 40.8%、苗羽・坂手が 40.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は要支援１・２が 59.3%と一般高齢者の 32.4%に比べて多くなっています。



3. 閉じこもりのリスク

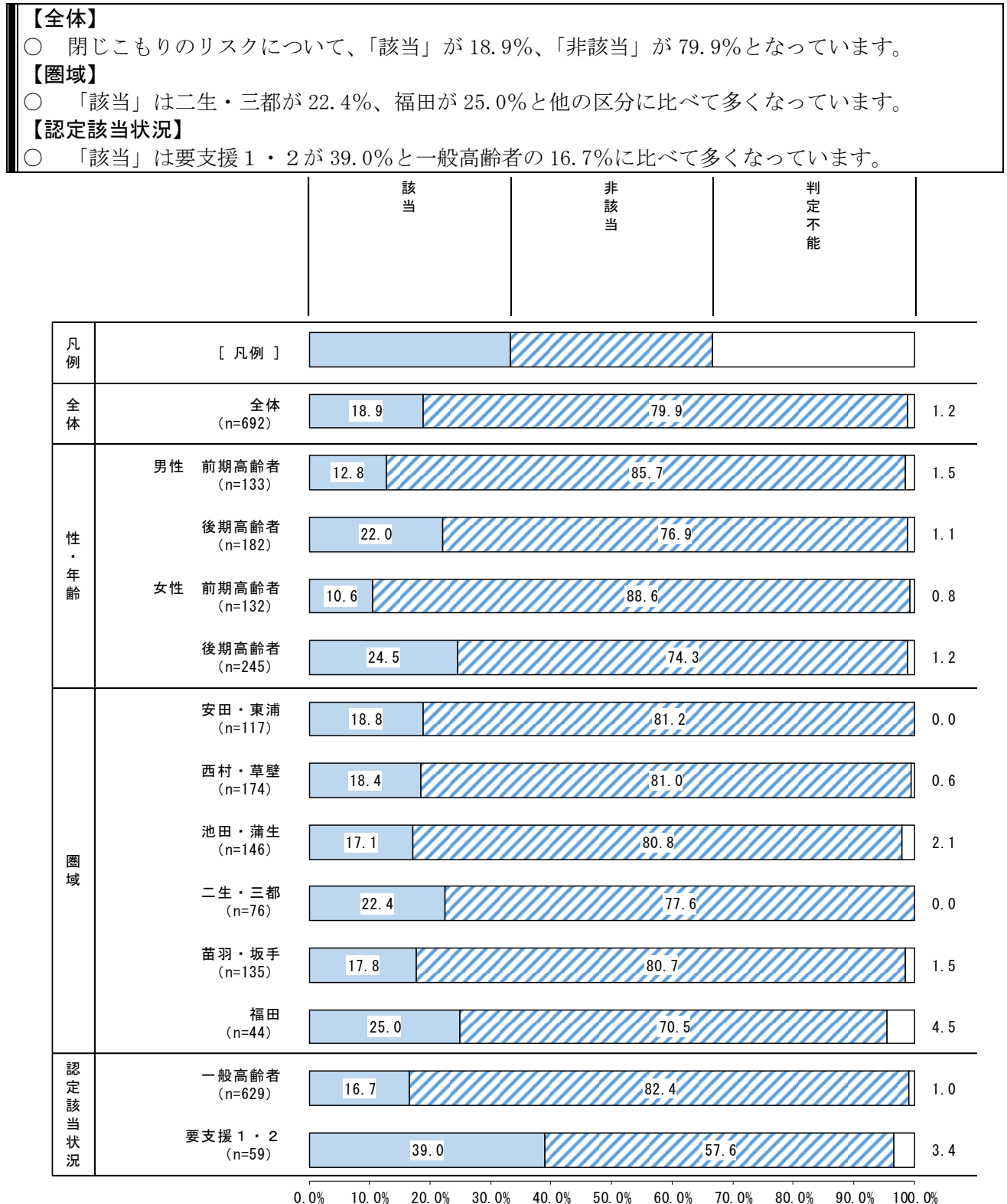
(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向がある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない／週1回

(2) 調査結果 ※「Ⅲ 調査結果」に掲載

(3) 判定結果



4. 栄養改善のリスク

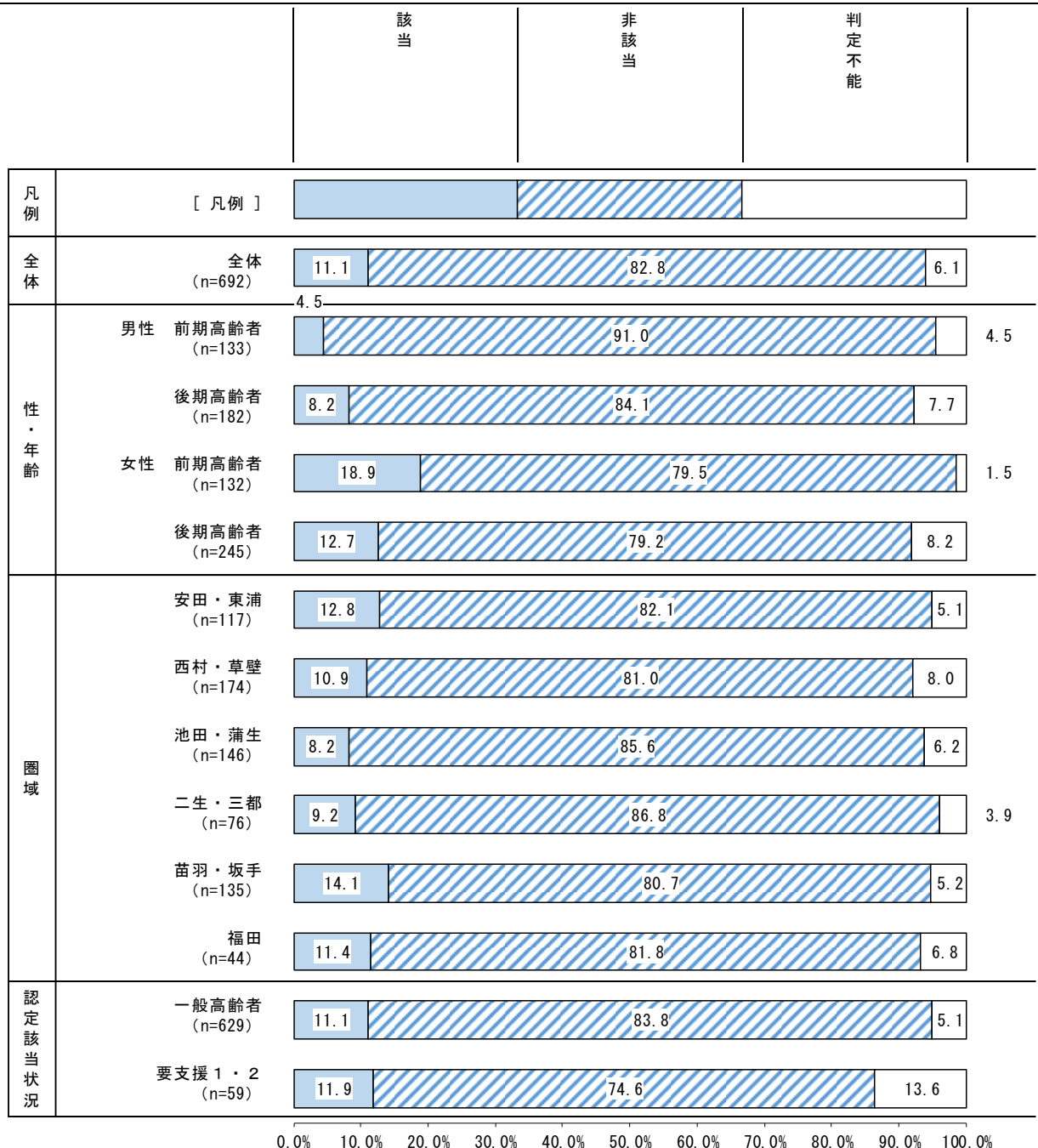
(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクがある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出される BMI (体重 (kg) ÷ 身長 (m) ²)	18.5 未満

(2) 判定結果

【全体】
○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が 11.1%、「非該当」が 82.8%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
【圏域】
○ 「該当」は池田・蒲生が 8.2%、二生・三都が 9.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「非該当」は一般高齢者が 83.8%と要支援 1・2 の 74.6%に比べて多くなっています。



5. 低栄養のリスク

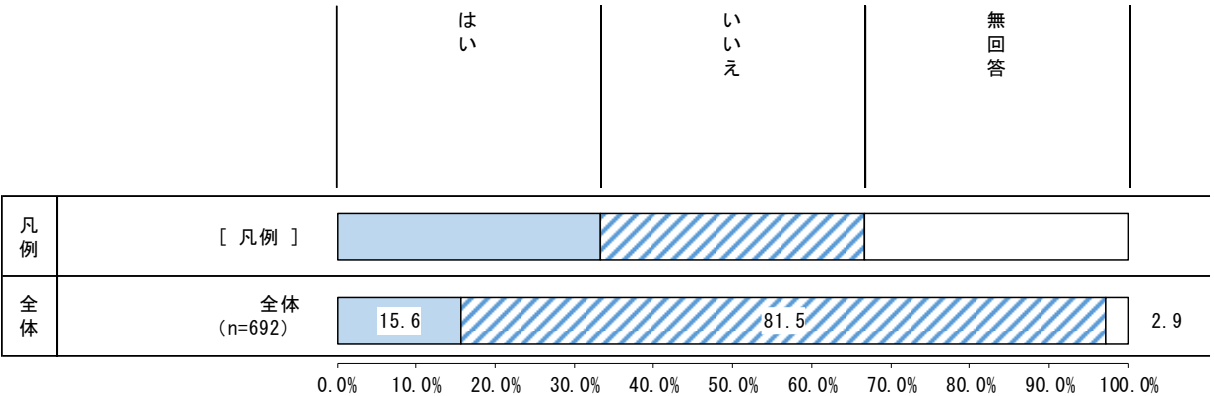
(1) 判定方法

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	はい

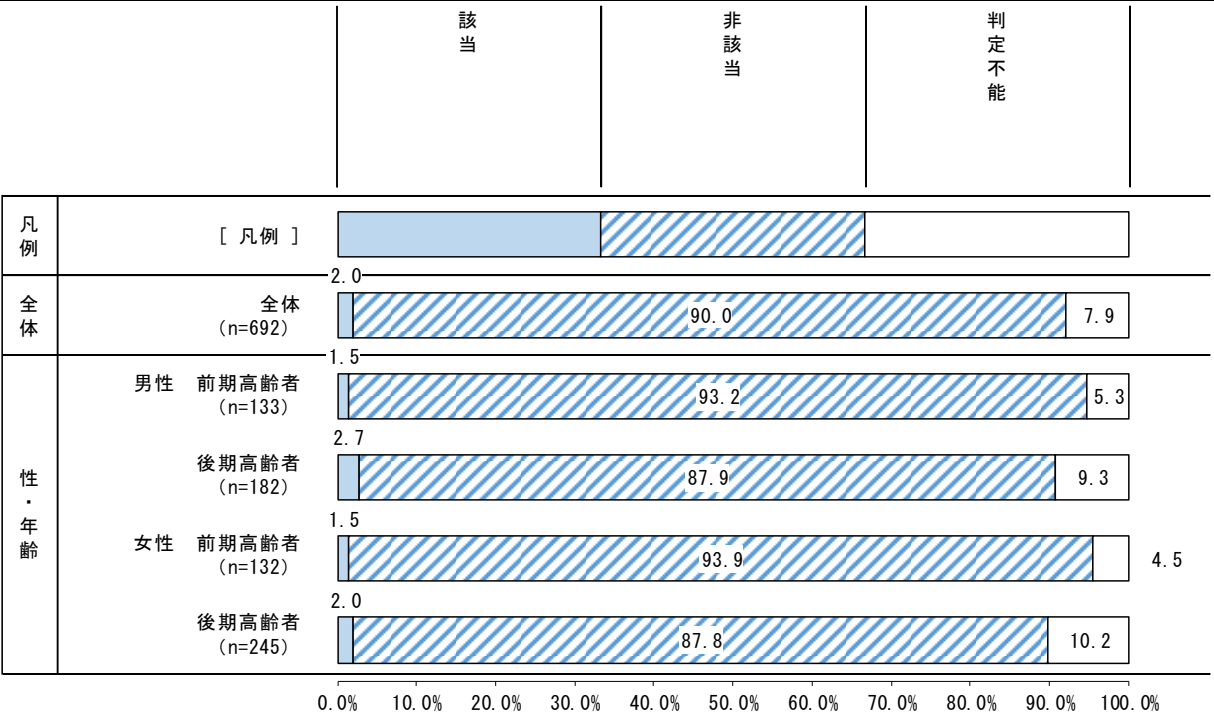
(2) 調査結果

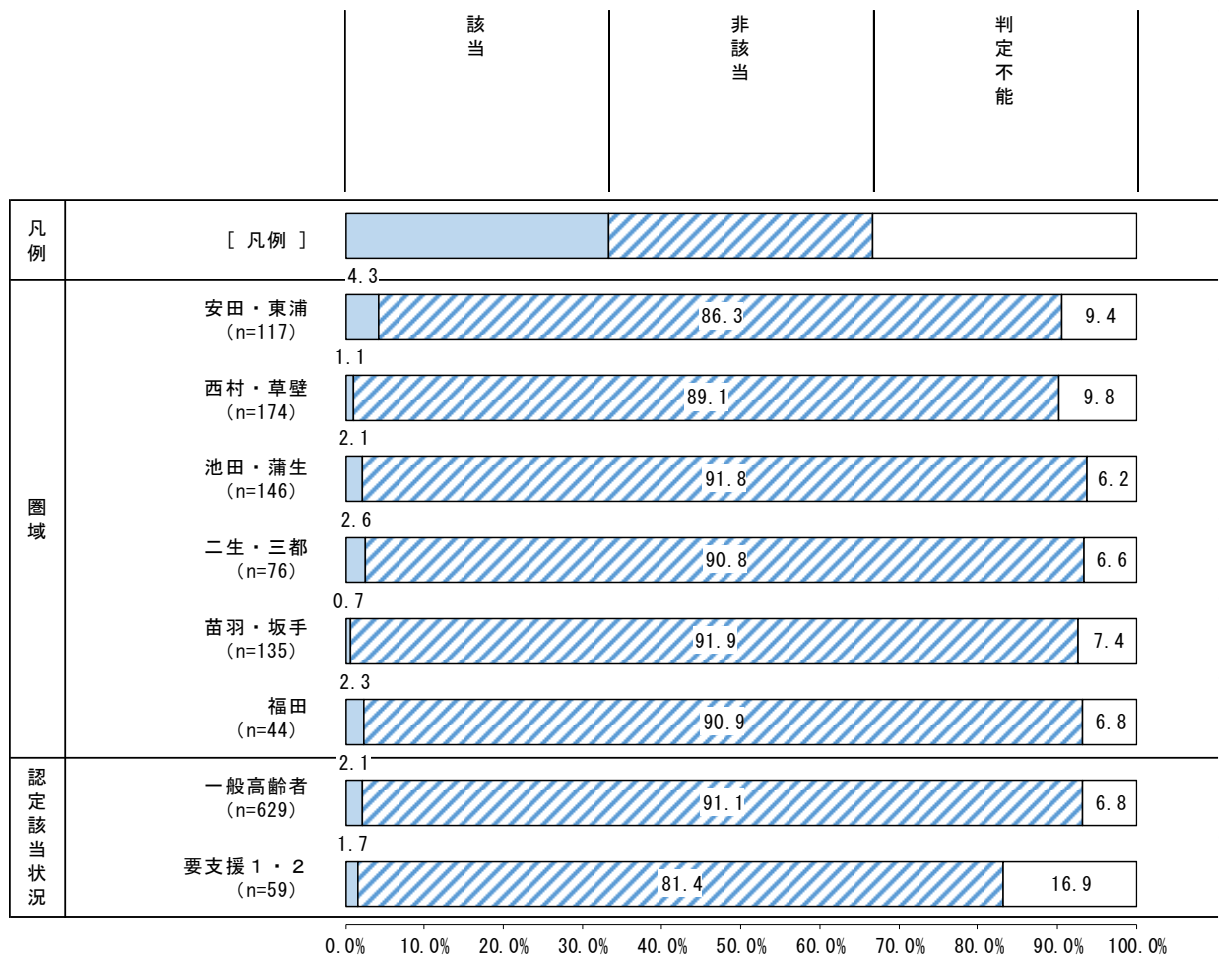
●問3.7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つだけ○）



(3) 判定結果

【全体】
○ 低栄養のリスクについて、「該当」が2.0%、「非該当」が90.0%となっています。
【性・年齢】
○ 「該当」は男性 後期高齢者が2.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「該当」は安田・東浦が4.3%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「非該当」は一般高齢者が91.1%と要支援1・2の81.4%に比べて多くなっています。





6. 口腔機能の低下リスク

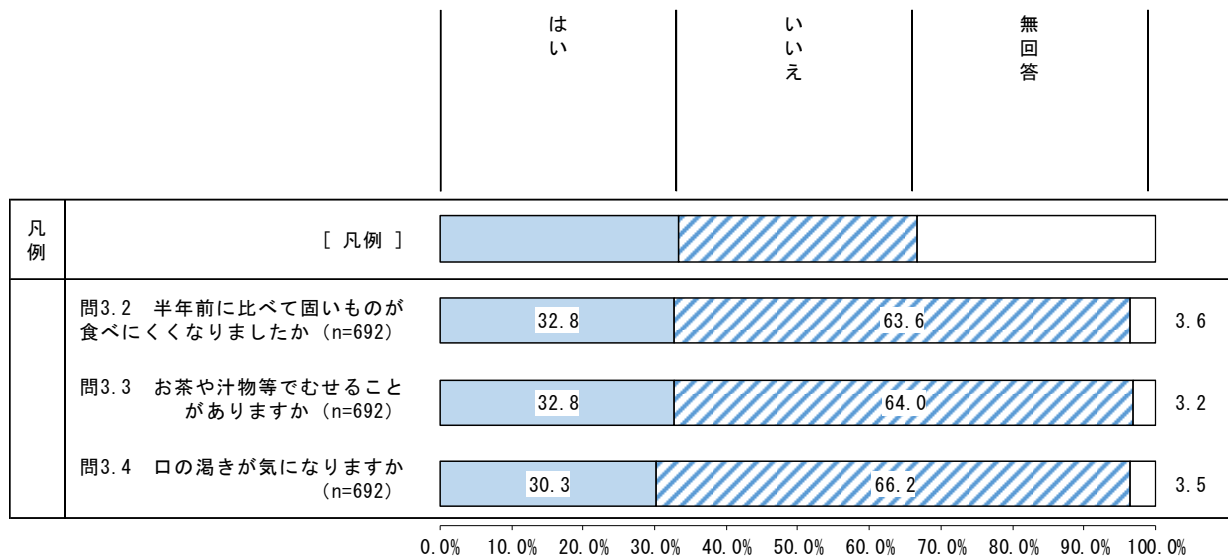
(1) 判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか。	はい

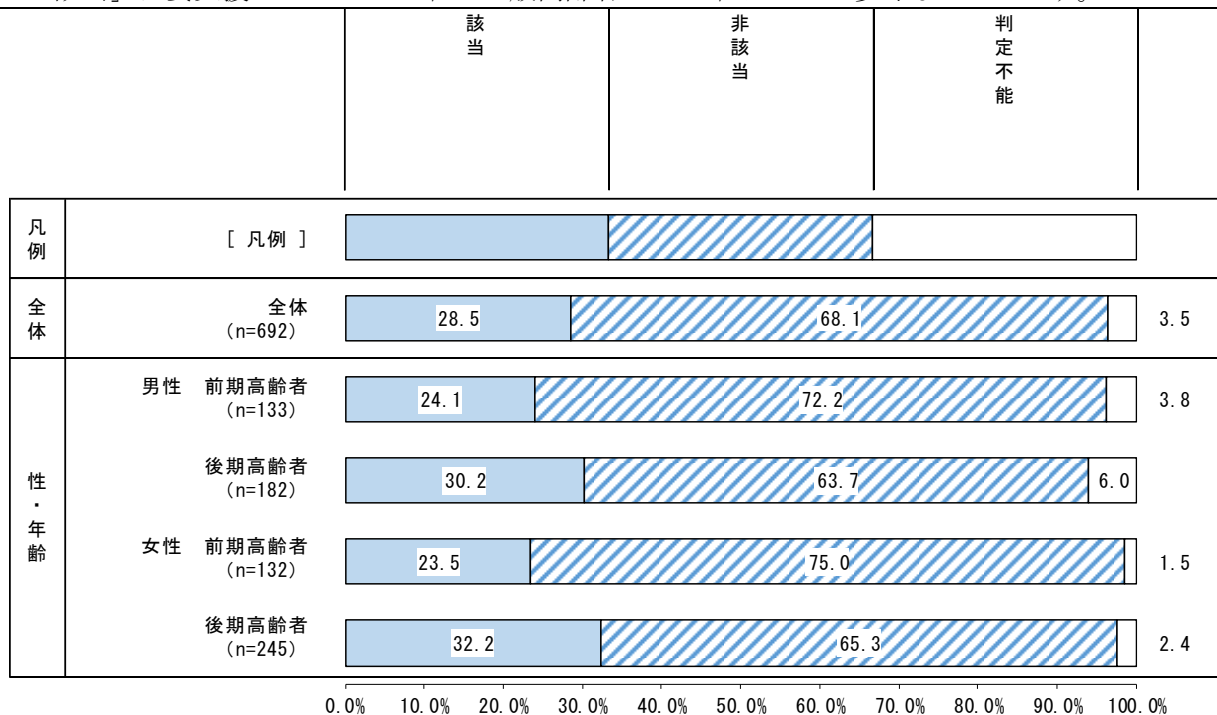
(2) 調査結果

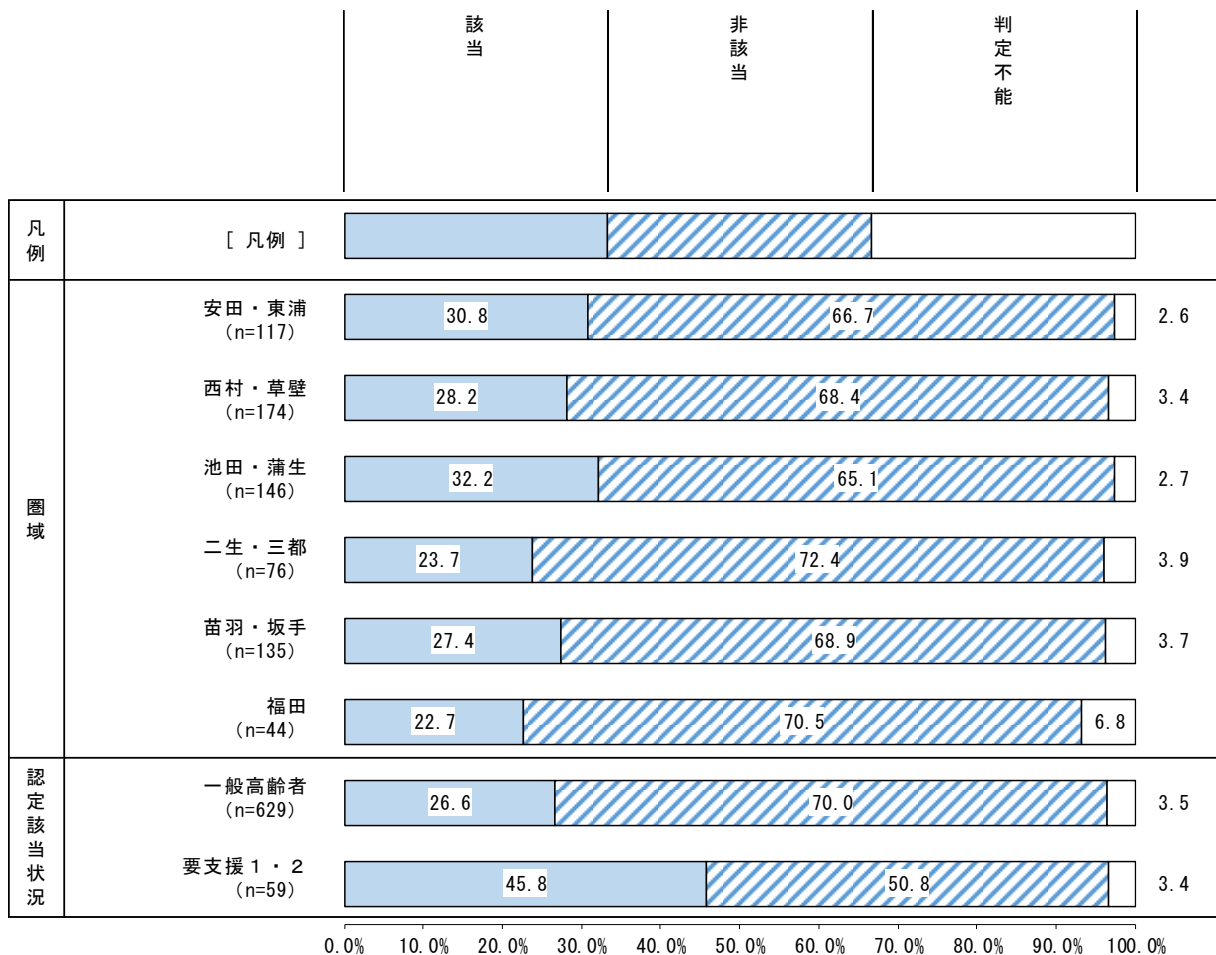
- 問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つだけ○）
- 問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか（1つだけ○）
- 問3.4 口の渇きが気になりますか（1つだけ○）



(3) 判定結果

- 【全体】**
 ○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が28.5%、「非該当」が68.1%となっています。
- 【圏域】**
 ○ 「該当」は二生・三都が23.7%、福田が22.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「該当」は要支援1・2が45.8%と一般高齢者の26.6%に比べて多くなっています。





7. 認知機能の低下リスク

(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか。	はい

(2) 調査結果 ※「Ⅲ 調査結果」に掲載

(3) 判定結果

【全体】

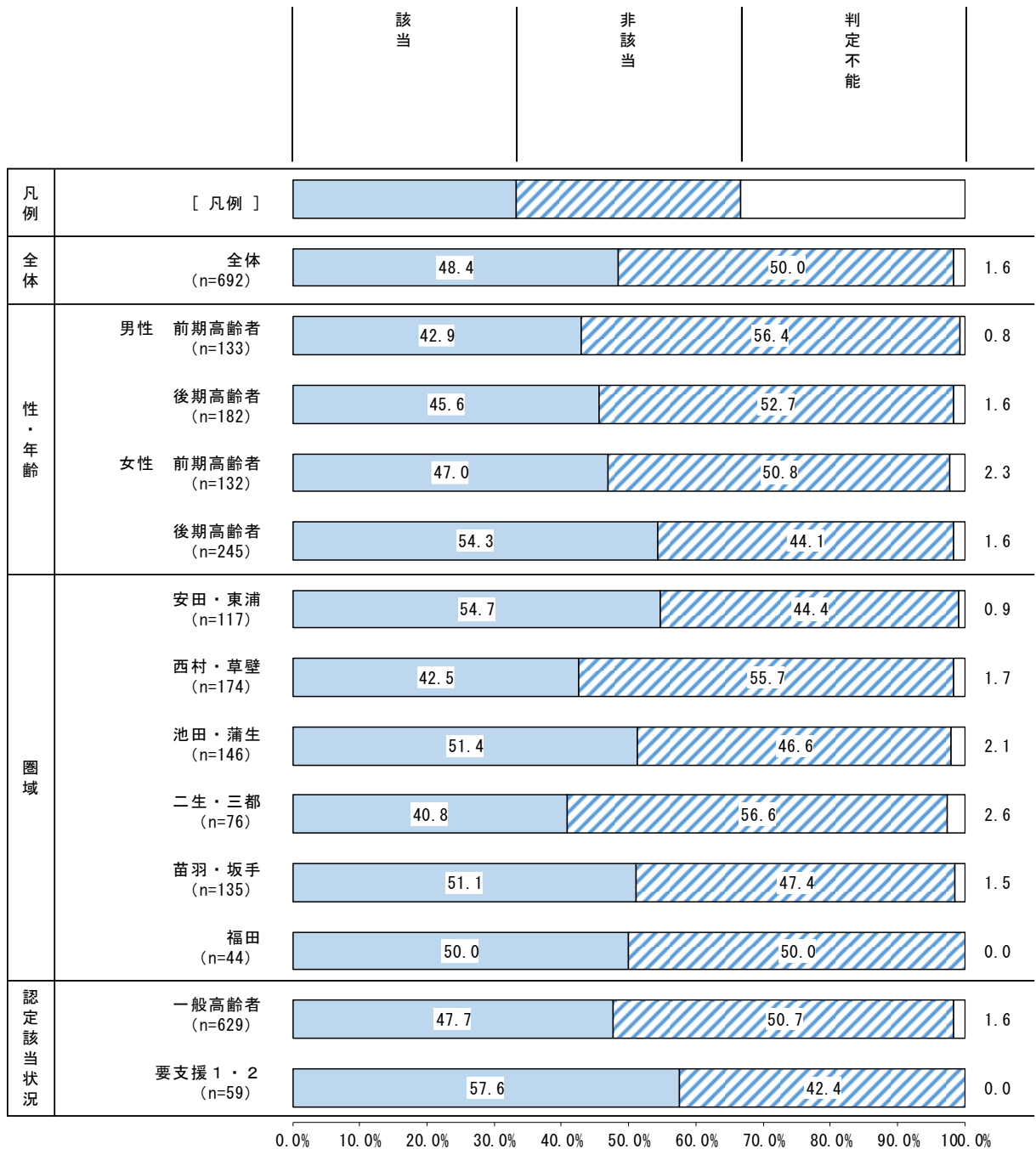
- 認知機能の低下リスクについて、「該当」が48.4%、「非該当」が50.0%となっています。

【圏域】

- 「該当」は西村・草壁が42.5%、二生・三都が40.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は要支援１・２が57.6%と一般高齢者の47.7%に比べて多くなっています。



8. 社会的自立度（IADL※）

（１）判定方法

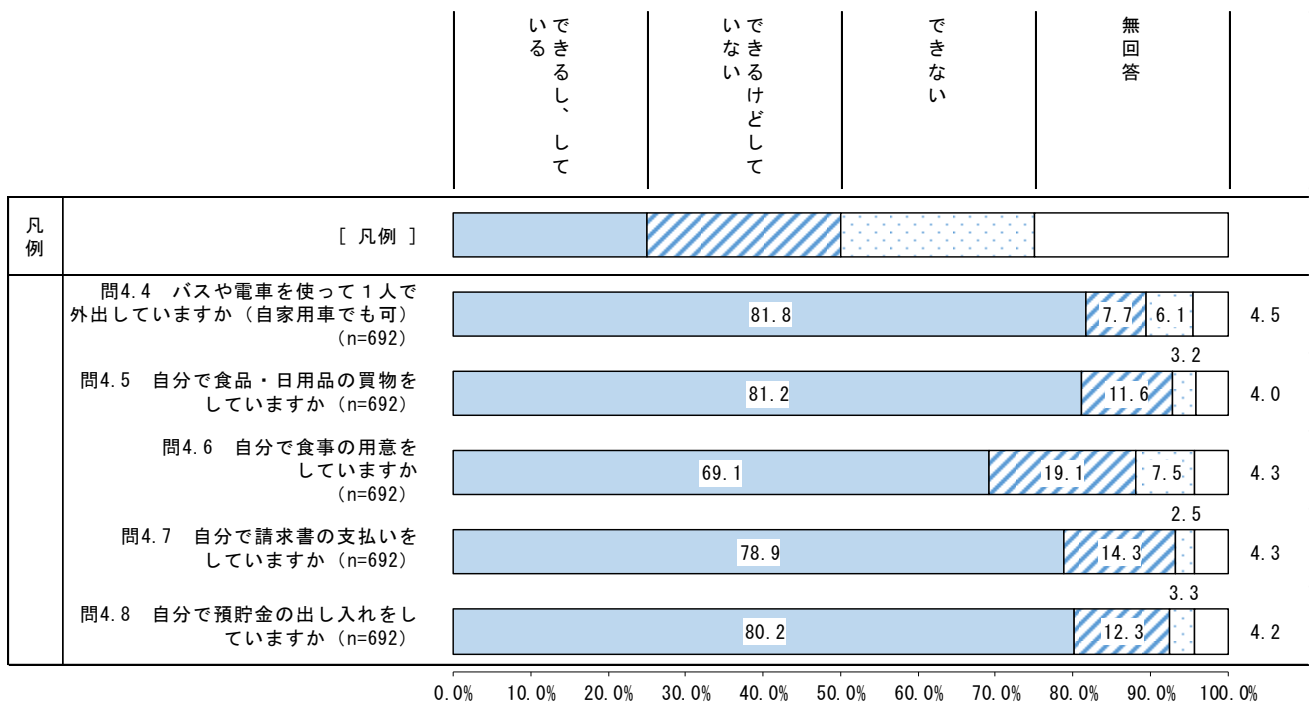
以下の設問を５点満点で判定し、５点を「高い」、４点を「やや低い」、３点以下を「低い」と評価します。

設問	選択肢	配点
バスや電車を使って１人で外出していますか。 （自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で食品・日用品の買物をしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で食事の用意をしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で請求書の支払いをしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で預貯金の出し入れをしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点

※手段的自立度（IADL）とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

（２）調査結果

- 問4.4 バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）（１つだけ○）
- 問4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか（１つだけ○）
- 問4.6 自分で食事の用意をしていますか（１つだけ○）
- 問4.7 自分で請求書の支払いをしていますか（１つだけ○）
- 問4.8 自分で預貯金の出し入れをしていますか（１つだけ○）



(3) 判定結果

【全体】

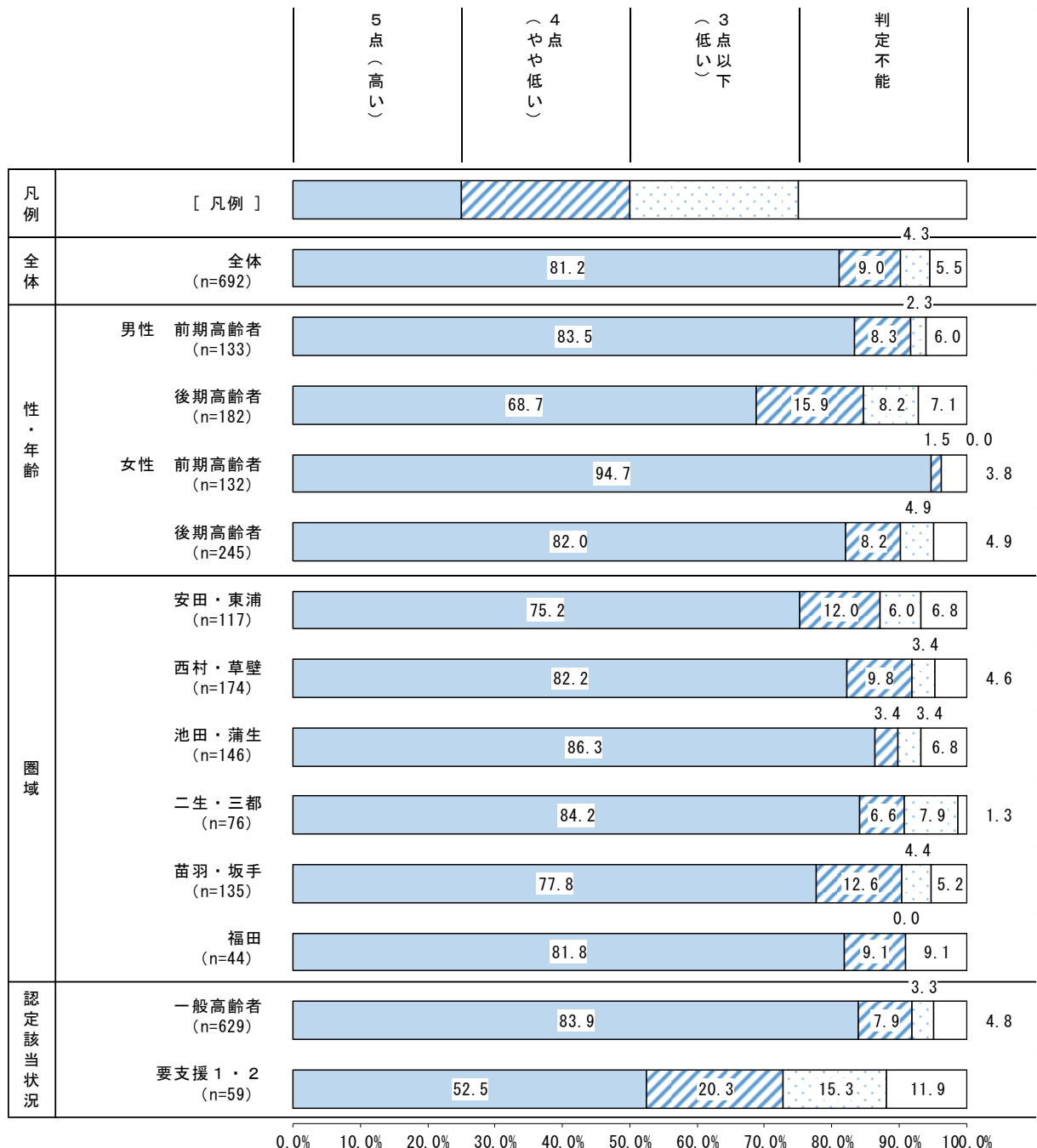
- IADLについて、「5点（高い）」が81.2%で最も多く、次いで「4点（やや低い）」が9.0%、「3点以下（低い）」が4.3%となっています。

【圏域】

- 「5点（高い）」は安田・東浦が75.2%、苗羽・坂手が77.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 「3点以下（低い）」は要支援1・2が15.3%と一般高齢者の3.3%に比べて多くなっています。



9. うつのリスク

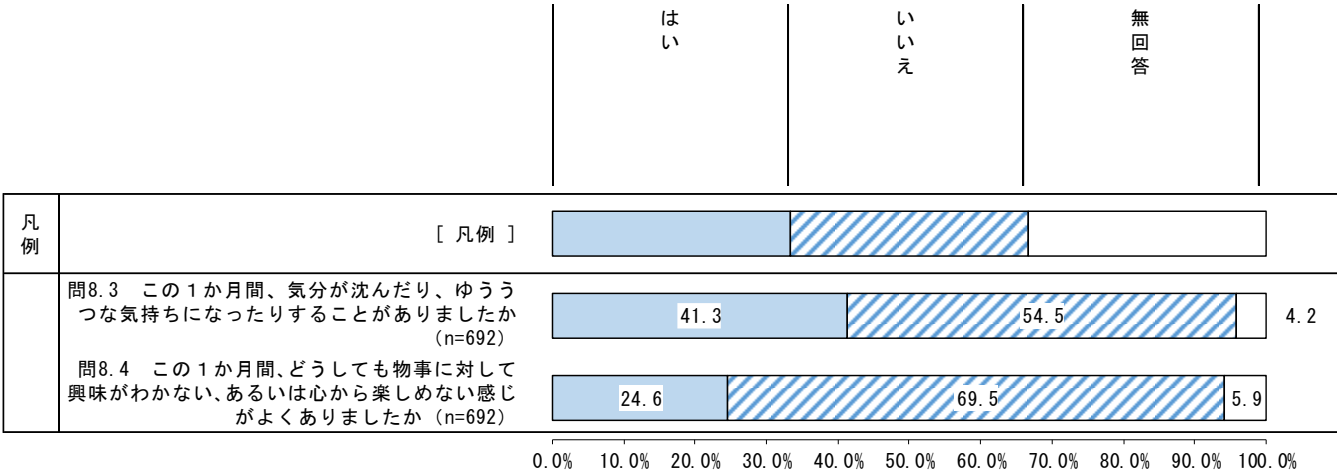
(1) 判定方法

以下の設問に対して2問中1問以上該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

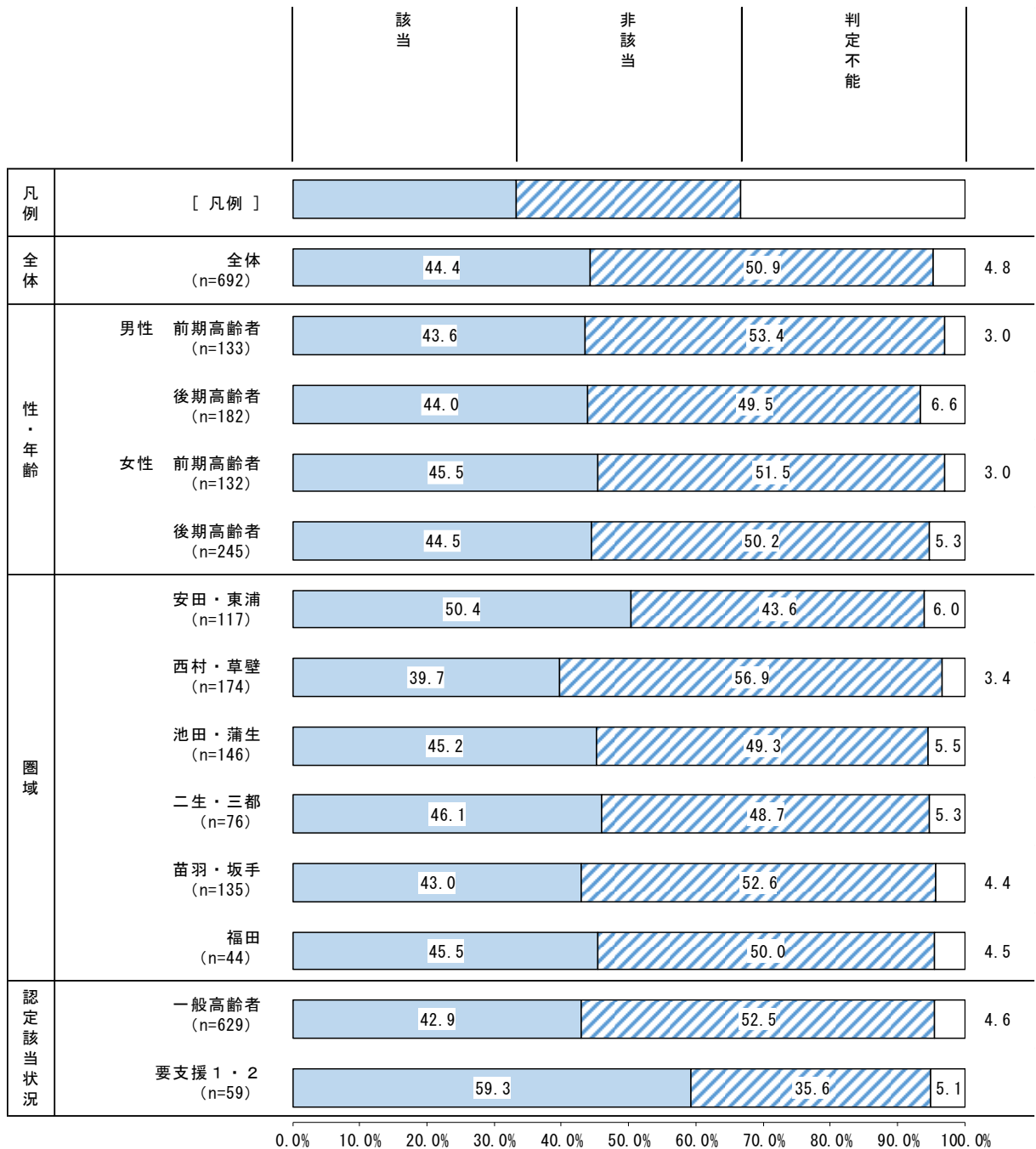
(2) 調査結果

- 問8.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つだけ○）
- 問8.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つだけ○）



(3) 判定結果

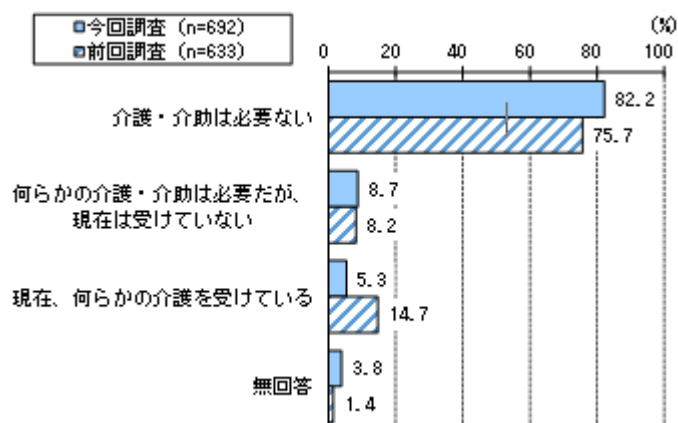
【全体】
○ うつのリスクについて、「該当」が44.4%、「非該当」が50.9%となっています。
【性・年齢】
○ 「該当」は女性 前期高齢者が45.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「該当」は安田・東浦が50.4%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は要支援1・2が59.3%と一般高齢者の42.9%に比べて多くなっています。



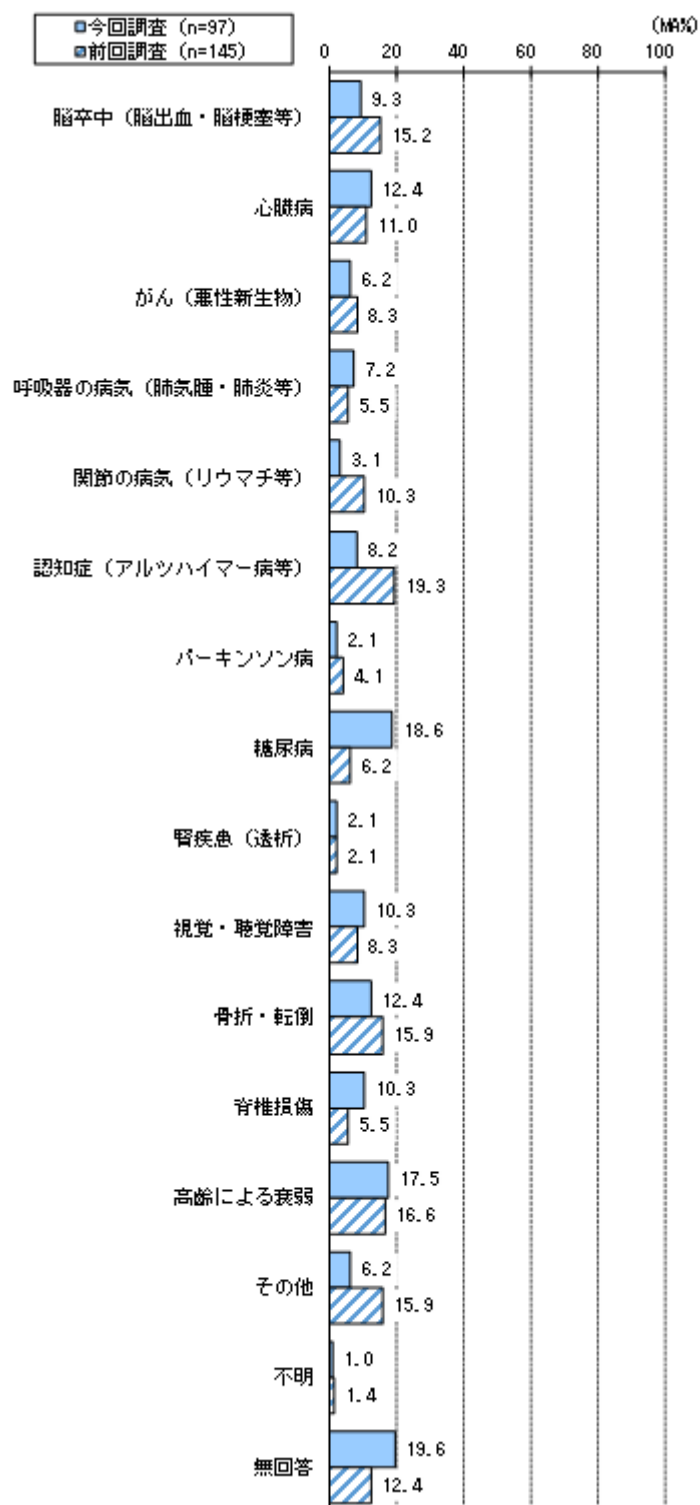
V 参考資料 前期比較（抜粋）

1. ご家族や生活状況について

●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか
（1つだけ○）

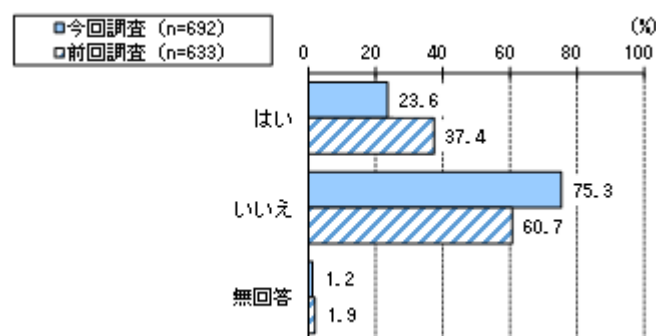


●問1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか
（いくつでも○）

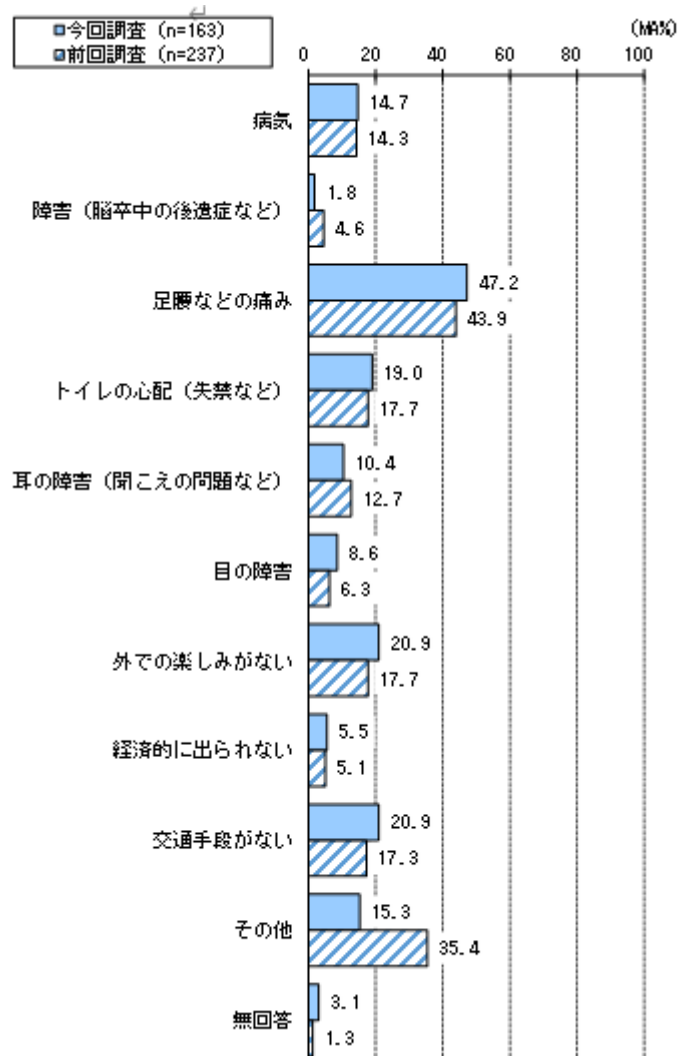


2. からだを動かすことについて

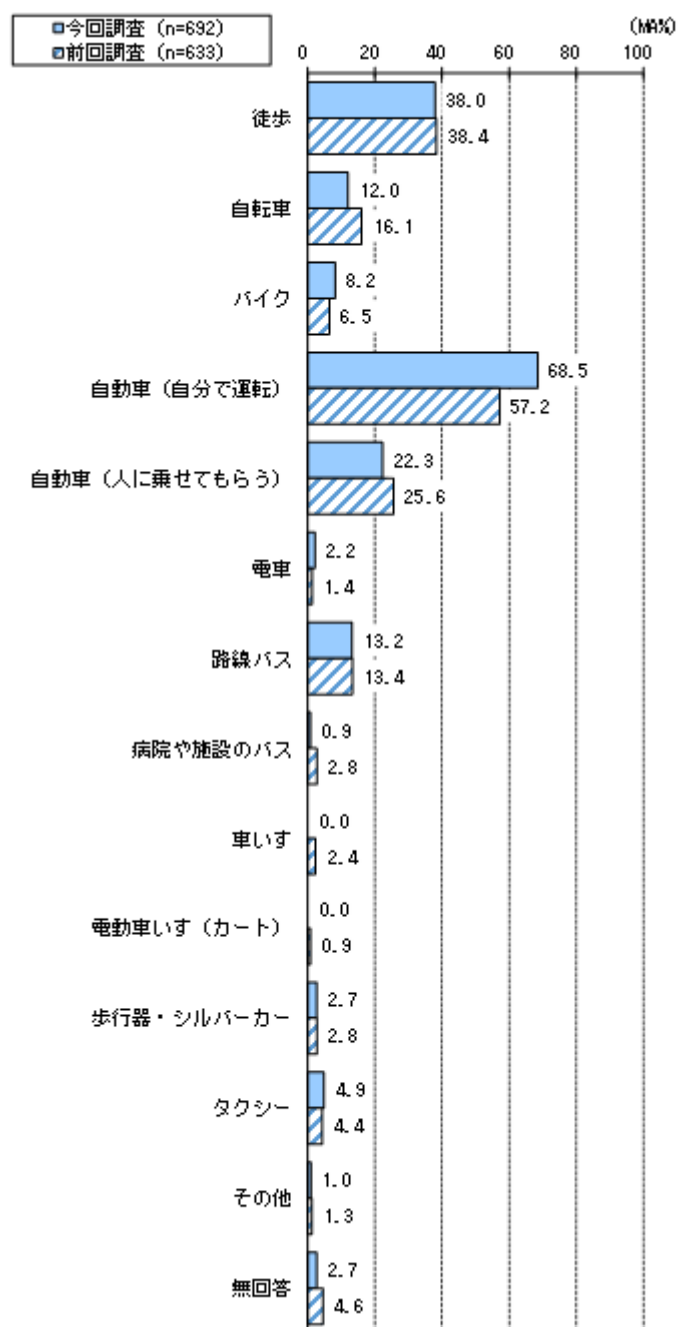
●問2.8 外出を控えていますか (1つだけ○)



●問2.8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも○)

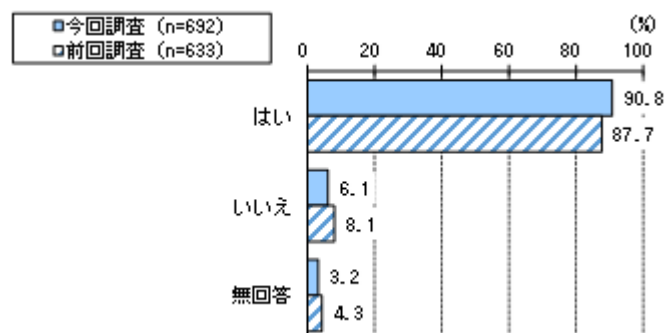


●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも○)

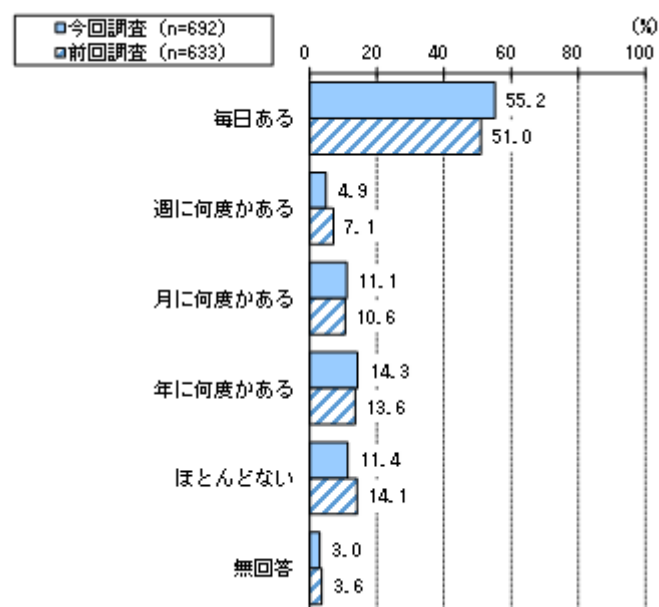


3. 食べることについて

- 問3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つだけ○）

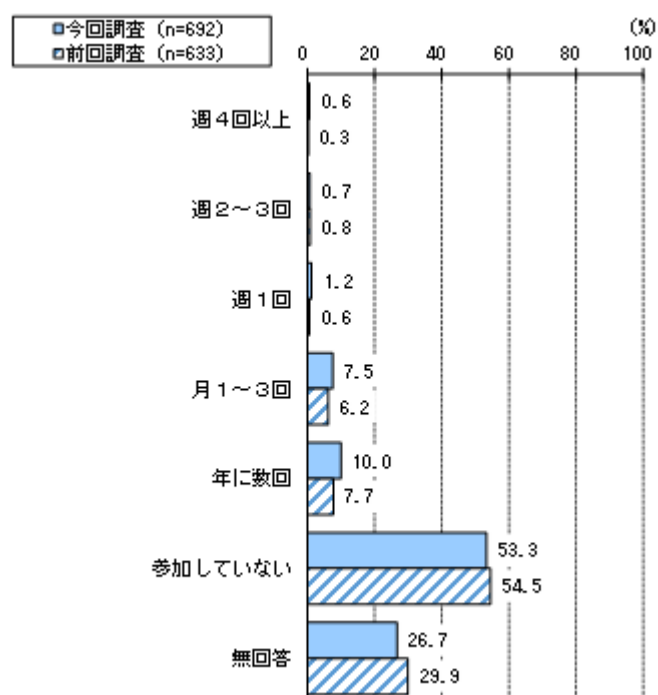


- 問3.8 どなたかと食事をとる機会がありますか（1つだけ○）

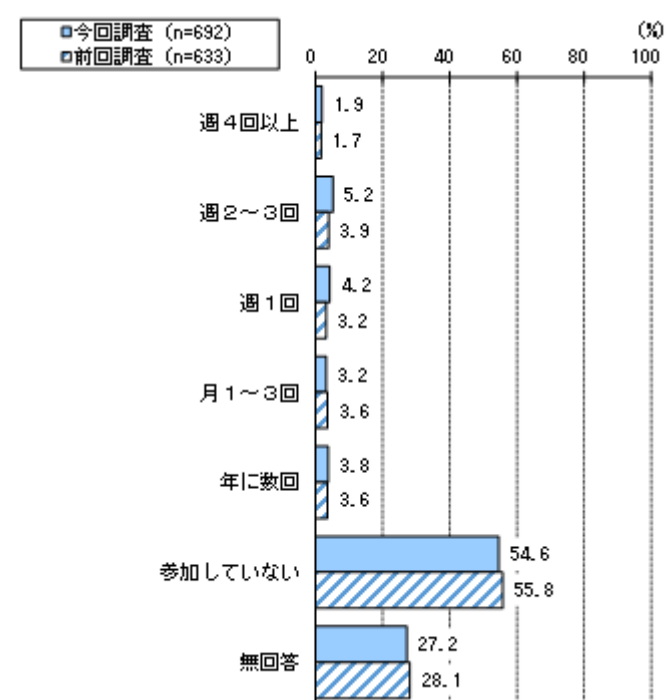


5. 地域での活動について

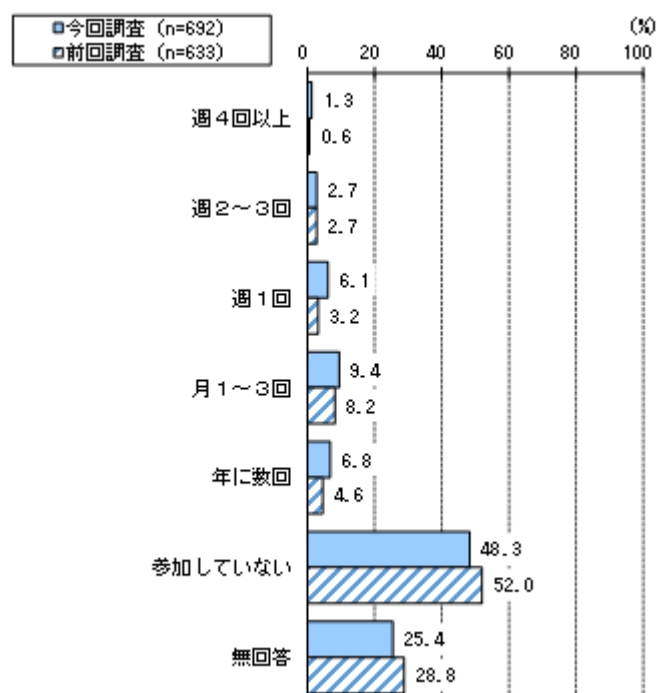
- 問5.1 ①ボランティアのグループ（1つだけ○）



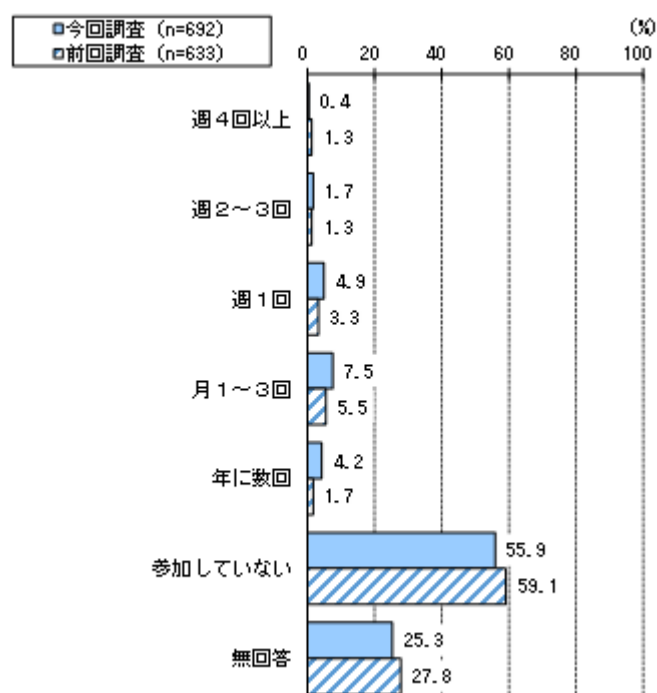
- 問5.1 ②スポーツ関係のグループやクラブ（1つだけ○）



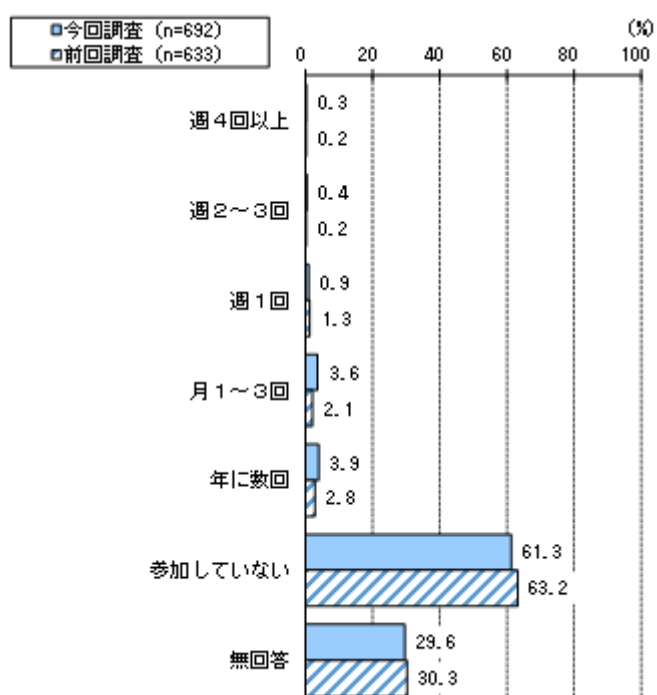
●問5.1 ③趣味関係のグループ
(1つだけ○)



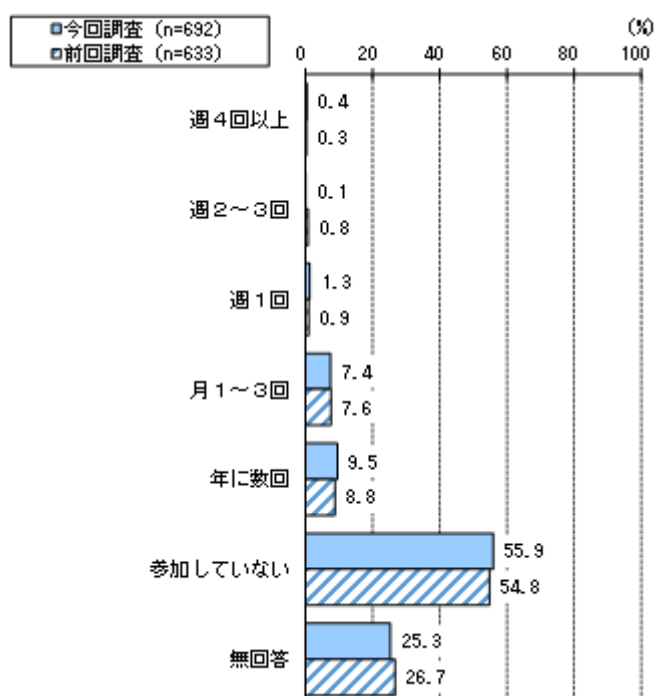
●問5.1 ⑤介護予防グループ活動 (サロンや百歳体操などを行う場)
(1つだけ○)



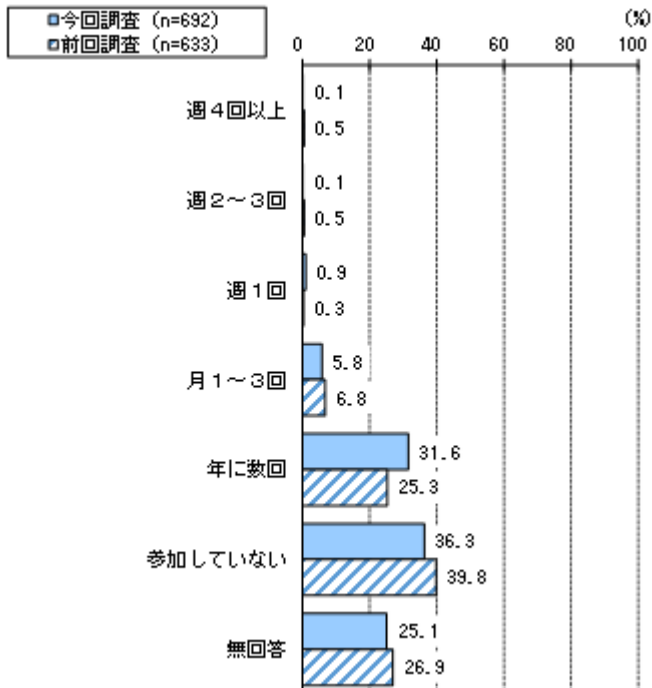
●問5.1 ④学習・教養サークル
(1つだけ○)



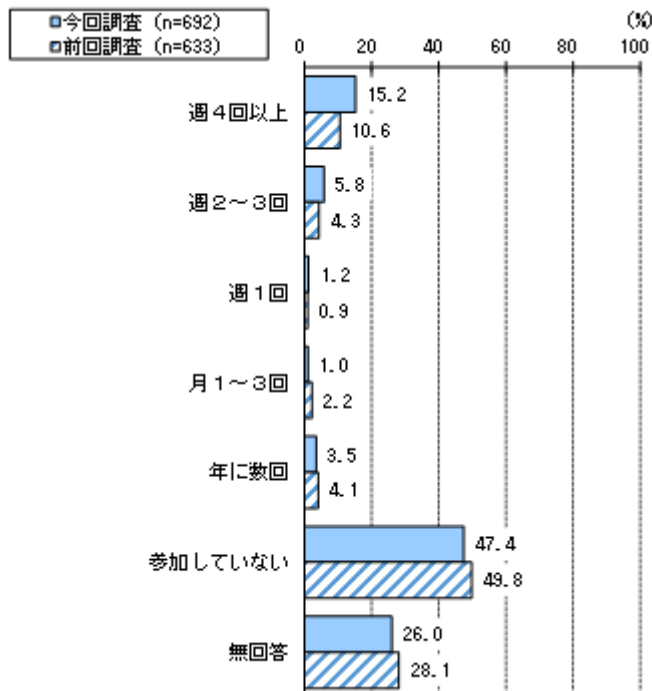
●問5.1 ⑥老人クラブ (1つだけ○)



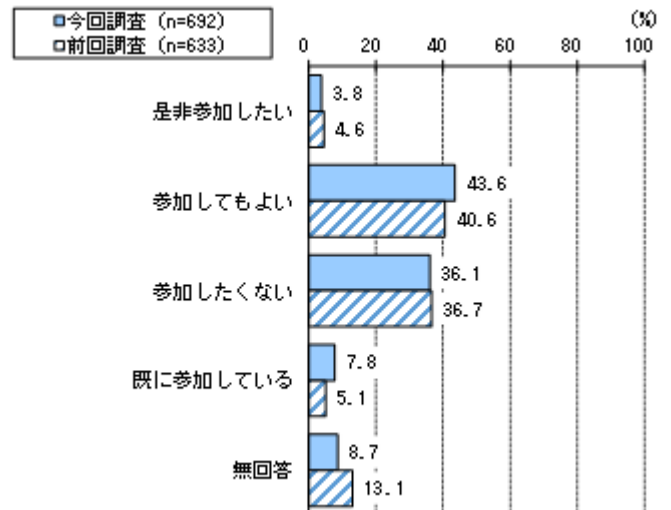
●問5.1 ⑦町内会・自治会
(1つだけ○)



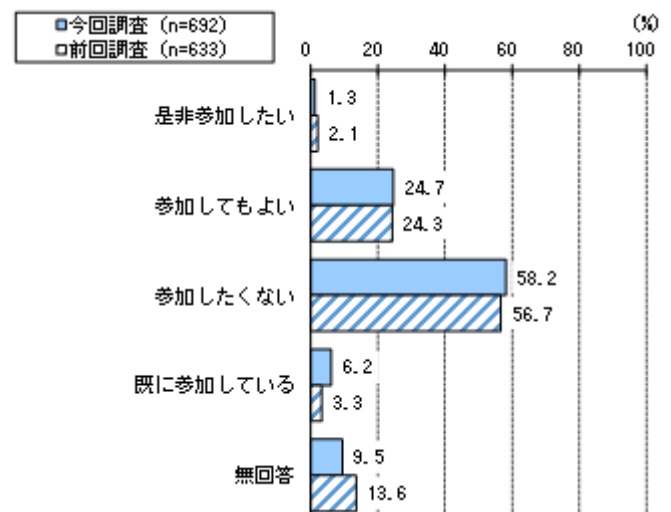
●問5.1 ⑧収入のある仕事
(1つだけ○)



●問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか
(1つだけ○)

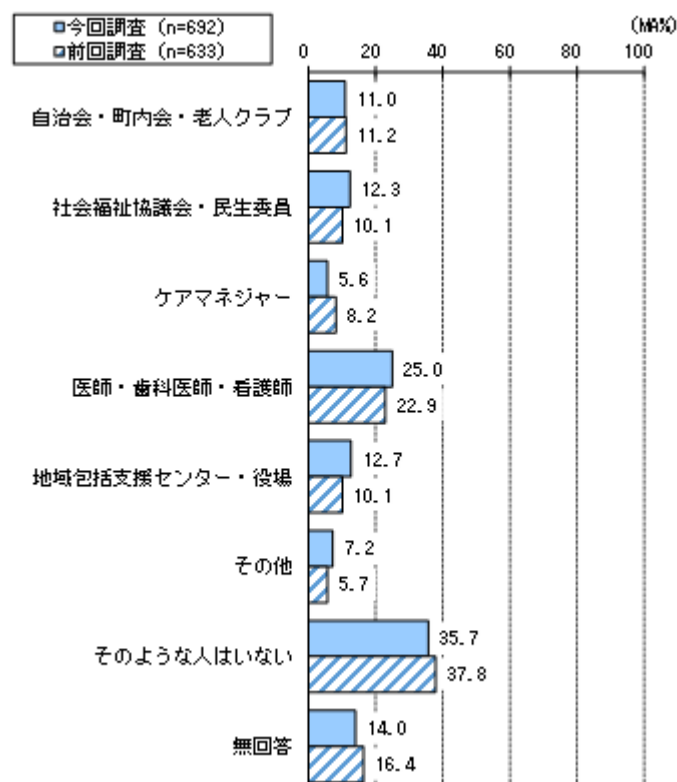


●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか
(1つだけ○)

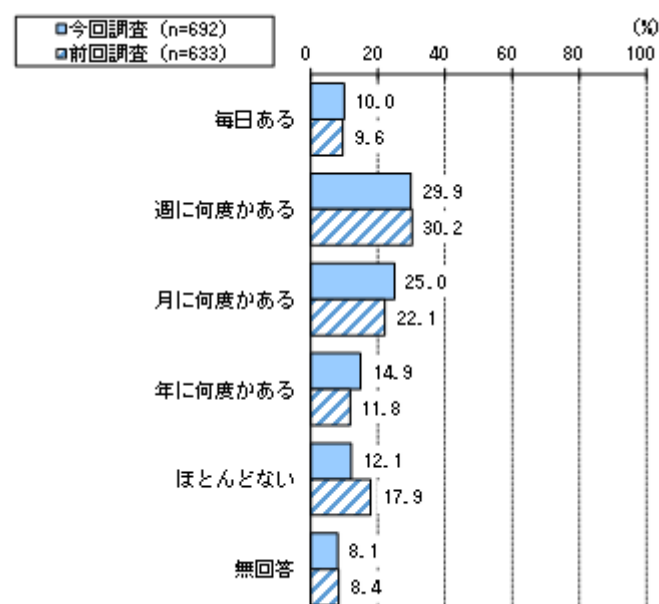


7. たすけあいについて

- 問7.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも○）

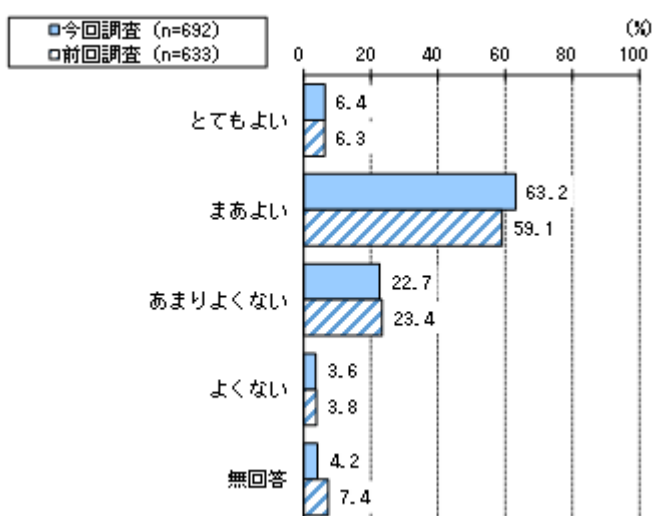


- 問7.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つだけ○）

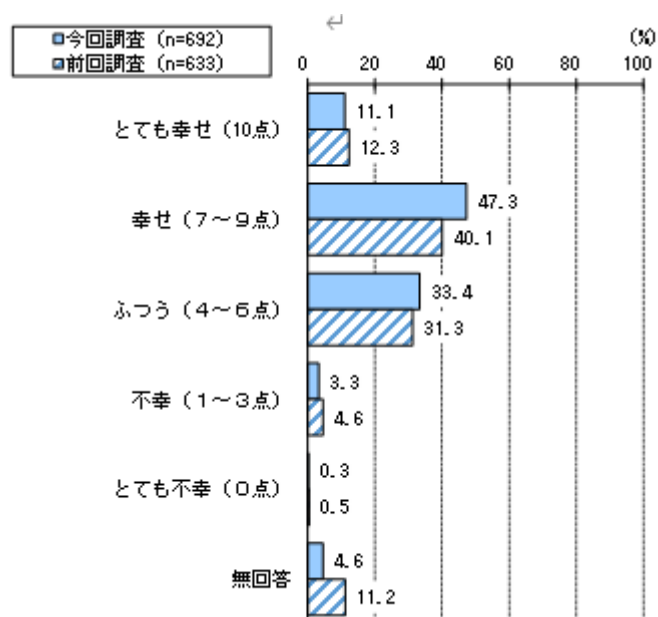


8. 健康について

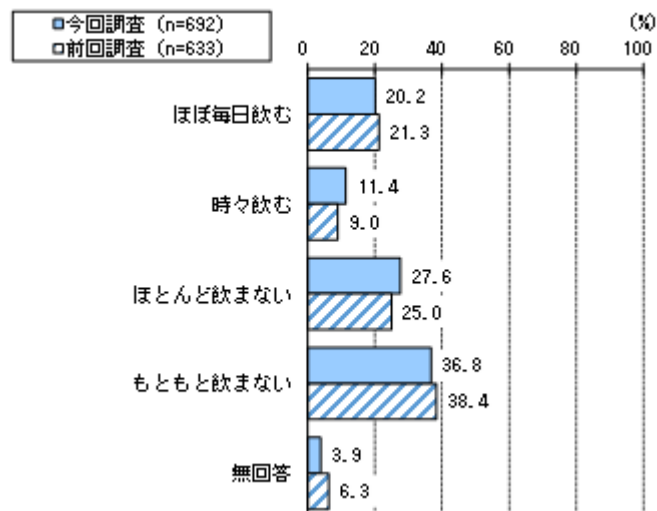
- 問8.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つだけ○）



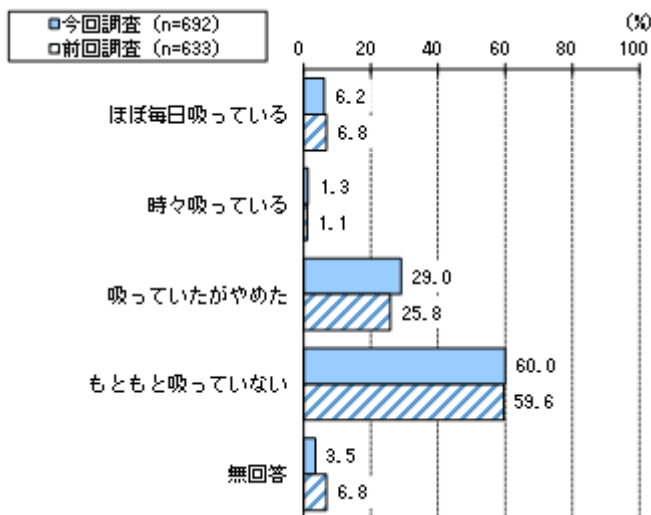
- 問8.2 あなたは、現在どの程度幸せですか（1つだけ○）



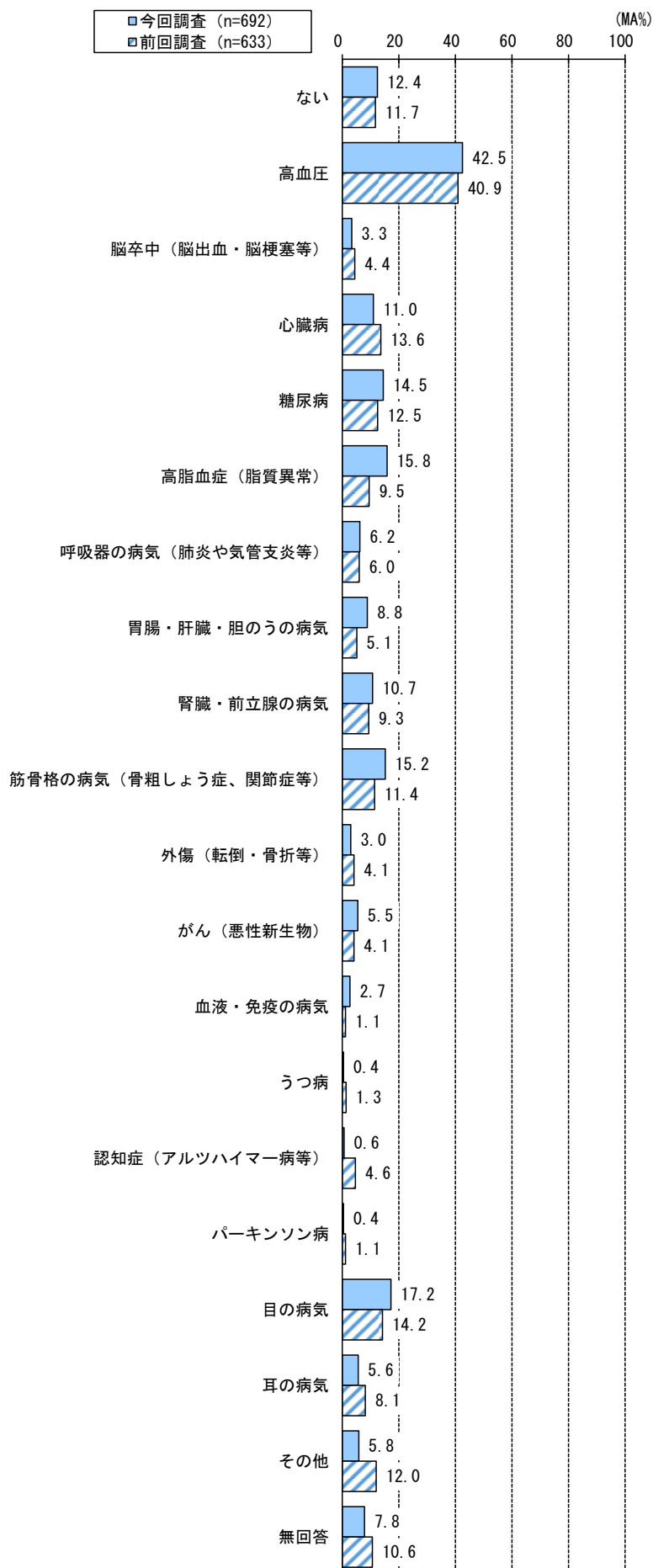
●問8.5 お酒は飲みますか
(1つだけ○)



●問8.6 タバコは吸っていますか
(1つだけ○)

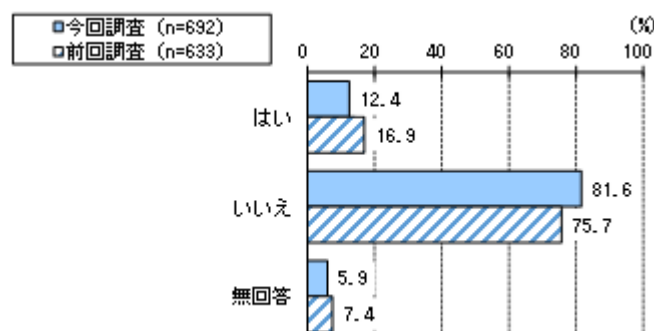


●問8.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか
(いくつでも○)

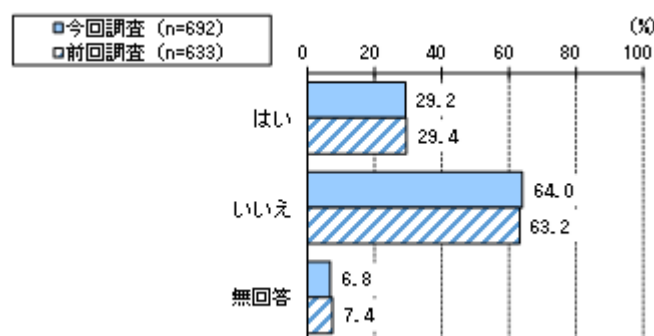


9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

●問9.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つだけ○）

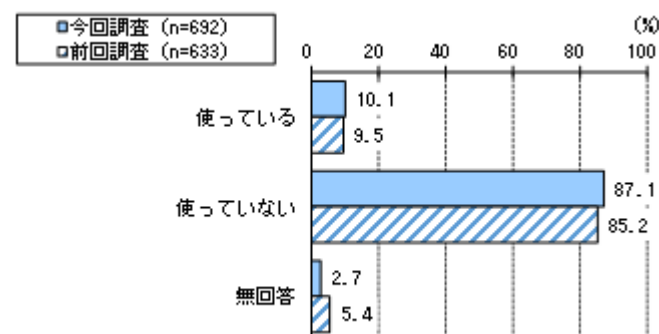


●問9.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つだけ○）

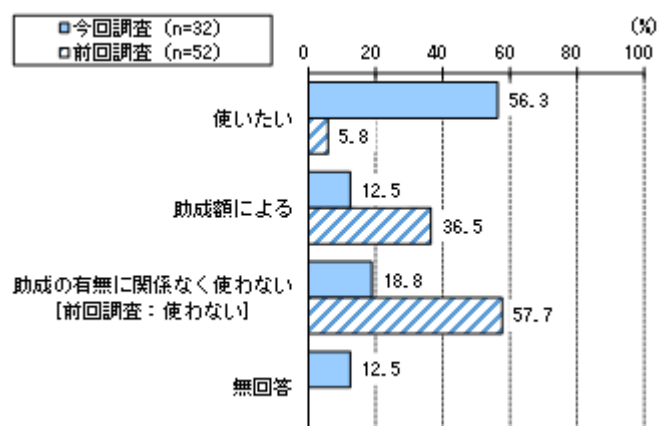


10. 耳のきこえについて

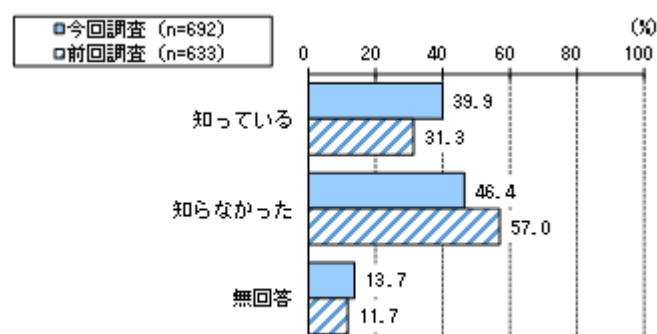
●問10.2 現在、補聴器を使っていますか（1つだけ○）



●問10.8-6 公的助成があれば補聴器を使いたいですか（1つだけ○）

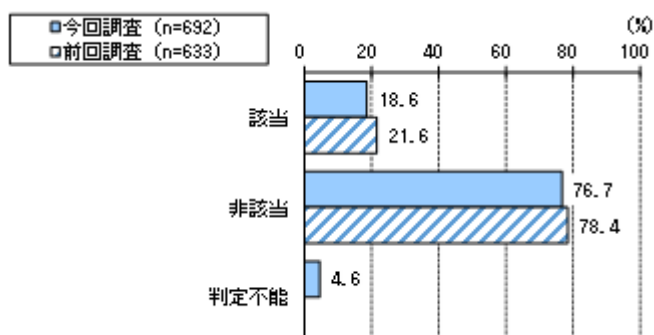


●問10.9 難聴が原因で、認知症を発症する可能性があることを知っていますか（1つだけ○）

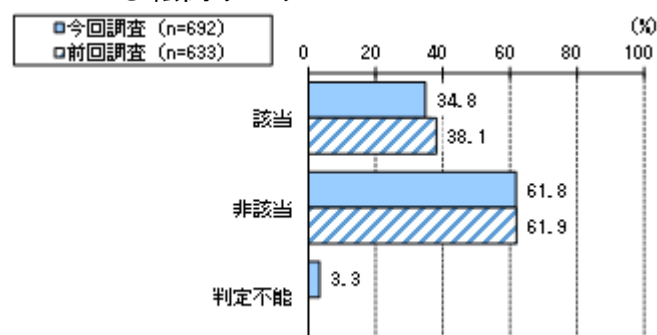


12. リスク判定

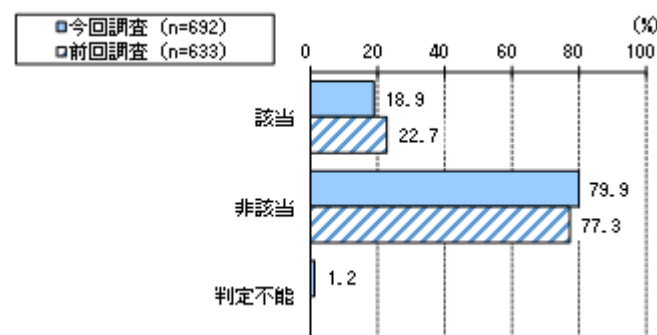
●運動器の機能低下リスク



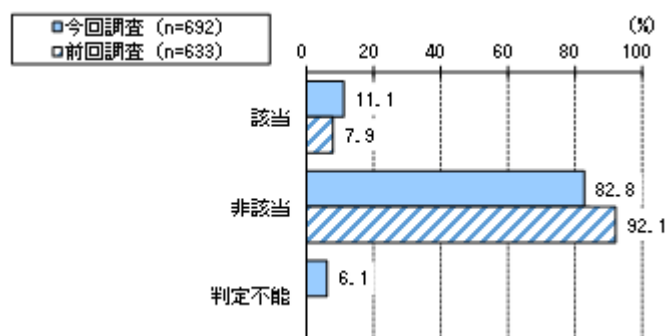
●転倒リスク



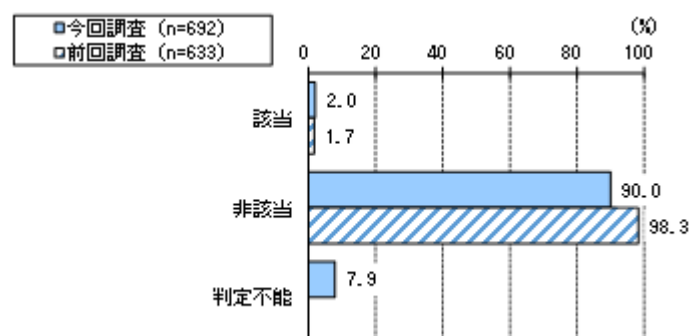
●閉じこもりのリスク



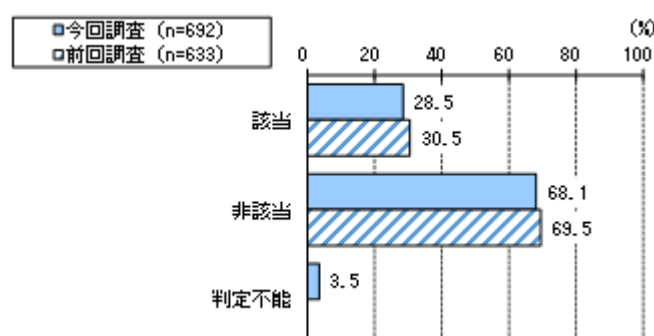
●栄養改善のリスク



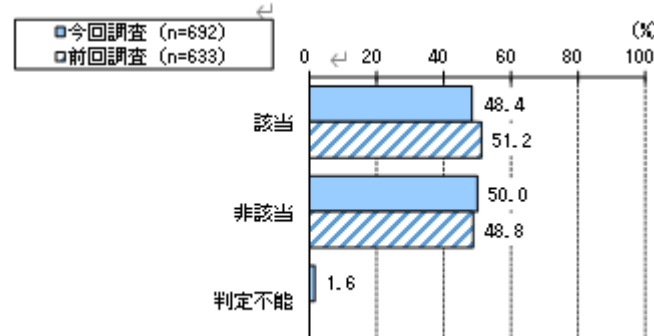
●低栄養のリスク



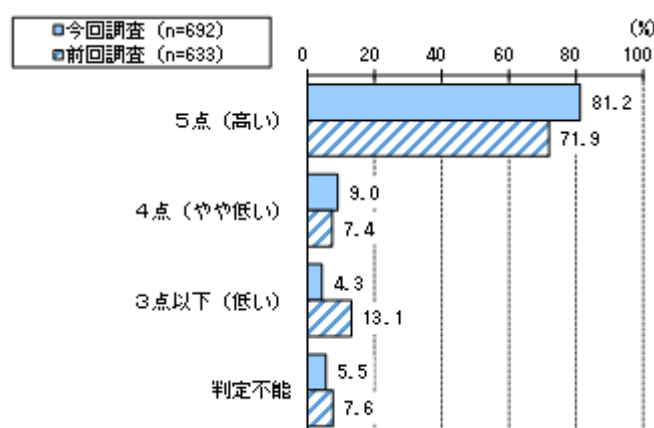
●口腔機能の低下リスク



●認知機能の低下リスク



●IADL



●うつ病のリスク

